

設置の趣旨等を記載した書類（本文）

目次

①設置の趣旨及び必要性	p 2
②学部・学科の特色	p 5
③学部・学科の名称及び学位の名称	p 6
④教育課程の編成の考え方及び特色	p 6
⑤教育方法、履修指導方法及び卒業要件	p 10
⑥多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の 具体的計画	p 14
⑦編入学定員を設定する場合の具体的計画	p 15
⑧実習の具体的計画	p 15
⑨企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する 場合の具体的計画	p 20
⑩取得可能な資格	p 26
⑪入学者選抜の概要	p 27
⑫教員組織の編成の考え方及び特色	p 31
⑬研究の実施についての考え方、体制、取組	p 32
⑭施設、設備等の整備計画	p 33
⑮管理運営及び事務組織	p 34
⑯自己点検・評価	p 36
⑰情報の公表	p 36
⑱教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	p 38
⑲社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	p 39

設置の趣旨等を記載した書類（本文）

① 設置の趣旨及び必要性

1 本学部の設置の趣旨及び必要性

桜花学園大学は平成 10 年度に人文学部を開設し、平成 15 年度には人間関係学科、国際文化学科、観光文化学科の 3 学科を置いて教育研究を行ってきた。その後平成 21 年度に学芸学部英語学科 1 学科に改組変換し、現在に至っている。このたび、令和 6 年に開設する本学部では国際学部 1 学科（入学定員 50 名）を置く。本学部は、既存の学芸学部の教育課程、教員組織を基盤として、それを発展的に改組するものであり、本学部の設置届出と同時に学芸学部は学生募集を停止する。

学校法人桜花学園は「心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性の育成」を建学の精神とし、常に時代に先駆け、社会の要請に応える近代人の育成に取り組んできた。桜花学園大学は、その学則第 1 条で「教育基本法、学校教育法及び建学の精神に基づき、学校法人桜花学園の設置目的である信念ある女性を育成することを基本目的として、広く知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性を兼ね備えた優れた人材を育成するとともに、「保育学部にあつては教育学・保育学にかかわる学芸、国際学部にあつては国際社会における人文・社会科学の諸分野にかかわる学芸を教授研究し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与することを目的とする」としている。このように、本学では学園の建学の精神・設置目的を踏まえ、信念ある近代女性を大学の人材育成の基本目的として、時代と社会・地域の要請に応え、世の中に貢献できる人材を育成してきた。昨今の地球規模でのグローバル化の中で、個々の価値観や言語、文化的背景の多様化は社会において必須のものとなり、我が国においてはあらゆる側面から更なる対応が求められる状況にある。教育においてもそれらに対応するべく、学生の国際性、多様性、主体性を育むと同時に体験的理解や実践的な力量を涵養するための様々な教育課程の改変が求められている。特に本学が所在する東海地域は国内でも有数の外国籍住民の居住率の高い地域として多文化共生の取組を推進している。このように、様々な課題・要請が顕在化する地域社会の国際化に対応するべく、本学部の設置に至ったものである。

2 本学部の養成する人材像と 3 ポリシーの関係

本学部が掲げる養成する人材像は、「地域・国際社会に関する幅広い知識と語学力を生かしたコミュニケーション能力」および「多岐にわたるグローバルな問題を解決するための論理的・創造的な思考力と主体的・実践的な対応能力」を持った人材とする。

上記の「養成する人材像」を実現するため、学生には、文化的、国際交流の場で必要となる社会文化的な把握が的確にできる力を修得させる。そして、国際化するビジネス分野で必要とされるビジネス活動、マーケティング、観光産業、韓国文化等の実践的基礎知識を持ち、ビジネス分野での課題の設定や問題解決能力、提案能力、交渉能力を身に付けさせる。さらに、グローバル社会における課題を認識し、文化・言語・人間・教育に関する諸問題を理解する能力を身に付けさせる。

以上が、本学部が目指す人材像であり、全学共通教育科目と国際学専門教育科目を統合した本学教育の方針のもとに、その実現を目指す。これに基づき、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを以下のとおり定める。3 つのポリシーは体系的・有機的に連動するものとなっている（「【図 1】養成する人材像と 3 ポリシ

一の関係」参照)。

3 養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの相関

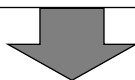
本学部の「養成する人材像」である「「地域・国際社会に関する幅広い知識と語学力を生かしたコミュニケーション能力」および「多岐にわたるグローバルな問題を解決するための論理的・創造的な思考力と主体的・実践的な対応能力」を持った人材のうち、「地域・国際社会に関する幅広い知識」は、主に DP (a)、DP (c)、CP (a)、CP (b) と相関し、「語学力を生かしたコミュニケーション能力」は、主に DP (a)、DP (b)、CP (c) と相関し、「多岐にわたるグローバルな問題を解決するための論理的・創造的な思考力」は、主に DP (b)、DP (d)、CP (b)、CP (c) と相関し、「主体的・実践的な対応能力」は、主に DP (b)、DP (c)、DP (d)、CP (c) に相関する。

【図1】養成する人材像と3ポリシーの関係

養成する人材像

「地域・国際社会に関する幅広い知識と語学力を生かしたコミュニケーション能力」及び「多岐にわたるグローバルな問題を解決するための論理的・創造的な思考力と主体的・実践的な対応能力」を持った人材

- ① 文化的、政治的国際交流の場で必要となる社会文化的な把握が的確にできる。
- ② 国際化するビジネス分野で必要とされるビジネス活動、マーケティング、観光産業、韓国文化等の実践的基礎知識を持ち、ビジネス分野での課題の設定や問題解決能力、提案能力、交渉能力を身に付けている。
- ③ グローバル社会における課題を認識し、文化・言語・人間・教育に関する諸問題を理解する能力を身に付けている。



DP

- (a) 幅広い知識と教養を身につけ、グローバルな視点から言語と文化の多様性を理解し、地域・国際社会の実践的・文化的問題を理解する能力を身につけている。
- (b) グローバル社会における高度で実践的な言語コミュニケーション能力を身につけている。
- (c) 現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力を身につけている。
- (d) 国際社会の多岐にわたる実践的・文化的問題について批判的思考ができ、論理的で創造的な発信ができ、主体的に行動できる能力を身につけている。



AP

【求める学生像】

- ・異なる世界の人々をお互いの文化理解によって結びつけたいと思っている学生
- ・グローバルな課題に対して主体的に取り組みたいと思っている学生
- ・社会のニーズに対応できる教養・情報力及びコミュニケーション能力を身につけたいと思っている学生
- ・他者と協働しながら地域及び国際社会の発展に貢献したいと思っている学生



CP

- (a) 本学部は保育学部との【共通教育科目】として、本学の建学の精神を具現化した「教養科目(桜花学)」と、「汎用的能力」「社会人基礎力」の育成を目指す科目「基礎科目」、及び特定の領域に関する学びの幅を広げる科目「エクステンション科目」を設置している。
- (b) 専門的な知識や方法論を体系的に学ぶために、以下の【専門教育科目】を設置している。
国際学基礎科目、国際・情報専攻科目、日本語教育専攻科目、韓国専攻科目、観光専攻科目、専門ゼミナール及び卒業研究
- (c) 批判的・創造的思考力や課題探求力やコミュニケーション能力を育成するために研究や討論を実践的に積み上げる参加型の授業を実施する。

4 中心的な学問分野

本学部には4専攻を設置し、そこに学問分野に応じた教育・研究体制を作っている。4専攻が対象にする中心的な学問分野は下記のとおりとなる。

国際・情報専攻・・・人文学分野、言語学分野、英語学分野

日本語教育専攻・・・人文学分野、言語学分野、日本語教育分野

韓国専攻・・・人文学分野、言語学分野、外国語教育分野

観光専攻・・・人文学分野、地域研究分野、観光学分野

各専攻分野の担当教員の研究活動は勿論のこと、学生は各専門分野の授業科目及び3・4年次のゼミナール活動において研究活動を深耕することとなる。本学部の授業担当者は1年に2度の学部研究紀要投稿の機会があり、最低1回の投稿が求められており、これらの当該分野の学問研究を通じてグローバル化した社会の様々な課題の解決に貢献する。

② 学部・学科の特色

本学部は、グローバルで多様性に富んだ社会に対応できる幅広い教養と高い専門性を養うことで、多文化のコミュニケーション力が求められる地域社会及び国際社会に貢献していく。このような人材の養成を通じて、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性特色の明確化」において、幅広い職業人養成、総合的教養教育、社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）の機能を重点的に担い、高等教育機関としてその社会的使命を果たしていくことを教育研究上の目的とする。具体的には、以下のような特色を持つ教育課程を編成している。

- (1) 幅広い教養と豊かな人間性を涵養する。「教養科目（桜花学）」、「基礎科目」、「エクステンション科目」からなる「共通教育科目」を設置し、幅広い教養と各領域の基礎知識の修得を目指している。
- (2) 「国際学基礎科目」としてグローバル社会を学ぶ上で基礎となる英語科目を多数配置し、英語力の強化を目指している。また、社会人としての教養を涵養する科目を配置することにより、これからの時代を生きるための基礎力強化を目指している。
- (3) 2年次以降に選択する4つの専攻（国際・情報、日本語教育、韓国、観光）における専門的な知識・技能を身につけて、早期に将来のキャリアプランに結び付けるための実践的な教育を目指している。
- (4) メジャー（主専攻）、マイナー（副専攻）制度を採用し、4専攻の中から自由に広く、関心のあるテーマに合わせて主体的な学び方を展開している。
- (5) 1年次必修科目の海外語学実習Ⅰ（英語圏、韓国語、中国語圏）をはじめ、韓国、英国への交換留学、海外協定校（19校）への協定留学、ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム等多様な留学プログラムを展開している。
- (6) 桜花学園大学と海外の協定大学において、2つの学位が取得できるダブル・ディグリープログラムを採用することで、将来において海外で活動することも視野に入れた学修プログラムを展開している。

このように、地域及び国際社会との接点を意識した実践的な学びを取り入れることにより、国際的・主体的学修の促進を図り、卒業後のキャリアを主体的に構築できるようになる。

③ 学部・学科の名称及び学位の名称

<学部の名称>	国際学部	Faculty of Global Studies
<学科の名称>	国際学科	Department of Global Studies
<学位の名称>	学士（国際学）	Bachelor of Global Studies

本学部は、「国際学部にあつては国際社会における人文・社会科学の諸分野にかかわる学芸を教授研究し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する」ことを目的としている。国際人の基本となる英語及び幅広い教養をベースとして、国際・情報、日本語教育、韓国、観光の4専攻から自分の関心に合わせて自由に学ぶことができる制度を導入している。また、海外での学修を積極的に推奨し、グローバルな視点を備えた人材を養成する観点から、学部名を「国際学部」とする。学科は1学科として「国際学科」とし、学位の名称を「国際学」とする。

④ 教育課程の編成の考え方及び特色

1 教育課程の編成の考え方

桜花学園の教育理念である「信念ある女性」の育成、及び建学の精神である「心豊かで気品に富み、洗練された近代女性の育成」を踏まえ、本学部が定めるディプロマ・ポリシーに基づき体系的な教育課程を編成している。

教育課程は具体的に「共通教育科目」と「専門教育科目」「自由科目」の3分野をもって編成している。共通教育科目は「教養科目（桜花学）」、「基礎科目」、「エクステンション科目」に、「専門教育科目」は「国際学基礎科目」「国際・情報専攻科目」「日本語教育専攻科目」「韓国専攻科目」「観光専攻科目」「ゼミ・卒業研究」に区分し、「自由科目」は主として教職課程に関係する科目を配置している。各授業科目の単位数は、講義及び演習については15時間～30時間までの授業時間をもって1単位とし、実習及び実技については30時間～45時間までの授業時間をもって1単位とする。

本学部のカリキュラム・ポリシーは次のとおりである。

なお、これらの教育課程上の科目と本学部が定める教育目標を実現するための対応関係をカリキュラム・マップで示している。【資料1】

【カリキュラム・ポリシー】

本学部は「地域・国際社会に関する幅広い知識と語学力を生かしたコミュニケーション能力」と「多岐にわたるグローバルな問題を解決するための論理的・創造的な思考力と主体的・実践的な対応能力」を持った教養人を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。

1. 本学部は保育学部との【共通教育科目】として、本学の建学の精神を具現化した「教養科目（桜花学）」と、「汎用的能力」「社会人基礎力」の育成を目指す科目「基礎科目」、及び特定の領域に関する学びの幅を広げる科目「エクステンション科目」を設置している。
2. 専門的な知識や方法論を体系的に学ぶために、以下の【専門教育科目】を設置している。
 - 1) 国際学基礎科目
 - 2) 国際・情報専攻科目
 - 3) 日本語教育専攻科目
 - 4) 韓国専攻科目

- 5) 観光専攻科目
- 6) 専門ゼミナール及び卒業研究
- 3. 批判的・創造的思考力や課題探求力やコミュニケーション能力を育成するために研究や討論を実践的に積み上げる参加型の授業を実施する。

(学修成果の評価)

- 1) グローバル化した社会における実践的な言語コミュニケーション能力
TOEIC、TOPIK、HSK等の得点とその伸びで評価する。
- 2) 幅広い知識と論理的・創造的な思考力
学期ごとの学修ポートフォリオの発表内容とGPA及び「卒業研究」の成績で評価する。

2 教育課程の編成の特色

本学部の教育課程は大きく全学部の共通教育科目(卒業要件 26 単位)、国際学専門教育科目(卒業要件 98 単位)、自由科目に分かれている。国際学専門教育科目は、さらに国際学基礎科目(卒業要件 40 単位)、国際学専門科目(「国際学基礎科目」「国際・情報専攻科目」「日本語教育専攻科目」「韓国専攻科目」「観光専攻科目」「ゼミ・卒業研究」)(卒業要件 58 単位)から構成されている。

(1) 共通教育科目

「共通教育科目」は主となる2つの柱で構成される。建学の精神を踏まえた「教養科目(桜花学)」、汎用的能力の育成を目指す「基礎科目」である。他には、学びの幅を広げる科目として「エクステンション科目」がある。

ア 教養科目(桜花学)

「教養科目(桜花学)」は、「自分を知る」「人間を知る」「社会を知る」「世界を知る」「自然を知る」の5領域の科目群で構成されている。「教養科目(桜花学)」の学修を通して人間存在及び人間の生み出した文化を広く理解し、変化・発展しつつある現代社会の課題を理解しうる基礎的・総合的視野を養う。

イ 基礎科目

「基礎科目」は、「健康・スポーツ関係」「数量的スキル関係」「情報リテラシー関係」「社会貢献・職業体験関係」「グローバル化に対応したコミュニケーションスキル関係」等の科目群で構成されている。「基礎科目」の学修を通して、国際化・情報化という今日の社会変化に対応しうる汎用的能力を身につける。

ウ エクステンション科目

「エクステンション科目」は、「教養科目(桜花学)」と「基礎科目」を結び、学びの幅を広げるための科目である。ここでは、①他学部履修科目、②愛知学長懇話会科目、③大学間連携等単位互換協定に基づく科目等が対象となる。「エクステンション科目」の学修を通して、特定の領域に関する知識・技能を深める。

(2) 専門教育科目

「専門教育科目」は、それぞれの専門分野における語学的な基礎的知識と運用能力を身につけ、現代社会のニーズと変化に対応し、多様な課題の解決に貢献しうる思考力・判断力・表現力の育成を目的としている。「専門教育科目」の学修を通して、全ての学生が現代社会の有能な担い手としての総合的な人間力を養うとともに、将来の社会的・職業的自立に向けて、それぞれの専門分野における免許・資格の取得を含めた基礎的な能力を培う上で必要な科目を体系的、段階的、系統的に学修できるよう構成されている(【図2 本学部における4年間の学びとカリキュラムの特長】参

照)。

ア 国際学基礎科目

「国際学基礎科目」は、必修科目の10科目(12単位)と選択科目の34科目(62単位)となっており、英語系22科目、社会人基礎系22科目の中から40単位の修得を卒業要件としている。授業の形態として44科目中の28科目を演習科目として行う。これは、2年次以降順次導入される専門講義科目を受講できる力を養成するための導入教育的な役割を有している。「Speaking I・II」「Communicative English I・II」等の英語基礎知識・運用能力の修得を通してグローバル化した社会における実践的な言語コミュニケーション能力を身につける科目、「時事ニュース(国内)」「楽しい古典芸能」等の日本語・文化理解に関する科目で構成されている。外国語及び日本語に関する知識・技能を総合的に修得し、日本社会を含むグローバル化への対応という課題に広い視野から探求しうる社会人としての基礎力を培うように配置している。

イ 国際・情報専攻科目、日本語教育専攻科目、韓国専攻科目、観光専攻科目、ゼミ・卒業研究

国際・情報専攻、日本語教育専攻、韓国専攻、観光専攻、ゼミ・卒業研究から構成される専門教育科目は92科目となっており、メジャー専攻(主専攻)から30単位、マイナー専攻(副専攻)から20単位、専門ゼミナール及び卒業研究8単位の修得を卒業要件とする。メジャー専攻(主専攻)とマイナー専攻(副専攻)は学びの目的に合わせて組み合わせることが可能であり、ゼミ・卒業研究の5科目(8単位)を除く全ての科目が選択科目であることから学生が主体的に学びの設計をすることができるようになっている。

1) 国際・情報専攻科目

「国際・情報専攻科目」は、「情報系分野」「中国語系分野」「英語系分野」「語学留学準備系分野」等の27科目(47単位)で構成されている。国際的コミュニケーション力にとって英語力は欠かせない力であり、国際学基礎科目の英語分野と連携を図りながら、国際・情報に関する知識を多角的に修得し、グローバルな視点に立って国際・情報の課題を探求し、高度な語学力を用いて主体的に解決する能力を養うように年次配当をし、教育目標が達成できるように配慮している。

2) 日本語教育専攻科目

「日本語教育専攻科目」は、「多文化共生関連分野」「比較言語・文化関連分野」「日本語教育関連分野」「学校インターンシップ関連分野」等の19科目(42単位)で構成されている。共通教育科目の「日本の文化」及び「異文化理解」、自由科目と連携を図りながら、比較言語学、日本語教育学、日本語教育実践に関する知識・技能を多角的に修得し、グローバルな視点に立って、日本語教育の課題を探求し、主体的に解決する能力を養うとともに、豊富な実践力を涵養できるように年次配当を配置している。これらは全て文化庁が定める「日本語教師養成における教育内容」を含むものである。

3) 韓国専攻科目

「韓国専攻科目」は、「韓国語学関連分野」「韓国研究(地域研究)関連分野」「韓国語コミュニケーション分野」等の24科目(42単位)で構成されている。共通教育科目のコミュニケーションスキル科目や海外研修科目、国際学基礎科目の語学実習科目とも連携を図りながら有機的に連動するように編成されており、韓国を語学、地域研究、コミュニケーション等の多方面から学び、多角的に得た幅広い知識・高度の技能を生かして日韓交流の課題を探求し、主体的に解決する、または日韓交流そのもの

を広く促進できる能力を養うように年次配当を配置している。

4) 観光専攻科目

「観光専攻科目」は、「観光学・観光政策学関連分野」「ホスピタリティ関連分野」「都市計画・フィールドワーク関連分野」等の17科目(34単位)で構成されている。共通教育科目の桜花学や社会貢献・職業体験関係の科目と連携を図りながら、観光に関する知識・技能を多角的に修得し、ホスピタリティのあり方を理解しながら、まちづくりや観光産業の課題に対して実践的に探究し、ビジネス分野で主体的に解決する能力を養うように年次配当を配置している。また、観光現場に特化した実践的な修学のために実習科目の「観光インターンシップ」「地域フィールドワーク」を配置している。

5) ゼミ・卒業研究

「ゼミ・卒業研究」は「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」と「卒業研究」の2分野で成り立つ。本学部の特徴であるメジャー(主専攻)、マイナー(副専攻)制度による学修行程を経て、自らの主研究目的に沿った専門ゼミナールでの学びを卒業研究として、論文形式、またはポートフォリオ形式でまとめていく。専門ゼミナールは、3年次から配当し、4年次の卒業研究指導と併せて、学生の研究・論文作成能力という教育目標が達成できるように配慮している。「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」と「卒業研究」を必修とし、少人数教育を実践して、個人指導を充実させ、学生が修得した幅広い知識と論理的・創造的な思考力を卒業論文作成の形で集大成し、社会への積極的な発信能力の向上を目指す。なお、学部の専任教員全員が開講する。

ウ 自由科目

「自由科目」の枠では、教育職員免許法施行規則に従い、中学校教諭1種免許状 外国語(英語)及び高等学校1種教員免許状 外国語(英語)の取得のために必要な知識を学ぶ科目で構成されている。具体的には「教科及び教科の指導法に関する科目」の一部、「教育の基礎理解に関する科目」、「道徳、総合的な学修の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」、「教育実習」「教職実践演習」「大学が独自に設定する科目」がそれぞれ配置されている。教員を実際に目指す者のみの履修を原則とするが、より総合的な教育力を養成できるように、専門教育科目の国際・情報専攻の科目や日本語教育専攻の科目と連携を図りながら、この分野の学修・実習を通して現代の教育諸課題に対して実践的に探究し、主体的に解決する能力を養うように配置している。教職課程科目は1年次の後期から配当し、教育実習までに必要な科目が履修できるように年次配当をしている。

【図2 本学部における4年間の学びとカリキュラムの特長】

学修目標・内容	1年次 基礎力の定着	2年次 基礎力の強化・ 専門知識の導入	3年次 専門性の深化・ 実践力	4年次 学びを生かした実 践力の強化
基礎的知識・汎用的能力	学修の基礎を学ぶ 「桜花学」「基礎演習」「コンピュータ」等	学びの特徴を把握する 「社会調査法」「情報リテラシー」「時事ニュース」等	学びを深める 「現代社会と企業」「日中交流史」「ITスキル応用」等	学びを総括する 「卒業研究」等
専門的知識・方法論の修得	英語の基礎・社会人基礎を学ぶ 「Grammar for Communication」「日本語表現」「日本のポピュラーカルチャー」等	専門領域の基礎を学ぶ 「アメリカ文学入門」「Business English」「日本語教育概論」「韓国語プレゼンテーション」「観光ホスピタリティ」等	専門領域を深化させる 「英語翻訳・通訳」「日本語教育法」「ビジネス韓国語」「宿泊産業論」等	課題を探究する 「海外英語資格実習」「エクステンション科目」「日本語教育演習」等
批判的・創造的思考力と課題探求力	国際社会の基礎を学ぶ 「サステイナブルな社会」「基礎演習」等	学びを多角的に捉える 「基礎ゼミナール」「ビジネス環境とマーケティング」「日英比較」「日韓文化比較」「観光と文化」等	学びを発展させる 「Theory of English Structure」「応用言語学」「韓国の伝統文化と思想」「観光政策論」「専門ゼミナールⅠ、Ⅱ」等	主体的な課題解決力を磨く 「専門ゼミナールⅢ、Ⅳ」等
実践的な社会コミュニケーション能力	異文化を理解する 「多文化社会論」「海外語学実習Ⅰ」等	経験学修の意欲を高める 「Study Abroad Preparation」「ボランティア(国内)」「観光インターンシップ」等	経験学修を積極的に図る 「International Relations」「キャリアデザイン」「日本語教育ボランティア」「韓国インターンシップ」等	学びを具体化して実践する 「ボランティア(海外)」「国内日本語教育インターンシップ」「海外語学実習Ⅱ」等

⑤ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1 教育方法

(1) オエンテーション教育・基礎教育の方法

国際学を学ぶ上で基礎となる英語力と社会人教養力の向上のために、国際学基礎科目の大部分を1, 2年次に配置している。特に1年次での履修は、多くの専任教員を配置して指導を行い、導入教育の充実を図る。具体的には、1年次の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、2年次の「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」では課題学修の中にラーニング・ストラテジー(学修戦略)のテーマを絞り込み、学生に学修方法のあり方を学ばせて教育目的の達成を図ることとしている。また、1年次の「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」で日本語でのコミュニケーション向上に必要な基礎知識を学ばせている。そして、発音やリスニングの基礎を学ぶために「English PhoneticsⅠ・Ⅱ」を1年次の必修科目として配置している。さらに、グローバル化した現代社会における外国での実践的なコミュニケーション能力を育成し、日本を含めた外国の文化を理解させるための「海外語学実習Ⅰ(英語圏/韓国/中国語圏)」では国際力の基礎を学ばせている。

(2) 専門教育・各専攻教育の方法

専門教育科目は、国際・情報専攻、日本語教育専攻、韓国専攻、観光専攻の4専攻から成り立っている。国際・情報専攻では、国際・情報に関する知識を生かしてグローバルな観点から主体的に課題へ取り組む力を養う。日本語教育専攻では、文化庁の定める日本語教員養成課程を設定し、日本語教育の理論を学んだ上で、国内外において実践的なスキルを身に付けるプログラムとなっている。韓国専攻では、韓国語の高いコミュニケーションスキルを養い、思想・文学・社会・文化・歴史等、幅広い分野から生きた韓国を体得させる。観光専攻では、旅行・ホテル・エアライン等の観光関連産業で活躍できる力を養い、観光によるまちづくり、地域創生について実践的に学ばせている。

(3) 授業の形態

本学部における授業形態は講義、演習、実習の3種類である。各授業科目を必修科目と選択科目に分け、これを各年次に配当した教育課程により行う。専門教育科目の演習授業は25名程度の学生数で実施することになっている。演習科目の多くを当該年度に配置している講義科目の授業テーマと連携を持たせ、同一テーマに様々な側面からアプローチすることによって学生の学修能力の向上を図るとともに、教員や学生の多様な意見を考察してまとめ、文章やプレゼンテーションの形で表現できるようにすることで研究や討論を実践的に積み上げる参加型授業の実施を目指している。国際学基礎科目及び専門教育科目における実習科目は16科目ある。そのうち、1年次の必修科目「海外語学実習Ⅰ」は、英語圏、韓国、中国語圏の中から学生の希望を元に履修指導を行い、配当する。1年次の春期休暇中に現地の大学の語学教育機関で語学の実習を行う。担当教員は4名であるが、全員が留学先現地出身の専任教員である。実習に先立って1年後期に毎週、実習先国の文化、社会、政治などについて授業をし、海外語学実習の教育効果を高めることにしている。実習期間中の指導及び実習後の指導も行っている。他の実習科目は担当教員の指導を受けて個別に実習をすることになる。

2 履修指導

(1) 卒業要件

本学部では共通教育科目26単位、専門教育科目98単位、合計124単位を履修しなければならない。具体的には以下のとおりである。

<共通教養科目>

- ア 必修科目として「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の2単位を履修する。
 - イ 選択必修科目として、教養科目（桜花学）の「自分を知る」「人間を知る」「社会を知る」「世界を知る」「自然を知る」の各領域から各2単位、計10単位を履修する。
 - ウ 第2外国語科目の「中国語」「韓国語」「スペイン語」「フランス語」「ポルトガル語」から1言語を選択し、2単位を履修する。
 - エ 基礎科目の「スポーツ健康論」「スポーツⅠ・Ⅱ」から1単位、「統計学」「社会調査法」「情報社会論」「コンピュータⅠ・Ⅱ」から1単位、「NGO・NPO論」「現代社会と企業」「地域協力演習」「インターンシップ（国内）A・B」「インターンシップ（海外）A・B・C・D」「ボランティア（国内）」「ボランティア（海外）」「海外英語資格実習」から1単位を履修する。
- これらを含めて、共通教育科目から26単位を履修する。

<専門教育科目>

- ア 国際学基礎科目

- ・必修科目として、英語分野の「Grammar for Communication I」「Grammar for Communication II」「English Phonetics I」「English Phonetics II」の6単位を履修する。
 - ・必修科目として、社会人教養分野の「日本語表現I」「日本語表現II」「日本語表現III」「日本語表現IV」「基礎ゼミナールI」「基礎ゼミナールII」選択必修科目として「海外語学実習I（英語圏）」「海外語学実習I（韓国）」「海外語学実習I（中国語圏）」の10単位を履修する。
 - ・国際学基礎科目の選択科目から24単位を履修する。
- これらを合計して、40単位を履修する。

イ 各専攻

- ・主専攻の選択科目から30単位以上を履修する。
- ・副専攻の選択科目から20単位を以上履修する。
- ・専門教育科目の必修科目として、「専門ゼミナールI」から「専門ゼミナールIV」までを3・4年次に4単位履修する。さらに、4年間の学修の集大成として「卒業研究」を必修科目とし、必要な学修等を考慮して学修成果を評価し、4単位を付与する。

これらを合計して、専門教育科目から58単位を履修する。

国際学基礎科目と各専攻科目を合計して、98単位を履修する。

3 履修指導の方法

1年次のオリエンテーションガイダンスや各学期の開始前に行われる履修ガイダンスに加えて、4年間を通じて、学科の専任教員全員がアカデミック・アドバイザーとなり、オフィスアワーを設け、学修方法、科目履修、学生生活、進路に関する指導をする。留学生に対しては、これらの指導に加えて留学生対象の日本語の授業を開講し、留学生の日本語学修を支援する。また、本学に附置する国際交流支援センターでは、留学生の保証人や在籍に係る管理に加え、学生生活全般に関する支援を行う。

履修上の指導としてGPA制を導入している。この制度によって授業科目ごとの成績をGP (Grade Point) として計算し、その平均値 (GPA) を算出して学生一人一人の学修の進捗と達成度を確認できるようにする。習熟度別にクラス編成される科目において、高いレベルの学生はより高度な内容を学修できるようにする。さらに、表彰制度を設け、GPAやTOEIC・TOEFL、TOPIK、HSK、その他検定試験等の成績優秀者には何らかの特典を与え、成績不振者には学修の督励や補習授業を定期的に行って履修指導を補完することになっている。また、CAP制を導入して前学期のGPAに基づいて学期ごとに履修単位数を制限しており、学生が各学期に履修登録できる単位数は、自己学修の時間を勘案して24単位以内と定めている。具体的には、前学期の学期GPAが3.5以上の場合は24単位、3.0～3.4の場合は22単位、2.5～2.9の場合は20単位、2.0～2.4の場合は18単位、2.0未満の場合は16単位、新入学生、編入学生、再入学生の場合は20単位を上限としている。なお、自由科目（教職科目）、学外実習科目、集中講義はこの上限制限に含まれない。

4 履修モデルと履修指導

本学部では、入学時のオリエンテーションガイダンスにおいて、学科の教育課程に従って十分な学修成果が得られるように、共通教育科目と専門教育科目を効果的に組み合わせた履修モデルを作成し、学生に対する履修指導を徹底することになっている。

本学部では、英語コミュニケーション分野及び社会人基礎教養分野を中心とした国際

学基礎科目に加え、専門教育科目の 4 専攻をそれぞれ主専攻と副専攻にして学修する場合を想定した 3 つの履修モデルを作成している【資料 2】。これらの学修分野を入学時に説明し、学生に統一的な履修をするように指導し、教育の達成度の向上を図ることになっている。

(1) 国際理解・地域理解分野を主として学修する履修モデル

この履修モデルは、卒業後に国際的な組織や国際取引の職種、国家公務員や地方公務員に就職を希望する者が、必修科目による英語コミュニケーション力と社会人教養を身につけるとともに、異文化理解や国際地域理解のために必要な国際関係や東アジア地域の社会・文化を学ぶために、主専攻に観光専攻、副専攻に国際・情報専攻を選択する場合、または、主専攻に韓国専攻、副専攻に韓国及び国際・情報専攻を選択する場合の履修モデルである。

(2) ビジネスコミュニケーション分野を主として学修する履修モデル

この履修モデルは、卒業後に一般企業や旅行・観光業関係への就職を希望する者が、必修科目による英語コミュニケーション力と社会人教養を身につけるとともに、旅行業・観光業で求められる観光・旅行産業に関する知識を身に付け、国際関係・地域文化を学ぶために、主専攻に韓国専攻、副専攻に観光専攻を選択する場合、または、主専攻に国際・情報専攻、副専攻に韓国専攻を選択する場合の履修モデルである。

(3) 教育分野を主として学修する履修モデル

この履修モデルは、卒業後に日本語教師や外国語教育関連の職種に就職を希望する者、または、大学院への進学を目指す者が、教職課程とは別に、必修科目による英語コミュニケーション力と社会人教養を身につけるとともに、日本語教育に求められる知識を習得し、異文化理解を深めるために、主専攻に日本語教育専攻、副専攻に国際・情報専攻を選択する場合、または、主専攻に日本語教育専攻、副専攻に韓国専攻を選択する場合の履修モデルである。

5 他大学における授業科目の履修について

学生が国内外の他大学で本学部に配置してある科目に相当する科目を履修した場合には学則に従い単位認定をする。一定以上の外国語力に達した学生が中長期の海外留学を希望する場合には、この制度を活用して学生の中長期留学を支援していく。本学部で導入している単位認定中長期留学制度には、大きく分けて協定・交換留学プログラム及びダブル・ディグリー留学プログラムの 2 種類がある。

(1) 協定・交換留学プログラムによる単位認定

本学部では、海外の協定大学での修学を経験し、グローバル感覚や国際社会の幅広い知識を身につけた人材育成を目的に協定留学及び交換留学プログラムによる単位認定制度を導入している。2 年次以降の学生を対象に半年から 1 年間の留学が可能である。留学先大学での履修は、本学と留学先大学のシラバスなどを照らし合わせながらアカデミック・アドバイザー等が履修指導を行う。単位認定については、帰国後に本人から提出される留学先大学での講義概要、授業形態、授業時間数及び留学先大学の成績証明書等に基づき、30 単位を上限に個別に認定している。留学先については、本学が単位交換等で協定を締結している 7 か国・地域の 30 大学の中から学修目的に沿って選定する。

(2) ダブル・ディグリー留学制度による履修

本学部は、国際的な視野を持つ人材育成とともに海外の大学と教育連携を取ることによって大学間交流を促進し、教育内容の充実を図るためにダブル・ディグリー留学制度を

導入する。本学部で2年次までの教育課程を終えた学生を対象に3年次から2年間の留学が可能である。留学先大学での履修については、本学と留学先大学の教育課程や単位制度などを踏まえた上で学生の履修に支障がないよう留学先大学の担当者と連携を図りながらアカデミック・アドバイザー及び留学委員会等が指導を行う。留学先で修得し、本学で単位交換として認定する単位数は60単位を上限とする。さらに、学位論文の提出については、原則、双方の大学に提出し、それぞれの学位審査を受けることとする。教育内容の質を保障するため、学生の留学中においてもアカデミック・アドバイザー及びゼミ担当教員は留学先の担当教員と定期的に連絡を取り合いながら、履修指導及び修学・生活指導を行う。留学先については、本学が教育協定を締結している以下の諸大学から学修目的に沿って選定する（※【資料9】参照）。

- ・順天郷大学（韓国）
- ・又松大学（韓国）
- ・清州大学（韓国）
- ・ノーサンプトン大学（英国）

6 多様なメディアを利用した授業

本学部では、学生の学びの多様化を図る上で授業における多様なメディア（ICT）を効果的に活用した授業をいくつか取り入れている。その前提として、学生専用ポータルサイトにコースマネージメントシステム（授業管理システム）を構築し、入学時に学生全員がラップトップパソコンを付帯してローカルネットワークを利用した学修支援及び学生生活支援をしている。コースマネージメントシステム（授業管理システム）の活用として、各授業担当者によるオリジナルコンテンツ教材提示、podcastによるオリジナル教材提示やダウンロード、課題提示、宿題・課題提出、ネット上のポスターセッション、受講生同士のフォーラム、受講生制作の音声やビデオ podcast による課題の発表、クイズやミニテスト等を実施している。

⑥多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学部では、外国の大学との単位交換協定留学制度やダブル・ディグリー留学制度を導入するが、留学プログラム参加中の学生は、外国において本学部の授業（専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、各1単位等）を同時かつ双方向型で履修することができる。また、1年次選択科目の「韓国事情」（2単位）は、韓国の大学の専任教員が毎回の授業を現地からライブ配信することになっている。現地からのリアルな情報・知識を発信することで、学生のより高い修学意欲や学修効果を得ることができる。

これらは学則の授業の方法に関する規定に基づいており、メディア授業による修得単位数の上限内で運営される。文部科学省告示第51号の要件をも満たしている。

このようなメディアを利用した授業の実施に当たっては、授業中は教員と学生が互いに映像・音声等によるやりとりを行うと同時に、授業終了後はインターネットや授業管理システムを利用して設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を併せて行い、当該授業に関する学生の意見の交換の機会を確保する。学内にはシステムの管理・運営を専門に行う担当部署を配置しており、必要に応じて対応に努める。これらの授業管理システムは、多様な受講スタイルのニーズに十分に対応できる。

メディアを利用するために必要な学生へのIT情報技術学修支援としては、1年次のオ

リエンテーション時にパソコン講習を実施する。また、1年次の共通科目の「コンピュータⅠ・Ⅱ」で日本語及び英語のOSやソフトウェアの知識や技術を修得する。3年次の国際・情報専攻の専門教育科目の「ITスキル応用Ⅰ・Ⅱ」では情報システムの開発に必要なプログラミングやCADに関する技術を加えた応用領域を修得することになる。3年次の国際・情報専攻の専門教育科目の「コンテンツ制作」ではスマートフォンやタブレット、ノートPCを使ってウェブの動画コンテンツを制作するための知識と技術を身につけることになる。

⑦ 編入学定員を設定する場合の具体的計画

学則に従い、編入学生を受け入れていく。出願資格は次のいずれかに該当する者である。

(1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者、(2) 大学を卒業した者又は2年以上在籍し、62単位以上修得した者、(3) 学校教育法第132条に規定する文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程を修了した者、(4) 外国の大学において2年以上在籍し、62単位以上を修得した者又は大学を卒業した者。なお、編入学生の既修得単位の取扱については「桜花学園大学国際学部編入学既修得単位認定規程(案)」【資料3】に基づき、科目ごとに審査して認定することになり、編入学希望者には編入学選抜試験前にその内容を十分に説明する。

1 既修得単位の認定方法

編入学の既修得単位の認定は、「桜花学園大学国際学部編入学既修得単位認定規程(案)」【資料3】に基づき上限60単位を本学で修得したものとして認定することが可能である。既修得単位においては、「既修得単位の読替参照表」【資料4】を参考にして編入学生の既修得科目と本学部学科で配置している科目の内容とを個別に検証し、認定することになる。

2 履修指導方法及び教育上の配慮

履修指導方法及び教育上の配慮については、入学時にオリエンテーションにおいて本学部学科における学修希望の聴取等を実施し、2年間で卒業に必要な単位を修得できるよう個別指導を行うとともに、常時相談に応じ必要な助言等を行う。

編入学履修モデルは、いずれも編入学生の他大学等における履修状況を判断して上述の本学部編入学既修得単位認定規程(案)に従い既修得単位を認定した場合の履修モデルである【資料5】。各履修モデルの説明は「⑤教育方法、履修指導方法及び卒業要件」を参照されたい。

- (1) 国際理解・地域理解分野を主として学修する履修モデル
- (2) ビジネスコミュニケーション分野を主として学修する履修モデル
- (3) 教育分野を主として学修する履修モデル

これらのモデルのいずれも2年間で卒業が可能である。

⑧ 実習の具体的計画

1 教育実習(中学校・高等学校)について

教育実習は、教職課程の系統的な学修において、中学校または高等学校における教育の実際を体験し、中等教育の意義、その内容について体験的に理解を深めるとともに、中学校、または高等学校教諭としてのあり方を学修する機会として位置づく科目である。なお、

本学部における教職課程は、学部ディプロマ・ポリシーを含みながら、知識基盤社会を生き抜くための高度な英語コミュニケーション力、論理的思考、最新の ICT 運用能力を身につけ、小学校に導入された英語教育とのつながりを的確に考察しうる中学校・高等学校教師の養成を目指す。

1 年次後期より教職課程の学修を始め、1 年次では教壇に立つものとしての心構えや基礎知識を主として「教職入門」で学んでいく。特に、教育実習生として教育に関わる際には「観察」「参加」「実習」の 3 形態があり、それぞれがどのような意味を持つのか、ということについて同授業で学びながら、同時に自らが実習を行おうとしている学校種に応じて中学校か高等学校を訪問させて、教師を目指す者として望ましい姿勢の持ち方等を学校教育現場の先生から直接教えていただく機会を自ら作るよう指導する。

その後、各学年における教職課程関連の授業での学びを通して、最終的には 4 年次前期に、教職課程のまとめとして教育実習において体験し、教育活動への実際の参加を通して自己課題を探究し、自らの目指す教師像を明らかにする。なお、教育実習は I と II があるが、自らの目指す教員免許の学校種より実習期間が異なるため、教育実習が 3 週間の場合は I を、2 週間の場合は II を履修するよう指導する。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 6】

イ 実習受入れ承諾書【資料 6】

(2) 実習先との契約内容

実習中に知り得た生徒の個人情報や学校の諸情報についての秘密保持に努めるとともに、適正な取り扱いに努めるために、誓約書の提出を求めている。また、教育実習直前の授業（教育実習指導）内においても、実習における個人情報保護、SNS 使用上の注意等の内容を遵守するよう学生に指導する。

(3) 実習水準の確保の方法

実習水準の確保のため、以下の場合には教育実習の履修を認めない。

ア 「教育実習指導」の授業を、正当な理由がなく、無断遅刻や無断欠席が続いた場合。

イ 前記科目の単位修得が明らかに見込まれない場合。

ウ 実習に必要な書類を所定の期日までに提出しなかった場合。

エ 教育・保育職支援センターとの会議で実習生としての資質を欠くと判断された場合。

オ 実習先の生徒、及び関係者の安全確保の見地から、実習に耐えうる健康状態にないと判断される場合。なお、健康状態の判断に関しては、医師の診断書を求めることがある。

カ 教育実習 I、II いずれの場合も、実習の前年度までに以下の科目を履修または単位修得していない場合。

・教科及び教科の指導法に関する科目のうち「English Phonetics I 及び II」「英語科教育法 I・II・III 及び IV」

・教育の基礎的理解に関する科目のうち「教職入門」「学習心理学」「特別支援基礎論」

キ 前年度までの通算 GPA が 2.8 未満の場合。

ク 前年度 2 月末までに TOEIC600 点以上の得点を証明できない、または英検準 1 級以上の合格を証明できない場合。なお、他の試験結果であっても前記外部試験の指定基準に相当する点数や級だと証明できる場合は実習を許可する。

ケ 何らかの理由で、教育実習委員会が実習を許可できないと判断した場合。

なお、これらの条件については「桜花学園大学国際学部 教職免許取得に関わる教育実習等の履修に関する規則（案）」に定める【資料7】。

(4) 実習先との連携体制

本学と教育実習校との全体的な連携体制は、愛知県内については愛知県教育委員会を通して実現されており、その他の地域については各教育委員会と個別に連絡を取っている。加えて、高等学校が中心となるが、私立学校については各学校と個別に連絡を取っている。また、実習における指導の方針や課題等については各学校の責任者が明確になり次第、教育実習委員会の担当者より各学校に連絡して、共有するようにしている。

(5) 実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

教育実習前の感染症予防対策として「麻疹・風疹の抗体検査」証明書の提出を義務付けるとともに、腸内細菌検査の実施を義務付けている。また、保健室担当者による感染症予防の講話を実施している。体調管理としては実習1週間前からの検温、体調チェックの記録も義務付けている。保険については、学研災及び学研災附帯賠償責任保険に加入している。

(6) 事前・事後における指導計画

ア 時期及び時間数

4年次（授業名：教育実習指導）

事前：4～5月 90分×7回の授業

事後：6～7月 90分×8回の授業（集中講義を含む）

イ 内容（具体的な指導項目）

実習の事前・事後指導ともに「教育実習指導」の授業で行う。実習の事前について、その内容としては、実習の手引きや事前訪問等についてのガイダンス、実習日誌における考察の書き方・学修指導案の作成に関する最終注意をそれぞれ実施する。事後については、実習終了後に集団で集団討議・個別で発表を行い、実習全体の総括を行う。同時に、中学校または高等学校教諭としての専門性のあり方について再度確認する。その後評価票に基づく個人面談を行う。

具体的な指導項目は以下のとおりである。

<事前>

第1回：「教育実習指導」の実習前課題と事前指導の計画について

第2回：中学校・高等学校における観察、参加、実習のあり方について最終確認

第3回：実習日誌の書き方と事前訪問のための学内指導

第4回：卒業生（現役教師）による実習講話

第5回：実習におけるマナー・自己紹介の仕方

第6回：模擬授業による授業実践方法・内容最終確認

第7回：実習の直前指導

<事後>

第1回：「教育実習指導」の実習後課題と事後指導の計画について

第2回：中学校・高等学校における授業指導案（英語）の発表・分析

第3回：中学校における授業指導案（特別の教科道徳）の発表・分析

第4回：中学校・高等学校における学級活動・ホームルーム活動の実践報告と討論

第5回：中学校・高等学校における学修指導要領と授業実践の関係分析・発表

第6回：中学校・高等学校における生徒・進路指導の実践報告と討論

第7回：グループに分かれて反省会 実習での学びと振り返り

第8回：評価票に基づく個人面談

(7) 教員の配置並びに巡回指導計画

「教育実習指導」「教育実習 I」「教育実習 II」に専任教員を 2 名配置するとともに、実習担当職員を 2 名配置している。実習巡回については、教育実習委員会中心として全ての実習校を巡回する。実習先と面談予約を取り、実習参観を通して実習生の状況把握・指導・助言を行う。また、実習先では、本学への要望等について話し合い、連携を図る。巡回後は報告書を作成し、より充実した実習を行うための資料として保存する。

(8) 実習校における指導者の配置計画

実習先での実習指導者については、教育実習委員会が当該校と話し合い、十分な実務経験を有する指導者に委託するように連携を図っている。また、実習中の指導方法等についても綿密に連絡を取り合うようにしている。

(9) 成績評価体制及び単位認定方法

実習評価については、実習校からの「教育実習評価票」の評価（60%）、「教育実習日誌」（20%）、及び「事後レポート」（10%）その他（授業態度等）（10%）を評価対象とし、担当教員が総合的に評価する。教育実習指導（授業）については「事前の課題」の評価（50%）「事後課題の評価」（40%）、「授業への意欲」（10%）を総合的に評価する。

2 日本語教育実習について

日本語教育実習は、日本語教育の系統的な学修において、国内・海外における教育の実際を体験し、日本語教育の意義、その内容について体験的に理解を深めるとともに、日本語教師としてのあり方を学修する機会として位置づく科目である。また、実習を通して、学部ディプロマ・ポリシーの 1 つである「幅広い知識と教養を身につけ、グローバルな視点から地域・国際社会を理解する能力」を修得することを目的とする。

日本語教育について学んだ知識と経験を生かし、日本語を母語としない学習者に日本語を教える際の実践力を身につけるために、「国内日本語教育インターンシップ」、「海外日本語教育インターンシップ A・B」「学校教育インターンシップ」「日本語教育ボランティア A・B」を実施する。「国内日本語教育インターンシップ」は、日本語教育実習特別ガイダンスの受講に加えて国内の日本語教育機関において、日本語教師になるための教壇実習等（2 週間または 60 時間程度）を行い、成績評価を行ったうえで、2 単位を認定する。「海外日本語教育インターンシップ A・B」は、日本語教育実習特別ガイダンスの受講に加えて、海外（アジア）の協定校で日本語教師になるための教壇実習等を行い、成績評価を行ったうえで、「海外日本語教育インターンシップ A」（2 週間または 60 時間程度）は 2 単位、「海外日本語教育インターンシップ B」（4 週間または 120 時間程度）は 4 単位を認定する。「日本語教育ボランティア A・B」は、日本語教師を目指す者として望ましい姿勢の持ち方等を習得しながら各学年における日本語教師資格修得関連の授業での学びを通して、教育実践を体験し、教育活動への実際の参加を通して自己課題を探究し、自らの目指す日本語教師像を明らかにしてもらうための科目である。実習先は国内・海外において本学と協定を締結している機関に設定しており、実習先の担当者から提出される成績評価のための根拠資料に基づき学修の程度を測定し、本学部の成績評価と合わせて、実習担当教員が総合的に評価し、2 単位または 4 単位を認定する。単位認定は、合計活動時間が 60 時間程度で 2 単位、120 時間程度で 4 単位を認定する。「学校教育インターンシップ」は、学内での事前講習（定時外 3 日間）を行った後、海外（北米）の協定校で日本語教師になるための教壇実習等及び英語圏での日本語教師に求められる英語研修（14

日間)を行い、成績評価を行ったうえで2単位を認定する。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 8】

イ 実習受入れ承諾書【資料 8】

(2) 実習先との契約内容

実習先との間では、文書を交わし、実習の実施に当たって必要な事項を事前に取り決めることにしている。実習の実施に当たっては、事前に、本学の担当教員と実習先の担当者との間で、プログラム内容、スケジュール、成績評価のための根拠資料について詳細な取り決めを行うこととしている。また、実習中に知り得た生徒の個人情報や学校の諸情報についての秘密保持、SNS 使用上の注意等の内容を遵守に努めるとともに、適正な取り扱いに努めるために、実習生の誓約書を実習先にも提出している。

(3) 実習水準の確保の方法

実習水準の確保のため、以下の場合には実習の履修を認めない。

ア 実習前の特別ガイダンスを、正当な理由がなく欠席した場合。

イ 実習に必要な書類を所定の期日までに提出しなかった場合。

ウ 実習先の生徒、及び関係者の安全確保の見地から、実習に耐えうる健康状態にないと判断される場合。なお、健康状態の判断に関しては、医師の診断書を求めることがある。

エ 実習の前までに以下の科目を履修または単位修得していない場合。

・「日本語教育概論 I・II」「日本語教育法 I・II」「日本語教育演習 I・II」「日本語教育ボランティア A または B」

・前年度までの通算 GPA が 2.8 未満の場合。

・何らかの理由で、学科が実習を許可できないと判断した場合。

(4) 実習先との連携体制

本学と教育実習校（国内・海外）との全体的な連携体制は、科目担当者及び学部留学委員会、キャンパス内国際交流支援センターを通して実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については、各学校の責任者が明確になり次第、実習期間前から後にかけてのトラブルに対応できるように科目担当者より各学校に連絡して、共有するようにしている。

(5) 実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

教育実習前の感染症予防対策として保健室担当者による感染症予防の講話を実施している。体調管理としては実習 1 週間前からの検温、体調チェックの記録も義務付けている。保険については、学研災及び学研災附帯賠償責任保険に加入している。

(6) 事前・事後における指導計画

ア 時期及び時間数

・「国内日本語教育インターンシップ」「海外日本語教育インターンシップ A・B」
4 年次（定時外講習「日本語教育実習特別ガイダンス」）

事前：実習・体験・渡航 2 か月前~1 か月前 90 分×3 回実施、

事後：実習・体験・渡航 2 週間後~1 か月後 90 分×3 回実施

・「学校教育インターンシップ」

2 年次~4 年次（定時外講習「日本語教育実習特別ガイダンス」または「学内事前講習」）

事前：実習・体験・渡航 2 か月前~1 か月前 90 分×3 回実施、

事後：実習・体験・渡航 2 週間後~1 か月後 90 分×3 回実施

イ 内容（具体的な指導項目）

実習の事前・事後指導ともに日本語教育実習特別ガイダンスで行う。実習・体験の事前について、その内容としては、国内・海外の受入れ校・団体からの要望、実習日誌の書き方・学修指導案の作成に関する最終注意をそれぞれ実施する。事後については、実習・体験終了後に集団で集団討議・個別で発表を行い、日本語教育実践プログラム全体の総括を行う。同時に、日本語教師としての専門性のあり方について再度確認する。その後評価票に基づく個人面談を行う。

具体的な指導項目は以下のとおりである。

<事前ガイダンス>

第1回：日本語教育実習指導の全体計画について

第2回：受入れ校・団体における日本語授業への観察、参加、実習のあり方について
最終確認

第3回：模擬授業による授業実践方法・内容の最終確認

<事後ガイダンス>

第1回：実施した授業指導案（日本語）の発表・分析・討論

第2回：グループに分かれて反省会 実習での学びと振り返り

第3回：評価票に基づく個人面談

(7) 教員の配置並びに巡回指導計画

「日本語教育演習」「学校教育インターンシップ」「国内日本語教育インターンシップ」「海外日本語教育インターンシップ A・B」の科目担当者及び留学委員会や国際交流支援センターに専任教員を5名配置するとともに、国際交流支援センター担当職員を1名配置している。教員の負担からは無理のない計画である。実習・体験の巡回について、国内の受入れ機関について全て、海外についてはできるだけ多くの受入れ校を巡回する。実習・体験先と面談予約を取り、授業参観を通して実習生・体験生の状況把握・指導・助言を行う。また、訪問先では、本学への要望等について話し合い、連携を図る。巡回後は報告書を作成し、より充実した実習・体験を行うための資料として保存する。実習・体験地が海外の場合でもできるだけ現地へ出向き、巡回指導を行う予定となっている。

(8) 実習校における指導者の配置計画

実習先での実習指導者については、実習委員会が当該校と話し合い、十分な実務経験を有する指導者に委託するように連携を図っている。また、実習中の指導方法等についても綿密に連絡を取り合うようにしている。

(9) 成績評価体制及び単位認定方法

実習評価については、実習校・体験先からの「実習・体験評価票」の評価（60%）、
「実習・体験日誌」（20%）、及び「事後レポート」（10%）その他（授業態度等）（10%）
を評価対象とし、担当教員が総合的に評価する。

⑨ 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

これらの科目は「海外語学実習Ⅰ」を除き共通教育科目及び専門教育科目において選択科目として配置する。履修にあたっては、語学力や健康状態、学修の過程等を踏まえ、担当教員が十分な履修指導を行う。

1 「海外語学実習Ⅰ（英語圏・韓国語・中国語圏）」「海外語学実習Ⅱ（英語圏・韓国語・中国語圏）」「海外研修A・B」「海外英語資格実習」

本学部は、海外での語学実習や生活を経験し、異文化環境における多角的な視点を涵養することを重視している。語学力の向上のみならず、他国の留学生との交流、現地の人々とのコミュニケーションにより、国際感覚豊かな学生としてさらなる修学意欲の喚起に通じることを目標としている。そのため、1年次の「海外語学実習Ⅰ」（必修科目）をはじめ、「海外語学実習Ⅱ」「海外研修A・B」「海外英語資格実習」といった実習科目を配置している。

<海外語学実習Ⅰ（英語圏・韓国語・中国語圏）>

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料9】

イ 実習受入承諾書【資料9】

(2) 実習先との連携体制

各大学・教育機関の担当者とは、準備段階においては、メールやオンラインでの打ち合わせを実施している。留学中の学修状況や健康状態については、留学前半では付添担当教員が、学生たちと直接面談をして確認する。その後は、留学先教育機関の教務及びホームステイ・コーディネーターとの連携により、受講状況や滞在先での状況を把握する。こうした状況は、付添担当教員を通じて、学部の留学委員会に随時メールにて伝えられ、緊急時には電話連絡等を用いる。留学先での課題について、原則としては、本人の申し出に基づき、現地でホームステイ先（または寮など）、授業担当者、コーディネーターと本人との話し合いにより解決する。必要な場合には、本学部留学委員会メンバーや学生の家族・保証人を交えて、メールやオンライン、電話での話し合いを行い解決する。また、非常事態発生時の体制としては、留学前指導にて、外務省たびレジの登録を初めとした基本情報の把握、学生自身が身を守ることの必要性、緊急時の本学への連絡ルートの確認を行った上で、実習先担当者との電話、メール等その時に可能な方法により、学生本人、学生の家族への連絡を密に行うことで安全で実りある留学をまっとうすることを目標としている。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

本科目は必修科目（4単位）である。事前の1年次後期に毎週行われる本学学内の授業「海外語学実習Ⅰ」（15回）での学修、留学先での学修、留学修了後の各種課題の提出という三種を総合して成績評価を行う。事前の学内授業では、現地情報の把握、プレゼンテーション等の学修活動の評価、留学先の評価は修了証、成績表が本学担当者に送付される。帰国後の提出物は、現地における日誌と、レポート等課題提出を総合して、成績評価を行う。

(4) その他特記事項

学生の留学先の選定については、担当教員と十分な打ち合わせをし、相談の上で決定するようにしている。留学の準備段階の語学力の充実を図るために、英語、韓国語、中国語の言語運用科目を1年次前期より設置している。さらに、これらの科目は各言語のネイティブ教員による授業とし、「海外語学実習Ⅰ」の学修に対応できるだけの実践的な運用力の涵養を図る。帰国後には、実習の成果をあげるために、各言語運用力の発展的な科目が配置されている。

学生の引率として本学教員が帯同する際、プログラムの点検やカリキュラム内容に関する打合せを協定校担当者で行っている。

< 「海外語学実習 II」(英語圏・韓国語・中国語圏) >

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 9】

イ 実習受入承諾書【資料 9】

(2) 実習先との連携体制

学部に留学委員会を置き、各語学留学担当の責任者を決めている。各担当者は、留学先教育機関の担当者とともに、準備段階においては、メールやオンラインでの打ち合わせを実施している。留学中の学修状況や健康状態については、学生本人からの **Monthly Report** (月報) による毎月月末の報告を義務付けている。留学先教育機関の教務及びホームステイや大学寮・コーディネーターとの連携により、受講状況や滞在先での状況を把握する。こうした状況は、各留学担当教員を通じて、留学委員会に随時メールにて伝えられ、緊急時には電話連絡等を用いる。

留学先での課題について、原則としては、本人の申し出に基づき、現地でホームステイ先や寮、授業担当者、コーディネーターと本人との話し合いにより解決する。必要な場合には、学部の留学委員会メンバーや学生の家族・保証人を交えて、メールやオンライン、電話での話し合いを行い解決する。また、非常事態発生時の体制としては、留学前指導にて、外務省たびレジの登録を初めとした基本情報の把握、学生自身が身を守ることの必要性、緊急時の本学への連絡ルートの確認を行った上で、実習先担当者との電話、メール等その時に可能な方法により、学生本人、学生の家族への連絡を密に行うことで安全で実りある留学をまっとうすることを目標としている。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

本学内での授業「海外語学実習 II」、留学先での受講、修了後の口頭発表等課題の三種から構成される。準備授業の受講において、各種留学準備や安全対策の指導を行う。留学先教育機関により、成績評価が本学担当者に送付され、修了証が発行される。留学先の成績評価証明書に基づき、本学相当の科目単位の認定を行う他、準備授業での活動状況、帰国後の口頭発表、レポート等課題提出を総合して「海外語学実習 II」の成績評価をする。

< 「海外研修 A」「海外研修 B」 >

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 9】

イ 実習受入承諾書【資料 9】

(2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との連携体制は、事前に交わした協定に基づき、授業担当者と受入れ機関担当者との連携を通して実現されている。また実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。なお、学生が独自で開拓した企業や団体などで実習を行う場合は、大学の基準に沿った機関であるかを授業担当者及び学部の留学委員会の審査を経て認定している。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

2 週間 (60 時間の語学研修を含む) (「海外研修 A」) または 4 週間 (120 時間の語学研修を含む) (「海外研修 B」) の現地研修と事後研修 (研修レポートの作成及び体験発表) を必須項目とし 2 単位 (「海外研修 A」) 4 単位 (「海外研修 B」) を付与する。

< 「海外英語資格実習」 >

- (1) 実習先の確保の状況
 - ア 実習先一覧【資料 9】
 - イ 実習受入承諾書【資料 9】

- (2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との全体的な連携体制は、授業担当者と受入れ機関担当者との連携を通して実現されている。また実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。

- (3) 成績評価体制及び単位認定方法

事前事後の指導等のための授業や現地における演習・実習の時間数などが単位修得のための条件を満たし、かつ帰国後に義務付けられる報告をもって本授業への単位申請が可能になる。なお、学生が独自で開拓した企業や団体などで実習を行う場合は、大学の基準に沿った機関であるかを授業担当者及び学部の留学委員会の審査を経て認定している。

2 「インターンシップ（国内）A」「インターンシップ（国内）B」

国内インターンシップの実習先としては、桜花学園大学としてこれまで多くの実績がある。尾西信用金庫、近畿日本ツーリスト、ザ・ロイヤルパークキャンパス名古屋（ホテル）、Sky Garden Pre-School（プリスクール）、愛知県観光協会、豊明市国際交流協会等の自治体外郭団体及び地元である有松の伝統産業の有松絞り工房等約 20 社との契約、実績がある。それらの多くが本学部の各専攻での学修内容と関連する分野であり、各専攻で学ぶ学生は実践的な学外実習を体験することが可能である。新規受入れ機関を開拓することも検討している。

- (1) 実習先の確保の状況

- ア 実習先一覧【資料 9】

- (2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との全体的な連携体制は、桜花学園大学インターンシップ委員会を通して実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については桜花学園大学インターンシップ委員会の担当者より各機関に連絡して共有するようにしている。

- (3) 成績評価体制及び単位認定方法

1 週間（30 時間）（「インターンシップ（国内）A」）または 2 週間（60 時間）（「インターンシップ（国内）B」）以上の現地研修と、事前研修（マナー研修及び業界学修等）、事後研修（研修レポートの作成及び体験発表）が必須項目で、本人が作成する実習日誌と各受入れ機関の評価表を基に 1 単位（「インターンシップ（国内）A」）又は 2 単位（「インターンシップ（国内）B」）を付与する。

3 「地域フィールドワーク」

本学の近隣には歴史・文化的にも貴重な名古屋市緑区有松（重要伝統的建造物群保存地区及び日本遺産認定地区）や国史跡の桶狭間古戦場伝説地（豊明市）等が点在する。これまでも該当地域の有松まちづくりの会、桶狭間古戦場保存会と緊密な連携活動を継続しており、学生の地域学修活動においては非常に友好的な関係にある。また、本学の附置機関である観光総合研究所は愛知県刈谷市、岐阜県美濃市・土岐市と観光協定を締結しており、各地域の観光推進計画及び観光振興に深くかかわっている。それぞれの行政機関等とは相互に協力体制をとり、学生の地域学修においても大きく関与している。また本学は所

在する豊明市と包括連携協定を締結しており全面的な協力体制を敷いている。本学部においては、この関係性を更に強固なものとし、学生の地域学修を通して実践的で主体的な思考力を育成することを目指していく。学部全体で日本の歴史、伝統、文化を学修するには非常に有効的な手法であると考え。特に観光専攻においては地域づくり分野として「地域フィールドワーク」「観光まちづくり論」「祭りと文化」等の科目設定もあり、講義で学ぶと共に現地に直接出向いて地域の人との関りを持ちながら生の感覚で文化を学ぶことにしている。また、観光総合研究所は愛知県観光協会、名古屋観光コンベンションビューローの賛助会員となっており、両機関とはインターンシップ研修を受け入れていただくと共に、各自自治体及び関連団体の様々な情報を優先的に提供いただき、学生の地域活動において有効的に活用している。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 9】

(2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との全体的な連携体制は、本学と各種地域団体及び自治体等との協定に基づき、授業担当者と受入れ機関担当者との緊密な連携を通して実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

フィールドワークでの活動内容や発表方法などが評価項目に明記されており、6回の講義を通してフィールドワーク対象地域の現状を把握し、課題を見つけた上で、6回の現地調査を経て、3回の総まとめと発表を行うことにしている。担当教員がこれらの活動内容を総合的に評価する。

4 「観光インターンシップ」

「観光インターンシップ」は、主に観光専攻の学生を対象に観光系団体や企業におけるインターンシップ実習を経験させる内容としている。当科目は、本学部が独自で設置するものとして旅行、宿泊、交通、観光振興団体等での就業経験を通して、観光に求められる知識と技術を体験的に獲得すると同時にホスピタリティスキルの深化を目指している。担当教員は観光系企業の実務家出身の専任教員で、インターンシップ実習先を開拓し、学生を派遣している。基本的には、夏季・春季休暇期間中にホテル、旅行会社、空港、観光振興団体などでの体験学習を行っている。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料 9】

(2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との全体的な連携体制は、授業担当者と受入れ企業及び各種団体担当者との緊密な連携を通して実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

2週間(60時間)以上の現地研修と事前研修(マナー研修及び業界学修等)、事後研修(研修レポートの作成及び体験発表)が必須項目で、本人が作成する実習日誌と各受入れ機関の評価表を基に2単位を付与する。評価においては、各研修先の評価表を基に事前研修、事後研修を含めて担当者が総合的に評価を行う。

5 「韓国インターンシップ」

「韓国インターンシップ」は、韓国で仕事を体験することで視野を広げたい、キャリアアップにつなげたい、高度な韓国語力を身に付けたい人のための授業科目である。原則として夏季・春季休暇期間を利用し、韓国の一般企業、行政機関、教育機関、各種団体等の職場体験を通して韓国の企業の仕組みや仕事の流れ、情報システムの活用や職場における人間関係などの理解を深め、将来の職業選択やキャリアプランに役立てることが目的である。研修期間は2週間以上または60時間以上とする。インターンシップ日誌の作成と終了後の発表会が義務付けられる。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料9】

(2) 実習先との連携体制

本学と実習機関との全体的な連携体制は、実習に係る双方の協議の下で交わした覚書に基づき、授業担当者と受入れ企業及び各種団体担当者との緊密に連携を図りながら実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。なお、学生が独自で開拓した企業や団体などで実習を行う場合は、大学の基準に沿った機関であるかを授業担当者及び本学インターンシップ委員会の審査を経て認定している。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

2週間(60時間)以上の現地研修と事前研修(マナー研修及び業界学修等)、事後研修(研修レポートの作成及び体験発表)が必須項目で、本人が作成する実習日誌と各受入れ機関の評価表を基に2単位を付与する。評価においては、各研修先の評価表を基に事前研修、事後研修を含めて担当者が総合的に評価を行う。

6 「ボランティア(国内)」「ボランティア(海外)」

本学部は、学生の主体的行動力、社会人基礎力、地域社会とのコミュニケーション能力の養成の観点から、ボランティア活動の実施を推奨する。現状においても、「ボランティア(国内)」はNPO/NGO、政府機関、私立機関などの約20件の受入れ先があり、年間で延べ約200名程度の学生が活発な活動を実施している。本学と観光連携関係にある地域には独自の伝統的なまつりやイベントが数多く開催され、その都度多くの学生がボランティア活動を実施している。また中部ウォーカーソン(国際チャリティフェスティバル)は平成23(2011)年の開始時から連続して参加しており、本学部においても継続していく。「ボランティア(海外)」は、国際的なNGO・企業・国際機関等でボランティア活動に参加することにより、学生自らが成長し、コミュニティ精神を養うことを目的とする。子ども・障がい者・貧しい人、病める人等の環境・コミュニティでボランティア活動を通して実習を行う。本学はかつてよりタイやスリランカ等の孤児院、小児病院といったコミュニティにおいてボランティア活動を実施した実績があり、今後も継続的に行っていく。

(1) 実習先の確保の状況

ア 実習先一覧【資料9】

(2) 実習先との連携体制

実習先とは、原則的に受入機関と覚書や協定書を交わし、安定的かつ継続的に連携体制が維持できるようにしているため、授業担当者と受入れ団体担当者との緊密な連携を通して実現されている。また、実習における指導の方針や課題等については授業担当者より各機関に連絡して、共有するようにしている。なお、学生が独自で開拓した企業や団体などで実習を行う場合は、大学の基準に沿った機関であるかを授業担当者及び観光総合研究所や国際交流支援センターとの協議の下で許可している。

(3) 成績評価体制及び単位認定方法

「ボランティア（国内）」は、24 カ月以内に 40 時間以上の現地研修を達成し、本人が作成する実習日誌とレポート、取り組み姿勢を含めて担当者が総合的に評価を行う。「ボランティア（海外）」は、24 カ月以内 80 時間以上の現地研修を達成し、本人が作成する実習日誌とレポート、取り組み姿勢を含めて担当者が総合的に評価を行う。

⑩ 取得可能な資格

1 中学校教諭 1 種免許状 外国語（英語）及び高等学校教諭 1 種免許状 外国語（英語） （国家資格）

本学部では中学校教諭 1 種免許状外国語（英語）および高等学校教諭 1 種免許状外国語（英語）を取得できるように、必要な科目を共通教育科目・専門教育科目・自由科目として配置している。

授業配置計画は次のとおりである。教育職員免許法施行規則の定めにより、「免許法施行規則に定める科目」としては「日本国憲法」「スポーツ健康論」「スポーツ (I・II)」「English Presentation (I・II)」「コンピュータ (I・II)」を配置している。単位数では、選択科目を含め 10 単位分を配置している。「教科及び教科の指導法に関する科目」は専門教育科目として設定しており、英語学分野では「English Phonetics (I・II)」「Theory of English structure」「応用言語学」を配置している。単位数について、この分野では選択科目を含み、8 単位分を配置している。英語文学分野では「イギリス文学入門」「アメリカ文学入門」「British Literature」「American Literature」を配置している。単位数について、この分野では選択科目を含み 8 単位分を設定している。英語コミュニケーション分野では「Speaking (I・II)」「Communicative English (I・II・III・IV)」を配置している。単位数について、この分野は全て必修科目で、6 単位分を設定している。異文化理解分野については、「多文化社会論」「British Studies」「American Studies」を配置している。単位数については選択科目を含み、6 単位分を配置している。各教科の指導法については「英語科教育法 (I・II・III・IV)」を配置している。全て教職課程の場合は必修科目で、単位数としては 8 単位分を配置している。大学が独自に設定する科目としては「学校教育インターンシップ」「学校文化と英語学習」を配置している。単位数は合計で 4 単位分設定しているが、この分野に関しては全て選択科目扱いとしている。教育の基礎的理解に関する科目等については、全て自由科目扱いである。この分野では「教育原理」「教職入門」「教育行政・制度論」「学習心理学」「特別支援基礎論」「教育課程論」「道徳教育の指導法」「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」「教育方法・技術論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「教育実習指導」「教育実習 I・II」「教職実践演習 I・II (中・高)」の各授業を配置している。単位数については選択科目を含み 30 単位分を設定している。なお、教育実習 I と II のみ選択科目であるが、残りの科目は全て教職課程においては必修科目である。

2 日本語教師資格（民間資格）

日本語教師資格についての授業配置は次のとおりである。日本語教育は学部で設定する専攻の 1 つとなっており、日本語教師資格取得に必要な多くの科目が専門教育科目として配置されている。「多文化社会論」「日本語概論」「日本語教育概論 (I・II)」「日英語比較 (I・II)」「社会と言語」「日本語教育法 (I・II)」「言語学」「応用言語学」「日本語教育演習 (I・II)」「学校教育インターンシップ」「国内日本語教育インターンシップ」「海外

日本語教育インターンシップ（A・B）「日本語教育ボランティア（A・B）」が全て専門教育科目扱いで、単位数としては42単位をこの枠で設定している。また、前記専門教育科目以外に、桜花学園大学共通教育科目として「異文化理解」「日本の文化」の4単位が設定されている。日本語教師資格に関する授業のうち、インターンシップとボランティアを選択必修とし、教育現場における実践に備えて必要な科目を必修科目として配置している。

⑪ 入学者選抜の概要

入学者の対象としては、高等学校等を修了した段階の一般受験者を想定している。その中心は日本人学生であるが、本学部の教育方針に関心を持ち、幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びコミュニケーション能力の獲得・向上を目指す者であるならば、その国籍は問わない。また、高等学校段階までに、海外の教育を一定期間以上受けた者も入学を認める。ただし、これらの場合でも、一定水準の日本語力を有していることが、入学者選抜の基準にある。

入学者選抜の方法としては、既存の保育学部の入試制度と同様な選抜方法を採用するのに加えて「グローバル入試」及び「外国人生徒特別選抜」を新たに導入する。したがって、総合型選抜入試として「さくら選抜」「グローバル」「基礎学力評価型」、学校推薦型選抜として「指定校推薦」「桜花学園高等学校推薦」、一般選抜として「一般」、「大学入学共通テスト利用」、特別選抜として「同窓」、「社会人」、「帰国生徒」、「3年時編入学試験」、「留学生入試」、「外国人生徒特別選抜」を設ける。このことにより、多様な学修体験と異文化体験を持つ学生、母語を異にし、異なった文化的背景等を有する学生も受け入れていくものとする。

総合型選抜入試さくら選抜では、安易な入学者選抜をしないために、出願資格として志望調査書と調査書による書類審査を行う。また、グローバル入試では外部の検定試験を出願資格の一つとし、面接の言語を日本語・英語・韓国語・中国語から1言語を選択できることとする。

入学基準の評価軸として、志願者の潜在的な資質、学力、適性、動機、学修意欲、進路志望等を検討・判定する。「さくら選抜」「グローバル」「基礎学力評価型」及び学校推薦型選抜においては入学志願時点までの学業成績を評価し、入学後の将来性についても考慮する。志願者の資質ならびに学力としては、高等学校等の教育機関において達成した学業成績及び課外活動や多様な実践活動等の実績を評価する。特に、本学部においてはコミュニケーション教育という目的から、国語力及び基礎的英語力を評価するのはもちろんのこと、海外留学体験等の外国語学修や、各外国語学修に対する取り組み、ボランティア活動等の体験学修の実績を重視する。語学学修、国際化教育、国際コミュニケーション活動等において相対的に高い資質が示されている場合には、そうした実績を一つの拠り所として、志願者の適性の高さや志望動機の確かさを判断する。また、論理的・創造的な思考力及びコミュニケーション能力に係わる教育・学修に対する興味のある方や将来の進路志望の明確さ等を、入学後の学修努力への取り組みと将来の目標に対する積極的な学修姿勢として評価する。

1 アドミッション・ポリシー

本学部学科のアドミッション・ポリシーは、次のとおりである。

本学部は幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材を育成する。そのために以下の能力や資質を具えている者の選抜を行う。

【求める学生像】

本学部は、次のような学生を国や地域を問わず求める。

- ・異なる世界の人々をお互いの文化理解によって結びつけたいと思っている学生
- ・グローバルな課題に対して主体的に取り組みたいと思っている学生
- ・社会のニーズに対応できる教養・情報力及びコミュニケーション能力を身につけたいと思っている学生
- ・他者と協働しながら地域及び国際社会の発展に貢献したいと思っている学生

2 選抜方法

上記に示したアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下の入学試験を実施する。なお、一般入試と推薦入試の募集定員の割合は、一般選抜 54%、総合型・推薦型選抜 46%となっている。

(1) 一般選抜（一般入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期）

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材を育成するため、国語と英語の科目を課す。募集人員は、Ⅰ期 7名、Ⅱ期 6名、Ⅲ期 4名、Ⅳ期 3名である。

(2) 大学入学共通テスト利用入試

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材を育成するため、国語と英語を必須とし、加えて4教科の中から1教科・1科目を課す。募集人員は3名である。

(3) 総合型選抜

ア さくら選抜

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての適性・目的意識・基礎学力を測るため、小論文試験を課し、調査書と志望調査書による審査を行い、面接試験を課す。募集人員は10名である。

イ グローバル入試

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性及び高校時の学修成果を測るため、調査と志望調査書及び外部の検定試験、もしくは志望理由について述べたエッセイに基づく選考をし、面接試験を課す。外部試験は英語・韓国語・中国語から選択できることとし、英語検定試験は英検準2級、TOEIC420点、IELTS 3.5以上、韓国語検定試験はTOPIK2級またはハングル検定4級以上、中国語検定試験はHSK2級または中国語検定の準4級以上を基準とする。エッセイは英文の場合は250～300ワード、韓国語・中国語の場合は625～750字とする。面接の言語は日本語・英語・韓国語・中国語から1言語を選択する。募集人員は3名である。

ウ 基礎学力評価型

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性と高校生活での学修到達度を測るために、本学の学力試験（国語及び英語）と書類審査を課す。募集人員は6名である。

(4) 推薦型選抜

ア 指定校推薦

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主

体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性と高校生活での学修到達度を含めた全体の評価のため、高等学校と桜花学園大学本学部が連携を取りながら調整を行い、高等学校長による推薦書を含む書類審査と面接試験を課す。募集人員は6名である。

イ 桜花学園高校推薦入試

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性と高校生活での学修到達度を含めた全体の評価のため、桜花学園高校と桜花学園大学本学部が連携を取りながら調整を行い、高等学校長による推薦書を含む書類審査と面接試験を課す。募集人員は2名である。

(5) 特別選抜

ア 同窓入試

桜花学園大学・名古屋短期大学・豊田短期大学の卒業生の兄弟姉妹、子ども、孫及び在学生の兄弟姉妹を対象として、幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材として必要な基礎学力を測るため、国語及び英語の科目を課す。募集人員は若干名である。

イ 社会人入試

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・適性及び社会経験に基づいた修学意欲等を測るため、書類審査、英語試験（和訳・英訳）と面接試験を課す。社会人入試の出願資格を次のように規定する。①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者もしくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者またはこれと同等以上の学力があると認められる者。②4年以上の社会人の経験を有する者で、入学予定年度4月1日現在で満22歳以上であること。ただし、定時制及び通信制以外の学校の在学期間は社会人の経験に含めない。なお、本入試における「社会人」の定義は、4年以上の社会人経験を有する者で、入学予定年度4月1日現在で満22歳以上であることと定めている。入学時のオリエンテーションガイダンスや各学期の開始前に行われる履修ガイダンスに加えて、学科の専任教員アカデミック・アドバイザーとなり、オフィスアワーを設け、学修方法、科目履修、学生生活、進路に関する指導を行う。募集人員は若干名である

ウ 帰国生徒入試

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性を測るため、書類審査、小論文（英語及び日本語）と面接試験（英語及び日本語）を課す。帰国生徒入試の出願資格を次のように規定する。日本国籍を有する者または日本に永住する外国人（在留資格が「出入国管理及び難民認定法」に定めるところの「永住者」及びこれに準ずると本学が認めた者）で、保護者の海外在留または出願者の留学により外国に居住し、大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する者で、次のいずれかの条件を満たしている者。①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び入学時まで修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で18歳に達した者。③外国において、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校の第2学年または第3学年に編入学を認められた者で、本学入学時まで卒業見込みの

者。④外国の高等学校に卒業年次を含む3か年のうち2年以上継続して在籍した者で、帰国後2年未満の者。入学時のオリエンテーションガイダンスや各学期の開始前に行われる履修ガイダンスに加えて、学科の専任教員がアカデミック・アドバイザーとなり、オフィスアワーを設け、学修方法、科目履修、学生生活、進路に関する指導を行う。募集人員は若干名である。

エ 編入学試験

・本学部 3年次編入学試験

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性とそれまでの学修成果・編入後の目的意識を測るため、書類審査、小論文試験（日本語）と面接試験（日本語）を課す。募集人員はⅠ期3名、Ⅱ期2名である。

・本学部 3年次編入学試験（海外協定大学推薦選抜）

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性とそれまでの学修成果・編入後の目的意識を測るため、海外協定大学とのダブル・ディグリー協定に基づき、海外協定大学所属長の推薦書を含む書類審査と面接試験（日本語）を課す。募集人員は8名である。

オ 留学生入試

学則に従い、本学ではこれまで学芸学部英語学科で留学生を受け入れてきた。国際学部では、幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性を測るため、書類審査、小論文（英語及び日本語）と面接試験（英語及び日本語）、日本語能力試験（N2合格証明がある場合は免除）を課す。留学生入試の出願資格を、日本国以外の国籍を有しているもので以下の条件を満たすものと規定する。①日本国外において、学校教育における12年に相当する課程を修了し、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（入学時までに修了見込みの者を含む）。②入学時に18歳以上の者。③「出入国管理及び難民規定法」による在留資格「留学」を有する者もしくは修得できる者。④入学手続きの際に経費支弁書類を提出できる者。入学時のオリエンテーションガイダンスや各学期の開始前に行われる履修ガイダンスに加えて、学科の専任教員アカデミック・アドバイザーとなり、オフィスアワーを設け、学修方法、科目履修、学生生活、進路に関する指導を行う。また、留学生対象の日本語の授業を開講し、留学生の日本語学修を支援する。国際交流支援センターでは、留学生の保証人や在籍に係る管理に加え、学生生活全般に関する支援を行う。募集人員は若干名である。

カ 外国人学生特別選抜

幅広い知識と論理的・創造的な思考力及びグローバル化した社会における主体性かつ協調性を持った人材としての能力・意欲・適性を測るため、書類審査、小論文（日本語）と面接試験（英語または日本語）を課す。外国人学生特別選抜の出願資格を、日本に在留している外国籍の者であって、以下のいずれかに該当する者または入学時までに該当する見込みの者と規定する。①高等学校または中等教育学校を卒業した者。②通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）。③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（日本に在留している外国籍の者とは、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者等を指す）。入学時のオリエンテーションガイダンスや各学期の開始前に行わ

れる履修ガイダンスに加えて、学科の専任教員がアカデミック・アドバイザーとなり、オフィスアワーを設け、学修方法、科目履修、学生生活、進路に関する指導を行う。また、必要な場合は留学生対象の日本語の授業の履修を勧め、日本語学修を支援する。募集人員は若干名である。

(6) 科目等履修生・研究生

科目等履修生及び研究生は桜花学園大学学則の規定及び「桜花学園大学科目等履修生規程」、「桜花学園大学研究生規程」【資料 10】に従って、本学部教育に支障のない限り受け入れる。聴講生については特に規程を設けていないが、科目等履修生規程に準じて聴講を認めることを検討する。

⑫ 教員組織の編成の考え方及び特色

本学部の教育に対応するために、専任教員を日本人 6 名、英語母語話者 2 名、韓国語母語話者 1 名、中国語母話者 1 名の合計 10 名配置している。これら専任教員の研究分野は、日本語教育・日韓言語学 1 名、英語教育学 1 名、観光学 2 名、歴史学 1 名、アメリカ文学 1 名、イギリス文学 1 名、英語教育 2 名、国際関係学 1 名となる。学位構成としては、博士学位 2 名、博士課程満期退学 1 名、修士学位 5 名、学士学位（実務家教員）2 名である。職位構成としては、教授 8 名、准教授 2 名であり、設置基準を満たしていると同時に、本学部が「学士（国際学）」学位を授与するに適切な教員配置となっている。

なお、開設時の年齢構成は 60 代 4 名、50 代 4 名、40 代 2 名となっている。完成年度において、本学の「学校法人桜花学園定年規程」及び「桜花学園大学特別契約教員に関する規則」【資料 11】に基づき、教員組織の継続性、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がないように計画している。

1 教育上主要と認める授業科目への教員配置

(1) 共通教育科目における教員配置

本学の「共通教育科目」は、「教養科目（桜花学）」と「基礎科目」、「エクステンション科目」で成り立っている。「共通教育科目」は大学全体で運営する科目として位置付けられており、その分野も多方面に及んでいることから、建学の精神に基づいた幅広い専門分野の教員を配置している。特に、「教養科目（桜花学）」は、本学部の専任教員が「世界を知る」領域において「日本の文化」や「世界の宗教」等を中心的に担当している。また、「基礎科目」では社会貢献・地域体験関係領域のほとんどを本学部の教員が担当している。

(2) 専門教育科目における教員配置

本学部の教育課程は、大きく分けて「国際学基礎科目」、国際学専門教育科目に分かれている。さらに、国際学専門教育科目は、「国際・情報専攻」、「日本語教育専攻」、「韓国専攻」、「観光専攻」により構成される。

「国際学基礎科目」は、本学部の専任教員全員が担当することになっている。そのため、英語、社会人教養、留学を専門とする経験豊かな教員がそれぞれ配置される。基礎科目群の英語科目については、レベル別少人数制を導入しており、科目ごとに 1 名以上の専任教員を配置し、兼任教員との間で担当科目内容や授業運営の調整をするコーディネーターの役割を担うことにしている。英語教育プログラム全体に関しては 1 名の専任教員がディレクターの役割を果たして全体の調整を行うプログラムにしている。これらは、国際学を学ぶ上で基礎となる英語力の導入教育として位置づ

け、学生の英語学修を授業内外でも支援・指導するためである。

国際学専門教育科目の「国際・情報専攻」「日本語教育専攻」、「韓国専攻」、「観光専攻」の中核的な科目には1名以上の、知識・経験豊富な専任教員を配置し、授業間の調整や授業改善に積極的な役割を果たすことになる。また、専任教員が配置されていない選択科目については、科目ごとに専任教員の担当者を決め、それぞれの教育目標が達成できるように担当教員間の連絡調整に当たることにしている。

本学部では、「基礎演習」をはじめ、「基礎ゼミナール」、「専門ゼミナール」といった総合的な学修・研究に加え、専門的な学びの深化を目的としたゼミ担当制を4年間通して導入している。これらの科目には、本学部所属の専任教員全員が担当することになっている。同時に、アカデミックアドバイザー制を設けて学生の履修指導や学修等をサポートすることになっている。アカデミックアドバイザーは、ゼミ担当教員ではない教員を配置することで、学生の体系的な学びを支援できる体制を整えている。

また、本学部の特色に多彩な留学プログラム、理論と実践のバランスの取れた学びが挙げられる。多彩な留学プログラムにおいては、丁寧な留学指導のために本学部独自の留学委員会を編成し、留学先現地出身の教員や外国経験の豊かな専任教員が配置される。理論と実践のバランスの取れた学びにおいては、実務経験等の豊かな教員を当該科目に配置している。

2 教員組織における中心的な研究分野及び研究体制

本学部にも所属する専任教員の中心的な研究分野は、「① 設置の趣旨及び必要性」において記述した通りであるが、これらの個々の研究分野を本学部の教育内容における教育課題に即して再構成して、教育と研究の両立を実現できるよう努めている。例えば、学部として共同研究を推奨し、学部内におけるFD活動の一環として研究会を実施する他、学部研究紀要を年に2回刊行する等、研究支援にも取り組んでいる。

専任教員の1週間あたりの持ちコマ数を最大6あるいは7として専任教員間の負担のバランスをとっている。また、オフィスアワー、チュータリング指導、卒業論文指導、実習・研修指導、進路指導等の学生指導、その他の学内業務、研究等に必要な時間を確保できるように配慮している。

⑬ 研究の実施についての考え方、体制、取組

本学において、教員の研究実施のために設けられている制度としては、週一日の研究日設定の他、教員の「国内研修制度」「国外研修制度」や「一般研究費制度」に加えて「特別研究費制度」がある。これらの制度は、本学部においても積極的に推奨している。本学部独自の取組として、研究力強化への貢献度が把握できるよう、毎年教員がポートフォリオを作成することで自己点検及び評価ができるようにしている。これは人事評価にも反映している。

研究実施に当たっては、研究の科学的妥当性や倫理的妥当性について、第三者的な立場から意見を述べることのできる倫理審査委員会を学内に設置しており、研究倫理に関する指針や研究活動上の不正行為の防止及び対応に関するガイドラインを定め、教育研究活動が、構成員の高い倫理意識のもと公正に行われるよう努めている。

⑭ 施設、設備等の整備計画

1 校地、運動場の整備計画

桜花学園大学と名古屋短期大学が設置されている名古屋キャンパスは、名古屋市郊外の同市緑区に隣接する豊明市西部に位置し、桶狭間古戦場跡等の名所旧跡がキャンパス周りに点在する緑に囲まれた閑静な住宅地内にある。校地は名古屋短期大学との共用であるが、75,713.09 m²を擁し、設置基準を上回る十分な校地を持ち、研究管理棟、講義棟、図書館、学生会館、セミナーハウス、体育館、クラブ室、駐輪場等を機能的に配置・整備している。運動場用地は約 16,000 m²あり、夜間照明付きグラウンド、テニスコート、ゴルフ練習場などを備え、体育関連授業及び学生サークル活動に十分に供する広さを持っている。また、キャンパス内の随所にベンチやテーブルを配置し、緑豊かな散策路を設け安らぎの場を供している。令和 5（2023）年 3 月には 8 号館を新たに建設し、講義室、演習室、ゼミ室、及びラーニングコモンズやトレーニングルームが増設され、キャンパス全体の施設バリアフリー化を視野に入れた更なる教育環境の充実を図っている。本学部設置後も、これら施設を引き続き一層充実させる計画である。

2 校舎等施設の整備計画

本キャンパスにおける校舎の面積は、22,869.91 m²であり、短期大学と共用しても設置基準の要件を充足している。本学部における施設としては、専任教員の研究室 10 室(平均 25 m²)及び共同研究室 1 室(51 m²)、を設けている。本キャンパスにおける教室等施設は、講義室(54 室)、演習室(73 室)、情報処理室(3 室)と実習室等を含め十分な教室と広さ及び設備を擁しており、桜花学園大学並びに名古屋短期大学における多様な授業運営に対応している。

本学科の時間割案【資料 12】、保育学部保育学科、保育学部国際教養こども学科【資料 13】及び名古屋短期大学各学科の時間割【資料 14】に基づいて作成した教室配当状況【資料 15】が示すように、支障なく授業を行うことができる。

3 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学では、名古屋短期大学と図書館を共用しているが蔵書数は令和 5 年 3 月現在 237,631 冊であり、そのうち本学科に関わる図書は 29,143 冊ある。その内訳は、国際・情報関係 18,303 冊、日本語教育関係 1,880 冊、韓国関係 569 冊、観光関係 1,074 冊、総合教養関係 7,317 冊である。

学術雑誌は現在和雑誌 236 種、洋雑誌 33 種を継続購入しており、そのうち本学科の教育・研究に関わる学術雑誌としては、和雑誌 43 種、洋雑誌 17 種を継続購読している【資料 16】。各分野に関わる和雑誌及び洋雑誌の種類は、すでにほぼ必要な種類の雑誌を継続購入している。本学部設置に伴い、他の分野より雑誌の種類が少なかった韓国分野には、和雑誌として「韓流ぴあ」、「Hana＝ハナ：韓国語学習ジャーナル」を加えた。これにより、教育研究に充分対応できるものと考えられる。利用者の利便性に資するため電子ジャーナルも引き続き整備し、今後本学科に関係する分野の図書、学術雑誌のさらなる充実を進める。

提供しているデータベースとしては、本学蔵書検索システム、朝日新聞記事検索、中日・東京新聞記事検索、官報情報検索、MAGAZINEPLUS、BOOKPLUS、CiNii（NII 学術情報ナビゲータ）等があり、これらは学内のパソコンから検索することができる。

図書の検索方法は、蔵書検索システムにより図書館内外から書名、キーワード、著者名等から所蔵、保管状態を知ることが可能である。

図書館は閲覧スペースを 1,267 m²、閲覧座席数を 320 席、内参考図書コーナー200 m²・20 席、視聴覚コーナー140 m²・27 席を備えている。現在の状況でも、本学科の教育研究の促進に十分であると考えられる。

他の大学図書館との協力体制として、東海地区大学図書館協議会、私立大学図書館協議会に加盟し、加盟館と相互協力体制ができている。また、国立情報学研究所の NACSIS ILL システムにより、コンピュータによる他大学図書館資料の相互利用が可能である。

⑮ 管理運営及び事務組織

管理運営にかかわる重要事項等を審議する組織として、本学部教授会を設置する。本学部教授会は、専任の教授、准教授、及び助教をもって構成し、原則として毎月 1 回開催する。

本学部教授会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前 2 号に定めるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が、教授会の意見を聴くことが必要と認めるもの

教授会は前項に定めるもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する次の事項を審議し、学長及び学部長の求めに応じ意見を述べることができる。

- (1) 教育課程及び授業に関する事項
- (2) 学生の成績評価に関する事項
- (3) 学生の退学、転学、留学、休学等に関する事項
- (4) 学生の賞罰に関する事項
- (5) 学生の学生生活に関する事項
- (6) 教員の選考及び資格審査に関する事項
- (7) 学部運営に関連する諸規程の制定及び改廃に関する事項
- (8) 自己点検・評価の方針に関する事項
- (9) その他学部の運営に関し、教授会が必要と認める事項

学部教授会以外に、大学の運営に関する重要事項を審議するため大学評議会が置かれ、学部運営の円滑を期するために本学部運営協議会が置かれている。

大学評議会は、学長、副学長、研究科長、学部長、学生部長、教務部長、図書館長、事務局局長、入試委員長、学科長、センター長、所長、FD 委員長、部署の課長以上の事務職員をもって構成し、原則として毎月 1 回開催する。大学評議会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学長が諮問する事項
- (2) 大学院研究科委員会及び大学教授会運営に関する事項
- (3) 教育課程の編成方針に関する事項
- (4) 学生の定員に関する事項
- (5) 学生の学生生活ならびに賞罰に関する事項
- (6) 教員の人事に関する事項
- (7) 教育研究に関する重要な事項
- (8) 学則及び重要な学内規程の制定改廃に関する事項

- (9) 予算概要の方針に関する事項
- (10) 自己点検・評価の方針に関する事項
- (11) 大学院・学部・学科及び学内諸機関の連絡調整に関する事項
- (12) 大学院・学部・学科の設置及び廃止に関する事項
- (13) その他、大学院及び大学の運営に関し学長が必要と認めた事項

本学部運営協議会は、学部長、学科長、教務委員長、学生委員長、その他学部長が必要と認めたものの各委員をもって構成し、原則として毎月1回開催する。本学部運営協議会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学部長が諮問すること
- (2) 教授会運営に関すること
- (3) 各学科の連絡調整に関すること
- (4) その他学部長が必要と認めたこと

本学部教授会には、委員会を置き、審議事項の一部又は全部を所轄の委員会に付議し、審議させることができると定められている。教務委員会、学生委員会、入試委員会、留学委員会等がそれにあたる組織として機能している。

学科の運営に関しては、学科固有の課題を検討し、構成員全体の認識の共有と必要な情報交換を行うための組織として、学科会議が置かれている。

事務組織体制は、「学校法人桜花学園事務組織及び事務分掌規程」【資料17】第3条で事務組織が規定され、第8条では各部署各課の事務分掌が詳細に規定されており、事務局長がこれを統括している。事務局は、総務部に庶務会計課、図書課、大学附置研究所、入試広報部に入試広報課、渉外課、学務部に教務課、学生課を置き、それぞれが部長、課長等以下の課員で構成されている。なお、事務局は、名古屋短期大学事務局も兼務し、相互に連携し運営されている。毎朝全職員が参加する業務連絡会を行い、月1回「部課長会議」を開催し、構成員全体の認識の共有と必要な情報交換、課題解決のための取り組みを行っている。事務職員は、所属部署の通常業務に加えて、教授会の求めに応じて陪席者として教授会に出席し、教授会のもとに置かれる各種委員会の構成員として大学の教育活動の一端を担っている。事務職員が参画している委員会組織には、「大学評議会」「評価委員会」「教務委員会」「学生委員会」「入試委員会」「ハラスメント防止・対策委員会」「FD委員会」「図書館運営委員会」等がある。

厚生補導の組織として、本学及び名古屋短期大学の各教授会のもとに学生委員会を設置している。学生委員会は、キャンパスの全学生生活支援による全体的な発展を目指し、基本的には大学短大連合の組織として運営されている。事務組織においては、学生課、保健室、学生相談室が心身面のサポートを含め学生生活を支援している。学生課及び保健室職員は毎月の定例連合学生委員会に出席している。学生相談室のカウンセラーは必要に応じて参加し、教職員協働による支援体制が整備されている。さらに、ゼミ担当教員は個別学生の厚生補導のシステム基盤として機能し、定期的な面談により個々の学生の大学生活全般を把握し支援している。また、学生はゼミ担当教員の他に、保健室職員との懇談あるいは相談を通し、必要に応じて学生相談室に足を運べるようなサポート体制を受けられ、その状況は毎月学生委員会で報告されている。

⑩ 自己点検・評価

自己点検・評価は学則に則り、大学として毎年実施して、報告書をまとめ、印刷物とホームページ上で公表しており、これを継続することになっている。大学として、外部の有識者による外部評価も定期的にも実施し、その内容を社会に公表している。

本学部も、このような大学としての自己点検・評価の活動に積極的に参画し、推進することとしている。

自己点検評価の実施にあたっては、学長を委員長とする評価委員会を組織し、その下に作業部会が置かれ、評価項目ごとに担当者の割り振りを行い、全学的な協力体制を実現している。自己点検・評価の結果及び改善策については、作業部会の検討を踏まえ、評価委員会で確認し、報告書にまとめ、公表するとともに、部門、部署ごとの研修会の際にもそれを活用し、着実に改善策の実施に向けた取り組みを進めている。

桜花学園大学は、平成 28 (2016) 年度に財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受け、同機構から全て評価項目において基準を満たしているとの認定証を受理した。

評価項目は、①桜花学園大学における「建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等」、②本学の「沿革と現況」、③使命・目的等（使命・目的及び教育目的の明確性、使命・目的及び教育目的の適切性、使命・目的及び教育目的の有効性）、④学修と教授（学生の受入れ、教育課程及び教授方法、学修及び授業の支援、単位認定、卒業・修了認定等、キャリアガイダンス、教育目的の達成状況の評価とフィードバック、学生サービス、教員の配置・職能開発等、教育環境の整備）、⑤経営・管理と財務（経営の規律と誠実性、理事会の機能、大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ、コミュニケーションとガバナンス、業務執行体制の機能性、財務基盤と収支、会計）、⑥自己点検・評価（自己点検・評価の適切性、自己点検・評価の誠実性、自己点検・評価の有効性）、⑦社会連携（大学が持っている物的・人的資源の社会への提供、地域社会との教育連携、他大学等との教育連携及び国際交流）、の全 7 項目である。

⑪ 情報の公表

本学の教育研究活動等の状況に関する情報の公表については、「桜花学園大学内部質保証方針」【資料 18】に規定している。具体的には、定期刊行物の発行、公開講座の実施、ホームページによる情報提供がある。

定期刊行物としては、本学は学部ごとに年 2 回の研究紀要を発行している。本学部研究紀要は令和 6 (2024) 年度より年間 2 回の発行を予定している。この紀要については、国立情報学研究所による電子化に対応させ、本学のホームページからも閲覧できるようにすることとなっている。

公開講座は、教育研究活動の情報提供の場として位置づけ、毎年度、1 回実施している。併せて、ホームページにおいて、教育研究活動のトピックスを随時公開するとともに、教育研究、社会貢献等の大学情報を年度ごとに更新し、公開している。

その他、学生部発行の学生部ニュース（学生生活に関する事柄、年 2 回発行）、図書館による図書館だより（年 1 回以上発行）、受験生向けに発行している大学案内及び入試ガイド等を定期的に刊行し情報の提供・公開を行っている。

本学部における教育関係の情報提供の主たるものは、本学部の特徴である「メジャー専攻（主専攻）・マイナー専攻（副専攻）」「各種留学プログラム」「ダブル・ディグリー留学プログラム」に関するもの、インターネット等による学生の学修活動に関するもの、修学環境に

関するもの、学生の学修成果に関するもの、等を想定している。また、研究関係では、言語学分野、外国語教育分野、地域研究分野、観光学分野、英語学分野等の教授法や教材開発、ICTの活用法、学修効果測定に関する共同研究によるもの、個別の教員の研究活動に関するもの等を想定している。

以下の項目については、掲載予定のホームページのアドレスを記載する。

ア 大学の教育研究上の目的及び3つのポリシーに関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>アドミッション・ポリシー

HP: ホーム>情報公開等>カリキュラム・ポリシー

HP: ホーム>情報公開等>ディプロマ・ポリシー

イ 教育研究上の基本組織に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>教員組織

ウ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>教職員と教員の学位・実績

エ 入学者に関する受入れ方針に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>アドミッション・ポリシー

入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>学校の内容と進学・就職状況

オ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>授業計画と履修の手引き (シラバス)

カ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>授業計画と履修の手引き (シラバス)

キ 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>校地・校舎と施設・設備

ク 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>学生生活と就職支援

ケ 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>学生生活と就職支援

コ その他(教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果)

[情報公開等 | 学校法人 桜花学園 桜花学園大学 \(ohkagakuen-u.ac.jp\)](http://www.ohkagakuen-u.ac.jp)

HP: ホーム>情報公開等>大学の概要

HP: ホーム>情報公開等>履行状況報告

HP: ホーム>情報公開等>内部質保証 自己点検・認証評価

サ 大学院学位論文に係る評価に当たっての基準に関すること
修士学位論文の審査基準 (ohkagakuen-u.ac.jp)
HP:ホーム>大学院・学部>大学院

⑩ 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

本学教員の資質の維持向上のため、授業運営能力向上のための学生による中期・期末授業アンケートの実施や FD 委員会活動、及び教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るための教職員研修 (SD) 活動がある。

FD 活動は、桜花学園大学 FD 委員会及び本学部 FD 委員会・保育学部 FD 委員会が組織的・互恵的に活動し、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を推進する。桜花学園大学 FD 委員会は教務部長、各学科より選出されたそれぞれ 1 名もしくは 2 名の委員及び教務課長によって構成され、次の事項を所掌する。

- (1) FD のための基本方針の策定に関する事項
- (2) FD のための研修会等の開催に関する事項
- (3) その他 FD に関する事項
- (4) (1) ~ (3) について自己点検・評価を行い、定期的に大学評価委員会へ報告する。

本学部 FD 委員会は、教授会により選出される各学科教員 1 名、事務局により選出される職員 1 名によって構成され、次の事項を所掌する。

- (1) 授業評価に関する事項
- (2) 授業の公開・交流に関する事項
- (3) 教職員の研修に関する事項
- (4) その他 FD 活動に関する事項

本学の全教職員を対象とする教職員研修 (SD) 活動は、事務局長が学長等と協議し、年間 1 回以上の研修に関する実施計画を作成・実施する。

令和 4 (2022) 年度は 7 月に「教学マネジメントをどう理解し、実践するか~学修成果の可視化を中心に~」(関西大学 教育推進部 山田剛史教授) というテーマで、学修者本位の教育の実現、教育の質保証について、本学が果たすべき役割と課題を認識・共有し、激動する社会に持続可能な大学運営をキャンパス全構成員が学ぶ機会を設定した。

これらの制度は本学部においても積極的に取り入れていくが、授業アンケートの方法や FD 委員会の活動方法については、本学部教員の資質の維持向上に役立つ内容にするために、学部内でもその内容やあり方を精査・検証し、必要に応じて独自のアンケートを実施する。また、授業改善の方策の検討にとどまらず、授業外での学生指導のあり方や、オフィスアワー内での指導方法の改善策も検討する。

また、教育研究組織の活動としては、ポータルサイトの授業管理システムを効果的に活用し、本学部独自の教授法を研究し、年に一度開催される学部内研修会や非常勤講師打ち合わせ会等で共有することで、専任教員のみならず兼任教員も含めた学科教育に携わる全ての教員の教育力の向上や新たな教授法の共有化を図る。

さらに、「科学研究費」等の外部研究組織への積極的な関与を支援するための体制整備も検討していく。

⑱ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

1 教育課程内の取組について

「基礎演習 I・II」、「基礎ゼミナール I・II」、「キャリアデザイン I・II」、「インターンシップ(国内)A・B」を設置することで、指導体制を充実化する。「基礎演習 I・II」では、経済産業省が設定した「社会人基礎力」項目に根拠を置く「社会人基礎力シート」を実施し、以降、卒業時まで各ゼミ内でも展開することで、各種能力を経年的かつ客観的に発展させる【資料 19】。また、エクセルの基本操作やメールマナー等、社会で要求される基礎知識を習得させる。「基礎ゼミナール III・IV」では、社会人マナーや集団面接練習などを実施する他に、外部講師を招くことで最新知識の伝達を充実化させる。「キャリアデザイン I・II」では業界・企業の収集方法や社会人マナー等を習得させる。「インターンシップ(国内)A・B」ではインターンシップに関する知識を包括的に網羅し、長期休暇中の実施される職場体験に備えさせる【資料 20】。また、教職に関しては、「教職入門」で学習指導・生徒指導・学級経営等の教員の職務と責任を、「教職実践演習 I・II (中・高)」では指導方法に関する必要な理論を習得させる。日本語教師を目指す学生については、「日本語教育ボランティア A・B」で日本語教師を目指す者として望ましい姿勢の持ち方等を習得させ、「日本語教育演習 I・II」で指導方法に関する必要な知識を習得させる。

2 教育課程外の取組について

教育課程外では事務局学務部学生課と共同し、企業の紹介や説明会の実施、内定率の即時の把握など、就職活動に関する各種情報の共有・提供に努める。また、各ゼミやオフィスパワー等を活用することで指導内容を充実させていく【資料 21】。

3 適切な体制の整備について

学生の進路に関する学内組織は、学生委員会がこれを所掌する。学生委員会に対応する事務は学生課が担い、学部の教員組織（ゼミ担当者等）は学生課と協力しながら個別指導や進路指導を計画的、日常的に行う体制を取っている。国際学部においてもこれらの基盤を積極的に活用していく。1 年次・2 年次はゼミ担当者が個々の学生の希望調査やキャリア形成のための指導・助言にあたり、3 年次以降は教育課程内においてキャリア支援に関する科目（「キャリアデザイン I・II」）を展開する一方、教育課程外では学生課が学内企業セミナーや筆記試験対策等を開催して具体的な就職対策とリアルタイムの情報提供を実施しつつ、継続的に学生からの個別相談に応じる。進路に関する学内組織と学部の教員組織は緊密に連携し、学生の社会的・職業的自立を促進する体制を整えている【資料 21】。

設置の趣旨等を記載した書類（別添資料）

資料目次

- 資料 1 国際学部国際学科カリキュラムマップ
- 資料 2 履修モデル
- 資料 3 桜花学園大学国際学部編入学既修得単位認定規程
- 資料 4 既修得単位の読替参照表
- 資料 5 編入学履修モデル
- 資料 6 教育実習受入先一覧及び実習受入承諾書
- 資料 7 桜花学園大学国際学部教職免許取得に関わる教育実習等の履修に関する規則
- 資料 8 日本語教育実習受入先一覧及び実習受入承諾書
- 資料 9 学外実習受入先一覧及び実習受入承諾書
- 資料 10 桜花学園大学科目等履修生規程
桜花学園大学研究生規程
- 資料 11 学校法人桜花学園定年規程
桜花学園大学特別契約教員に関する規則
- 資料 12 桜花学園大学国際学部国際学科時間割
- 資料 13 桜花学園大学保育学部保育学科時間割
桜花学園大学保育学部国際教養こども学科時間割
- 資料 14 名古屋短期大学保育科・英語コミュニケーション学科・現代教養学科
・専攻科保育専攻・専攻科英語専攻 時間割
- 資料 15 教室配当状況
- 資料 16 学術雑誌一覧
- 資料 17 学校法人桜花学園事務組織及び事務分掌規程
- 資料 18 桜花学園大学内部質保証方針
- 資料 19 社会人基礎カシートとは何か 開設と記入方法
- 資料 20 国内インターンシップ説明会資料
- 資料 21 桜花学園大学就職支援日程
桜花学園大学就職ガイダンス資料
桜花学園大学就職試験筆記対策講座

区分	授業科目名	科目ナンバー	DPに基づく学修指標			
			DP1. 高い教養に資する 知識・理解	DP2. 課題発見・分析・解決・ 発信等の汎用的技能	DP3. 価値観・態度・志向 性	DP4. 統合的な学習経験と 創造的思考力
教養科目	現代社会と女性	OK11L0001	◎		○	
	女性とジェンダー	OK11L0002	◎		○	
	女性と家庭教育	OK11L0003	◎		○	
	芸術の世界	OK11L0101	◎		○	
	文学の世界	OK11L0102	◎		○	
	心の探求	OK11L0103	◎		○	
	生き方の探求	OK11L0104	◎		○	
	生活と経済	OK12L0201	◎		○	
	地域社会	OK12L0202	◎		○	
	人間と歴史	OK12L0203	◎		○	
	異文化理解	OK12L0301	◎		○	
	日本の文化	OK12L0302	◎		○	
	国際関係論	OK12L0303	◎		○	
	グローバル社会と宗教	OK12L0304	◎		○	
	環境の科学	OK21L0401	◎		○	
	食と生命の科学	OK21L0402	◎		○	
	生き物の社会	OK21L0403	◎		○	
共通教育科目	スポーツ健康論	OK12K1001	◎		○	
	スポーツ I	OK22K1001	○		◎	
	スポーツ II	OK22K1002	○		◎	
	統計学	OK21K1101	○	◎		
	社会調査法	OK22K1101		◎	○	
	情報社会論	OK22K1102		◎	○	
	コンピュータ I	OK11K1101	◎	○		
	コンピュータ II	OK12K1101	○	◎		
	NGO・NPO論	OK31K1201	○	◎		
	現代社会と企業	OK31K1202	○		◎	
	地域協力演習	OK31K1203		◎	○	
	インターンシップ(国内) A	OK21K1201		○	◎	
	インターンシップ(国内) B	OK21K1202		○	◎	
	インターンシップ(海外) A	OK12K1201		○	◎	
	インターンシップ(海外) B	OK12K1202		○	◎	
	インターンシップ(海外) C	OK12K1203			◎	○
	インターンシップ(海外) D	OK12K1204			◎	○
	ボランティア(国内)	OK12K1205		○	◎	
	ボランティア(海外)	OK12K1206		○	◎	
	海外英語資格実習	OK21K1203		○	◎	
	ポルトガル語と文化 I	OK11K1302	○	◎		
	ポルトガル語と文化 II	OK12K1302	○	◎		
	スペイン語と文化 I	OK11K1303	○	◎		
	スペイン語と文化 II	OK12K1303	○	◎		
	フランス語と文化 I	OK11K1304	○	◎		
	フランス語と文化 II	OK12K1304	○	◎		
	中国語と文化 I	OK11K1305	○	◎		
	中国語と文化 II	OK12K1305	○	◎		
	中国語と文化 III	OK21K1302	○	◎		
	中国語と文化 IV	OK22K1302	○	◎		
	韓国語と文化 I	OK11K1306	○	◎		
	韓国語と文化 II	OK12K1306	○	◎		
	韓国語と文化 III	OK21K1303	○	◎		
	韓国語と文化 IV	OK22K1303	○	◎		
	日本国憲法	OK22K1401	◎	○		
	海外研修 A	OK21K1401		○	◎	
	海外研修 B	OK21K1402			◎	○
	基礎演習 I	OK11K1401		○		◎
	基礎演習 II	OK12K1401		○		◎
	エクステンション科目	OK00K2001				

国際学部 国際学科 共通教育カリキュラムマップ ◎=深い関連がある、○=関連がある

区分	授業科目名	科目ナンバー	DP1. グローバルな視点から地域・国際社会を理解する能力	DP2. グローバル社会における高度で実践的な言語コミュニケーション能力	DP3. 現代社会に必要なとされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力	DP4. 国際社会の多岐にわたる問題について批判的思考ができ、論理的で創造的な発信ができ、主体的に行動できる能力
専門教育科目	国際学基礎	Grammar for Communication I	○	◎		
		Grammar for Communication II	○	◎		
		Speaking I	○	◎		○
		Speaking II	○	◎		○
		Writing for Communication I	○	◎		○
		Writing for Communication II	○	◎		○
		Reading I	○	◎		○
		Reading II	○	◎		○
		English Phonetics I	○	◎		○
		English Phonetics II	○	◎		○
		English Presentation I	○	◎		○
		English Presentation II	○	◎		○
		Communicative English I	○	◎		○
		Communicative English II	○	◎		○
		英語資格講座 IA	○	◎		
		英語資格講座 IIA	○	◎		
		英語資格講座 IB	○	◎		
		英語資格講座 IIB	○	◎		
		英語資格講座 IC	○	◎		○
		英語資格講座 IIC	○	◎		○
		観光英語A	○	◎		◎
		観光英語B	○	◎		◎
		日本語表現 I	◎		○	
		日本語表現 II	◎		○	
		日本語表現 III	◎		○	
		日本語表現 IV	◎		○	
		基礎ゼミナール I	○	◎		○
		基礎ゼミナール II	○	◎		○
		サステナブルな社会	◎		○	○
		日本のポップカルチャー	◎		○	○
		アニメーション論	◎		○	
		時事ニュース (国内) I	○	◎		◎
		時事ニュース (外国) II	○	◎		◎
		アメリカ文学入門	◎			○
		イギリス文学入門	○			◎
		楽しい古典芸能	◎			○
		キャリアデザイン I	○		○	◎
		キャリアデザイン II	○		○	◎
		海外語学実習 I (英語圏)	○	◎		
		海外語学実習 I (韓国語)	○	◎		
		海外語学実習 I (中国語圏)	○	◎		
		海外語学実習 II (英語圏)	○	◎		○
		海外語学実習 II (韓国語)	○	◎		○
海外語学実習 II (中国語圏)	○	◎		○		
国際・情報専攻	国際・情報専攻	情報リテラシー I	○		◎	
		情報リテラシー II	○		◎	
		ITスキル応用 I	○		◎	
		ITスキル応用 II	○		◎	
		データサイエンス基礎	○		◎	○
		コンテンツ制作 (集中)	○		◎	◎
		中国語検定対策	○	◎		○
		中国語リスニング&スピーキング	○	◎		○
		中国語リーディング&ライティング	○	◎		○
		日中交流史	◎			○
		ビジネス環境とマーケティング	○		○	◎
		学校文化と英語学習	○		○	◎
		Advanced Writing I	○	◎		○
		Advanced Writing II	○	◎		○
		Business English	○	◎		○
		Communicative English III	○			◎
		Communicative English IV	○			◎

専門教育科目	英語翻訳・通訳	0G31S4018	○	◎			
	Speech & Presentation	0G32S4019		◎		○	
	British Studies	0G31S4020	○			◎	
	American Studies	0G31S4021	○			◎	
	Theory of English Structure	0G31S4022	◎			○	
	American Literature	0G32S4023	◎			○	
	British Literature	0G32S4024	◎			○	
	International Relations	0G32S4025	○	○		◎	
	Study Abroad Preparation A	0G21S4026		◎		○	
	Study Abroad Preparation B	0G21S4027		◎	○	○	
	日本語教育専攻	多文化社会論	0G11S5028	◎	○		
		日本語概論	0G12S5029	◎			○
		日本語教育概論Ⅰ	0G21S5030	◎			○
		日本語教育概論Ⅱ	0G22S5031	◎			○
		日英語比較Ⅰ	0G21S5032		○		◎
		日英語比較Ⅱ	0G22S5033	○	○		◎
		社会と言語	0G31S5034	◎			○
		日本語教育法Ⅰ	0G31S5035	◎			○
		日本語教育法Ⅱ	0G32S5036	◎			○
		言語学	0G31S5037	◎			○
		応用言語学	0G32S5038		○		◎
		日本語教育演習Ⅰ	0G41S5039	○			◎
		日本語教育演習Ⅱ	0G42S5040	○			◎
		学校教育インターンシップ	0G53S5041		○	○	◎
		国内日本語教育インターンシップ	0G43S5042			○	◎
		海外日本語教育インターンシップA	0G43S5043			○	◎
	海外日本語教育インターンシップB	0G43S5044			○	◎	
	日本語教育ボランティアA	0G53S5045	○		○	◎	
	日本語教育ボランティアB	0G53S5046	○		○	◎	
	韓国専攻	韓国語表現文法	0G12S6001	○	◎		
		韓国語リスニング&スピーキング	0G21S6002	○	◎		
		韓国語リーディング&ライティング	0G22S6003	○	◎		
		韓国語コミュニケーション	0G21S6004		◎	○	
		韓国語プレゼンテーション	0G22S6005		◎	○	
		韓国語映像翻訳	0G31S6006	○	◎		
		ビジネス韓国語	0G32S6007	○	◎	○	
韓国事情		0G12S6008	◎		○		
韓国サブカルチャー		0G21S6009	◎		○		
韓国現代文学(合同)		0G22S6010	◎			○	
日韓対照言語学		0G31S6011	◎	○		○	
韓国の歴史		0G32S6012	◎			○	
韓国伝統文化と思想		0G41S6013	◎			○	
日韓文化比較		0G21S6014	◎			○	
韓国自由研究		0G22S6015	◎			○	
韓国インターンシップ		0G53S6016	○		◎	○	
韓国留学準備講座A		0G21S6017		◎	○	○	
韓国留学準備講座B		0G22S6018		◎	○	○	
検定韓国語初級A		0G11S6019	◎			○	
検定韓国語中級A		0G11S6020	◎			○	
検定韓国語上級A	0G11S6021		◎	○	○		
検定韓国語初級B	0G12S6022	◎			○		
検定韓国語中級B	0G12S6023	◎			○		
検定韓国語上級B	0G12S6024		◎	○	○		
観光専攻	観光学概論	0G12S7001	○		◎	○	
	観光と文化	0G22S7002	◎			○	
	観光ホスピタリティ	0G21S7003	○		◎	○	
	観光政策論	0G32S7004			◎	○	
	観光インターンシップ	0G53S7005	○		◎	○	
	観光と地理	0G11S7006	○		◎	○	
	エアライン講座	0G21S7007			◎	○	
	旅行産業論	0G22S7008	◎			○	
	宿泊産業論	0G31S7009	◎			○	
	交通産業論	0G31S7010	◎			○	
	観光マーケティング	0G32S7011			◎	○	
	観光とソーシャルメディア	0G32S7012			◎	○	
	祭と文化	0G21S7013	◎			○	
	観光まちづくり論	0G31S7014	○		◎	○	
	地域ブランディング論	0G32S7015	○		◎	○	
	観光と社会	0G22S7016	◎			○	
	地域フィールドワーク	0G21S7017	○		◎	○	
ゼミ・卒業研	専門ゼミナールⅠ	0G31S7018	○			◎	
	専門ゼミナールⅡ	0G32S7019	○			◎	
	専門ゼミナールⅢ	0G41S7020	○			◎	
	専門ゼミナールⅣ	0G42S7021	○			◎	
	卒業研究	0G42S7022	○	○	○	◎	

自由科目	教職入門	0G12S8001	○			◎
	教育原理	0G12S8002	○			◎
	学習心理学	0G12S8003	○			◎
	道德教育の指導法	0G21S8004	○			◎
	生徒・進路指導論	0G22S8005	○			◎
	特別支援基礎論	0G31S8006	○			◎
	教育方法・技術論	0G31S8007	○			◎
	教育相談	0G31S8008	○			◎
	教育行政・制度論	0G32S8009	○			◎
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	0G32S8010			○	◎
	教育課程論	0G42S8011	○			◎
	英語科教育法Ⅰ	0G21S8012		○		◎
	英語科教育法Ⅱ	0G22S8013		○		◎
	英語科教育法Ⅲ	0G31S8014		○		◎
	英語科教育法Ⅳ	0G32S8015		○		◎
	教職実践演習Ⅰ	0G41S8016	○			◎
	教職実践演習Ⅱ	0G42S8017	○			◎
	教育実習指導	0G41S8018	○			◎
	教育実習Ⅰ	0G41S8019		○		◎
	教育実習Ⅱ	0G41S8020		○		◎

履修モデル1 国際理解・地域理解（メジャー専攻：観光専攻、マイナー専攻：国際・情報専攻）

資料2

修学分野と想定される進路

業種：国際的な活動を行う多国籍企業、貿易、製造、物流、公務員（国家・地方）

職種：営業、市場調査・開発、管理部門

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件		
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位				
共通教育科目	現代社会と女性	2	生活と経済	2	環境の科学	2	スポーツ I	1	NGO・NPO論	2			地域協力演習	2			25	26 単位		
	芸術の世界	2	異文化理解	2	韓国語と文化Ⅲ	1	情報社会論	2												
	韓国語と文化Ⅰ	1	韓国語と文化Ⅱ	1			韓国語と文化Ⅳ	1												
	コンピュータⅠ	1	コンピュータⅡ	1																
	基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1																
	選択										社会調査法	2							2	
国際学基礎	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1									16	16 単位		
	English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅡ	1												
	日本語表現Ⅰ	1	日本語表現Ⅱ	1																
			海外語学実習Ⅰ 〔英語圏〕	4																
	Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2					24		24 単位	
	観光英語A	1	観光英語B	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1												
Writing for Communication I	1	Writing for Communication II	1	時事ニュース（国内）Ⅰ	2	時事ニュース（外国）Ⅱ	2													
日本のポピュラーカルチャー	2					楽しい古典芸能	2													
サステイナブルな社会	2																			
選択								Advanced Writing I	2	Advanced Writing II	2	Communicative English III	1	Communicative English IV	1		20	メジャー専攻30単位・マイナー専攻20単位		
選択								Business English	2	ビジネス環境とマーケティング	2	情報リテラシーⅠ	2	情報リテラシーⅡ	2					
選択												British Studies	2							
選択												American Studies	2							
選択												データサイエンス基礎	2							
選択																				
観光専攻	観光と地理	2	観光学概論	2	祭と文化	2	観光と文化	2	交通産業論	2	観光政策論	2					30	30 単位		
	選択				観光ホスピタリティ	2	旅行産業論	2	観光まちづくり論	2	観光とソーシャルメディア	2								
	選択				地域フィールドワーク	2		宿泊産業論	2	観光マーケティング	2									
	選択				エアライン講座	2				観光ブランディング論	2									
	選択								専門ゼミナールⅠ	1	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1	8		8 単位	
	選択												卒業研究	4						
選択																				
選択																				
選択																				
選択																				
自由科目																	0	—		
合計		20		20		17		16		15		17		12		8	125			

履修モデル2 国際理解・地域理解（メジャー専攻：韓国専攻、マイナー専攻：韓国専攻、国際・情報専攻）

資料2

修学分野と想定される進路

業種：国際的な活動を行う多国籍企業、貿易、製造、物流、公務員（国家・地方）

職種：営業、市場調査・開発、管理部門

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位			
共通教育科目	必	女性とジェンダー	2	地域社会	2	食と生命の科学	2	スポーツ I	1	現代社会と企業	2		生き方の探求	2	日本の文化	2	25	26 単位	
	修	文学の世界	2			韓国語と文化Ⅲ	1	情報社会論	2										
		韓国語と文化 I	1	韓国語と文化 II	1			韓国語と文化Ⅳ	1										
		コンピュータ I	1	コンピュータ II	1														
		基礎演習 I	1	基礎演習 II	1														
	選														社会調査法	2	2		
	択																		
国際学基礎	必	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1								16	24 単位	
	修	English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナール I	1	基礎ゼミナール II	1										
		日本語表現 I	1	日本語表現 II	1														
				海外語学実習 I (韓国語)	4														
	選	Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	キャリアデザイン I	2	キャリアデザイン II	2		アニメーション論	2	24		
	択	サステイナブルな社会	2	Writing for Communication II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1	時事ニュース (国内) I	2	時事ニュース (外国) II	2						
		Writing for Communication I	1							英語資格講座 I A	1	英語資格講座 II A	1						
国際・情報専攻	選									Communicative English III	1	Communicative English IV	1	情報リテラシー I	2	情報リテラシー II	2	6	メジャー専攻30単位・マイナー専攻20単位
	択																		
	選																	0	
	択																		
	選	韓国事情	2	韓国語表現文法	2	韓国語リスニング&スピーキング	2	韓国語リーディング&ライティング	2	韓国留学準備講座A	2	海外語学実習 II (韓国語)	4	韓国語映像翻訳	2	韓国伝統文化と思想	2	44	
	択	検定韓国語初級A	1	検定韓国語初級B	1	韓国語コミュニケーション	2	韓国語プレゼンテーション	2	韓国インターンシップ	2	ビジネス韓国語	2	韓国の歴史	2				
				韓国ナポルチャー	2	韓国現代文学	2	日韓対照言語学	2	検定韓国語上級A	1	検定韓国語上級B	1						
選					日韓文化比較	2	韓国自由研究	2									0		
択					検定韓国語中級A	1	検定韓国語中級B	1											
観光専攻	選																		
	択																		
ゼミ・卒論	選									専門ゼミナール I	1	専門ゼミナール II	1	専門ゼミナール III	1	専門ゼミナール IV	1	8	
	択													卒業研究	4		4		
自由科目	選																	0	
	択																		
合計		18		20		16		17		14		16		9		15	125		

履修モデル3 ビジネスコミュニケーション（メジャー専攻：韓国専攻、マイナー専攻：観光専攻）

資料2

修学分野と想定される進路
 業種：観光産業、ホテル、旅行業、運輸、通信
 職種：営業、市場調査・開発、管理部門

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件		
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位				
共通教育科目	女性と家庭教育	2	人間と歴史	2	生き物の社会	2	スポーツⅡ	1	地域協力演習	2			現代社会と企業	2	日本の文化	2	25	26 単位		
	心の探求	2	韓国語と文化Ⅱ	1	スペイン語と文化Ⅰ	1	社会調査法	2												
	韓国語と文化Ⅰ	1	コンピュータⅡ	1			スペイン語と文化Ⅱ	1												
	コンピュータⅠ	1	基礎演習Ⅱ	1																
	基礎演習Ⅰ	1																		
	選択															情報社会論	2		2	
国際学基礎	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1									16	16 単位		
	English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅡ	1												
	日本語表現Ⅰ	1	日本語表現Ⅱ	1																
			海外語学実習Ⅰ（韓国語）	4																
	Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2			アニメーション論	2	24		24 単位	
	観光英語A	1	観光英語B	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1	時事ニュース（国内）Ⅰ	2	時事ニュース（外国）Ⅱ	2								
Reading I	1	Reading II	1					日本のポピュラーカルチャー	2											
サステイナブルな社会	2																			
選択																				
選択																				
韓国専攻	韓国事情	2	韓国語表現文法	2	韓国語リスニング&スピーキング	2	韓国語リーディング&ライティング	2	韓国の歴史	2	ビジネス韓国語	2	検定韓国語上級A	1	検定韓国語上級B	1	30	30 単位		
			韓国サブカルチャー	2	韓国語コミュニケーション	2	韓国語プレゼンテーション	2	検定韓国語中級A	1	韓国伝統文化と思想	2								
					日韓文化比較	2	検定韓国語初級B	1			検定韓国語中級B	1								
					検定韓国語初級A	1														
					韓国インターンシップ	2														
観光専攻	観光と地理	2			地域フィールドワーク	2	観光学概論	2	祭と文化	2			宿泊産業論	2	観光マーケティング	2	20	20 単位		
									観光ホスピタリティ	2	観光と文化	2			地域ブランディング論	2				
														観光とソーシャルメディア	2					
ゼミ・卒論	選択								専門ゼミナールⅠ	1	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1	8	8 単位		
	選択													卒業研究	4					
自由科目	選択																0	—		
合計		20		20		18		15		16		12		6		18	125			

履修モデル4 ビジネスコミュニケーション（メジャー専攻：国際・情報、マイナー専攻：韓国専攻）

資料2

修学分野と想定される進路
 業種：観光産業、ホテル、旅行業、運輸、通信
 職種：営業、市場調査・開発、管理部門

区分	1年		2年		3年		4年		単位計	要件								
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
共通教育科目	現代社会と女性	2	生活と経済	2	環境の科学	2	スポーツⅡ	1	グローバル社会と宗教	2	ポルトガル語と文化Ⅰ	1	ポルトガル語と文化Ⅱ	1	25 26 2 2	26 単位		
	生き方の探求	2	国際関係論	2			情報社会論	2			NPO・NGO論	2						
	韓国語と文化Ⅰ	1	韓国語と文化Ⅱ	1														
	コンピュータⅠ	1	コンピュータⅡ	1														
	基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1														
	選択													統計学			2	
国際学基礎	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1							16 24 2	16 単位		
	English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅡ	1										
	日本語表現Ⅰ	1	日本語表現Ⅱ	1														
			海外語学実習Ⅰ（韓国語）	4														
	Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2	時事ニュース（国内）Ⅰ	2			時事ニュース（外国）Ⅱ	2
	Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1					時事ニュース（国内）Ⅱ	2			時事ニュース（外国）Ⅰ	2
Writing for Communication I	1	Writing for Communication II	1									アメリカ文学入門	2					
日本のポピュラーカルチャー	2														24 30 0 20 0 8 0	24 単位		
サステイナブルな社会	2																	
選択					情報リテラシーⅠ	2	情報リテラシーⅡ	2	ITスキル応用Ⅰ	1	ITスキル応用Ⅱ	1						
選択					中国語検定対策	2	中国語リスニング&スピーキング	2	Communicative EnglishⅢ	1	Communicative EnglishⅣ	1						
選択					Advanced Writing I	2	ビジネス環境とマーケティング	2	中国語リーディング&ライティング	2	日中交流史	2						
選択					Business English	2	Advanced Writing II	2	British Studies	2	International Relations	2						
選択									American Studies	2								
選択															20 0 8 0	20 単位		
韓国専攻	2	韓国語表現文法	2		韓国サブカルチャー	2	韓国語リスニング&スピーキング	2	韓国語リーディング&ライティング	2	韓国語映像翻訳	2	韓国伝統文化と思想	2				
選択																		
選択																		
選択																		
選択																		
選択									専門ゼミナールⅠ	1	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1		
選択													卒業研究	4				
自由科目															0	—		
合計	20	20	14	17	17	13	12	12	125									

履修モデル5 教育分野（メジャー専攻：日本語教育専攻、マイナー専攻：国際・情報専攻）

資料2

修学分野と想定される進路

業種：教育、通訳・翻訳、学校職員

職種：公的な学校制度における教職や私的な教育機関における教育職あるいは大学院への進学

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件		
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位				
共通教育科目	必修	女性とジェンダー	2	グローバル社会と宗教	2	食と生命の科学	2	スポーツ I	1	地域協力演習	2	スポーツ健康論	2					26 単位		
		芸術の世界	2	スペイン語と文化 II	1			情報社会論	2											
		スペイン語と文化 I	1	コンピュータ II	1															
		コンピュータ I	1	基礎演習 II	1															
		基礎演習 I	1																	
共通教育科目	選択					日本国憲法	2							日本の文化	2		4			
国際学基礎	必修	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現 III	1	日本語表現 IV	1								16 単位			
		English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナール I	1	基礎ゼミナール II	1											
		日本語表現 I	1	日本語表現 II	1															
	国際学基礎	選択			海外語学実習 I (中国語圏)	4												24 単位		
			Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	英語資格講座 I B	1	英語資格講座 II B	1						
			Writing for Communication I	1	Writing for Communication II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1										
			Reading I	1	Reading II	1	アメリカ文学入門	2	イギリス文学入門	2										
			日本のポピュラーカルチャー	2	英語資格講座 II A	1	時事ニュース (国内) I	2	時事ニュース (外国) II	2										
			英語資格講座 I A	1																
国際・情報専攻	選択					情報リテラシー I	2	情報リテラシー II	2	Communicative English III	1	British Literature	2				22 単位	メジャー専攻 30 単位・マイナー専攻 20 単位		
						Advanced Writing I	2	Advanced Writing II	2	Theory of English Structure	2	Communicative English IV	1							
						学校文化と英語学習	2			British Studies	2	American Literature	2							
										American Studies	2									
専門教育科目	日本語教育専攻	必修	多文化社会論	2	日本語概論	2	日本語教育概論 I	2	日本語教育概論 II	2	日本語教育法 I	2	日本語教育法 II	2	日本語教育演習 I	2	日本語教育演習 II	2	30 単位	
							日本語教育ボランティア B	4			日英語比較 I	2	日英語比較 II	2	国内日本語教育インターンシップ	2	応用言語学	2		
	日本語教育専攻	選択																0 単位		
韓国専攻	選択																0 単位			
観光専攻	選択																0 単位			
ゼミ・卒論	選択									専門ゼミナール I	1	専門ゼミナール II	1	専門ゼミナール III	1	専門ゼミナール IV	1	8 単位		
														卒業研究	4					
自由科目	選択			教育原理	2	道徳教育の指導法	2	生徒・進路指導論	2	特別支援基礎論	1	教育行政・制度論	2	教職実践演習 I	1	教育課程論	2	36 単位		
				教職入門	2	英語科教育法 I	2	英語科教育法 II	2	教育方法・技術論	2	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	教育実習指導	1	教職実践演習 II	1			
				学習心理学	2					教育相談	2	英語科教育法 IV	2	教育実習 I	4					
合計		19		25		26		23		22		19		13		16	163			

桜花学園大学 国際学部 編入学既修得単位認定規程（案）

（準 拠）

第1条 この規程は、本学学則に基づき、編入学によって入学した者の既修得単位の認定に関する事項について定めるものとする。

（認定の限度）

第2条 各教育機関において修得した単位のうち、本学において修得したものとみなすことのできる単位は、60単位を超えないものとする。

（認定の要件）

第3条 既修得単位の認定は、次によるものとする。

(1) 共通教育科目については、科目の読み替えにより30単位まで認定できる。

(2) 専門教育科目については、科目の読み替えにより30単位まで認定できる。

ただし、専門教育科目において30単位を超えて認定し得る科目がある場合は、共通教育科目の認定によらず、60単位までを科目の読み替えにより認定できるものとする。

（認定の手続）

第4条 既修得単位の認定は、教授会の議を経て学長が行う。

（委 任）

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

既修得単位の読替参照表

該当分野	既履修科目例	既修得単位	認定該当科目	科目別認定単位上限数	
共通教育科目	第2外国語（ポルトガル語、スペイン語、フランス語、中国語、韓国語）	2～4	第2外国語（ポルトガル語Ⅰ・Ⅱ、スペイン語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ）	2～4	
	パソコン演習・情報技術演習 等	2	コンピュータⅠ・Ⅱ	2	
	基礎ゼミナール 等	2	基礎演習Ⅰ・Ⅱ	2	
	スポーツ 等	2	スポーツⅠ	1	
	社会と情報 等		情報社会論	2	
	健康論、健康学 等		スポーツ健康論	2	
	日本国憲法、憲法 等	2	日本国憲法	2	
	社会調査入門	2	社会調査法	2	
専門教育科目	国際学基礎	英語コミュニケーション 等	2	Grammar for CommunicationⅠ・Ⅱ	2
		英語音声学、音声学 等	2	English PhoneticsⅠ・Ⅱ	2
		TOEIC対策、TOEFL対策、英検対策 等	1～6	英語資格講座ⅠA・ⅠB 英語資格講座ⅠB・ⅠC 英語資格講座ⅠC・ⅠD	1～6
		日本語表現、国語表現 等	4	日本語表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	4
		ゼミ演習 等	2	基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ	2
		英会話基礎 等	4	SpeakingⅠ・Ⅱ	2
		Writing, 英作文、Composition 等	4	Writing for CommunicationⅠ・Ⅱ	2
		Presentation in English 等	2	English PresentationⅠ・Ⅱ	2
		時事問題 等	2	時事ニュース（国内）Ⅰ・時事ニュース（海外）Ⅱ	4
		上級英会話 等	2	Communicative EnglishⅠ・Ⅱ	2
		イギリス研究、イギリス文化研究 等	2	イギリス文学入門	2
		アメリカ研究、アメリカ文化研究 等	2	アメリカ文学入門	2
		上級英語コミュニケーション 等	4	Advanced WritingⅠ・Ⅱ	4
	ビジネス英語 等	2	Business English	2	

		英文読解 等	2	Reading I・II	2
		日本の現代文化 等	2	日本のポピュラーカルチャー	2
		環境問題 等	2	サステナブルな社会	2
	国際・情報専攻	情報学入門 等	4	情報リテラシー I・II	4
		中国語能力試験 等	2	中国語検定対策	2
		義務教育と英語学習 等	2	学校文化と英語学習	2
	日本語教育専攻	多文化社会 等	2	多文化社会論	2
		日本語概説 等	2	日本語概論	2
	韓国専攻	韓国語の基礎 等	2	韓国表現文法	2
		韓国の社会 等	2	韓国事情	2
		韓国の文化 等	2	韓国サブカルチャー	2
		韓国語能力試験 TOPIK I (初級) 対策、 韓国語能力試験 TOPIK II (中級) 対策、 韓国語能力試験 TOPIK II (上級) 対策 等	1~6	検定韓国語 初級 A・中級 A・上級 A 検定韓国語 初級 B・中級 B・上級 B	1~6
	観光専攻	観光学概説 等	2	観光学概論	2
		日本の地理と観光 等	2	観光と地理	2
	自由科目	教職論 等	2	教職入門	2
教育原理 等		1	教育原理	2	
教育心理学 等		2	学習心理学	2	

編入履修モデル1 国際理解・地域理解（メジャー専攻：観光専攻、マイナー専攻：国際・情報専攻）

資料5

修学分野と想定される進路

業種：国際的な活動を行う多国籍企業、貿易、製造、物流、公務員（国家・地方）

職種：営業、市場調査・開発、管理部門

※1・2年次記載科目は読替科目

区分	1年		2年			3年			4年			単位計	要件	
	前期	後期	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
共通教育科目	韓国語と文化Ⅰ	韓国語と文化Ⅱ	韓国語と文化Ⅲ	スポーツⅠ	1	NGO・NPO論	異文化理解	2	地域協力演習	情報社会論	2	27	26 単位	
	コンピュータⅠ	コンピュータⅡ		韓国語と文化Ⅳ	1	環境の科学		2	現代社会と女性	2	生活と経済			2
	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ				芸術の世界	2				国際関係論			2
選択												0		
国際学基礎	Grammar for Communication I	Grammar for Communication II	日本語表現Ⅲ	日本語表現Ⅳ	1		海外語学実習Ⅰ（英語圏）	4				16	16 単位	
	English Phonetics I	English Phonetics II	基礎ゼミナールⅠ	基礎ゼミナールⅡ	1									
	日本語表現Ⅰ	日本語表現Ⅱ												
選択	Speaking I	Speaking II	English Presentation I	English Presentation II	1	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	2				24	24 単位	
	Writing for Communication I	Writing for Communication II	時事ニュース（国内）Ⅰ	時事ニュース（外国）Ⅱ	2				サステイナブルな社会	2	アニメーション論			2
	英語資格講座ⅠA	英語資格講座ⅡA	Communicative English I	Communicative English II	1									
				イギリス文学入門	2									
国際・情報専攻			情報リテラシーⅠ	情報リテラシーⅡ	2	Communicative English III	Communicative English IV	1	British Studies	2	ビジネス環境とマーケティング	2	20	メジャー専攻30単位、マイナー専攻20単位
			Advanced Writing I	Advanced Writing II	2	データサイエンス基礎	2	American Studies	2					
			Business English		2									
日本語教育専攻												0		
韓国専攻												0		
観光専攻	観光と地理	観光学概論				観光ホスピタリティ	観光と文化	2	宿泊産業論	2	観光政策論	2	30	20 単位
						エアライン講座	観光インターンシップ	2			地域ブランディング論	2		
						地域フィールドワーク	旅行産業論	2			観光マーケティング	2		
						交通産業論	観光とソーシャルメディア	2	観光まちづくり論	2				
ゼミ・卒論						専門ゼミナールⅠ	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1	8	8 単位
											卒業研究	4		
自由科目												0		
合計	12	12	13	14		20		18		15	21	125		

※既修得単位認否 51 単位

編入履修モデル2 国際理解・地域理解（メジャー専攻：韓国専攻、マイナー専攻：韓国専攻、国際・情報専攻）

資料5

修学分野と想定される進路

業種：国際的な活動を行う多国籍企業、貿易、製造、物流、公務員（国家・地方）

職種：営業、市場調査・開発、管理部門

※1・2年次記載科目は読替科目

区分	1年				2年				3年				4年				単 位 数	要 件
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
共通教育科目	必修	韓国語と文化Ⅰ	1	韓国語と文化Ⅱ	1	韓国語と文化Ⅲ	1	スポーツⅠ	1	現代社会と企業	2		生き方の探求	2	地域社会	2	27	26 単位
		コンピュータⅠ	1	コンピュータⅡ	1			韓国語と文化Ⅳ	1	文学の世界	2		女性とジェンダー	2	日本の文化	2		
		基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1					食と生命の科学	2				情報社会論	2		
															国際関係論	2		
	選択																0	
国際学基礎	必修	Grammar for CommunicationⅠ	1	Grammar for CommunicationⅡ	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1			海外語学実習Ⅰ（韓国語）	4				16	16 単位
		English PhoneticsⅠ	2	English PhoneticsⅡ	2	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅡ	1									
		日本語表現Ⅰ	1	日本語表現Ⅱ	1													
	選択	SpeakingⅠ	1	SpeakingⅡ	1	English PresentationⅠ	1	English PresentationⅡ	1	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2				24	
		Writing for CommunicationⅠ	1	Writing for CommunicationⅡ	1	Communicative EnglishⅠ	1	Communicative EnglishⅡ	1	サステイナブルな社会	2	楽しい古典芸能	2					
		ReadingⅠ	1	ReadingⅡ	1	時事ニュース（国内）Ⅰ	2	時事ニュース（外国）Ⅱ	2									
	英語資格講座ⅠA	1	英語資格講座ⅡA	1														
専門教育科目	選択					Advanced WritingⅠ	2	Advanced WritingⅡ	2	Communicative EnglishⅢ	1	Communicative EnglishⅣ	1		International Relations	2	10	メ ジ ャ ー 専 攻 3 0 単 位 ・ マ イ ナ ー 専 攻 2 0 単 位
											ビジネス環境とマーケティング	2						
	選択																0	
韓国専攻	選択	検定韓国語初級A	1	検定韓国語初級B	1	検定韓国語中級A	1	検定韓国語中級B	1	韓国語リスニング&スピーキング	2	韓国語リーディング&ライティング	2	韓国語映像翻訳	2	ビジネス韓国語	2	40
		韓国事情	2	韓国サブカルチャー	2					韓国語コミュニケーション	2	韓国語プレゼンテーション	2	韓国の歴史	2	韓国伝統文化と思想	2	
				韓国語表現文法	2					日韓文化比較	2	日韓対照言語学	2					
										韓国インターンシップ	2	韓国自由研究	2					
									韓国留学準備講座A	2	海外語学実習Ⅱ（韓国語）	4						
観光専攻	選択																0	
ゼミ・卒論	選択									専門ゼミナールⅠ	1	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1	8
																卒業研究	4	
自由科目	選択																0	
合計		14		16		10		11		22		24		9		19	125	

※既修得単位認定 51 単位

編入履修モデル3 ビジネスコミュニケーション（メジャー専攻：韓国専攻、マイナー専攻：観光専攻）

資料5

修学分野と想定される進路

業種：観光産業、ホテル、旅行業、運輸、通信

職種：営業、市場調査・開発、管理部門

※1・2年次記載科目は読替科目

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
共通教育科目	必修	韓国語と文化Ⅰ	1	韓国語と文化Ⅱ	1	スペイン語と文化Ⅰ	1	スポーツⅡ	1	地域協力演習	2	社会調査法	2	現代社会と企業	2	日本の文化	2	25 26 2
		コンピュータⅠ	1	コンピュータⅡ	1			スペイン語と文化Ⅱ	1					女性と家庭教育	2	人間と歴史	2	
	基礎演習Ⅰ	1	基礎演習Ⅱ	1										生き物の社会	2			
														心の探求	2			
選択																情報社会論	2	2
国際学基礎	必修	Grammar for Communication I	1	Grammar for Communication II	1	日本語表現Ⅲ	1	日本語表現Ⅳ	1			海外語学実習Ⅰ（韓国語）	4					16
		English Phonetics I	2	English Phonetics II	2	基礎ゼミナールⅠ	1	基礎ゼミナールⅡ	1									
	日本語表現Ⅰ	1	日本語表現Ⅱ	1														24
	Speaking I	1	Speaking II	1	English Presentation I	1	English Presentation II	1	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2						
選択	Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1	日本のポピュラーカルチャー	2	イギリス文学入門	2						24
					時事ニュース（国内）Ⅰ	2	時事ニュース（外国）Ⅱ	2	サスティナブルな社会	2	アニメーション論	2						
国際・情報専攻	選択																	0
日本語教育専攻	選択																	0
韓国専攻	必修	検定韓国語初級A	1	検定韓国語初級B	1	検定韓国語中級A	1	検定韓国語中級B	1	韓国語リスニング&スピーキング	2	韓国語リーディング&ライティング	2	韓国映像翻訳	2	ビジネス韓国語	2	30
		韓国事情	2	韓国サブカルチャー	2			韓国語表現文法	2	日韓文化比較	2			韓国語コミュニケーション	2	韓国語プレゼンテーション	2	
	選択																	2
観光専攻	必修	観光と地理	2	観光学概論	2					観光ホスピタリティ	2	観光と文化	2	宿泊産業論	2	観光マーケティング	2	20
										祭と文化	2	観光と社会	2	観光インターンシップ	2			
	選択																	2
ゼミ・卒論	選択									専門ゼミナールⅠ	1	専門ゼミナールⅡ	1	専門ゼミナールⅢ	1	専門ゼミナールⅣ	1	8
																卒業研究	4	
自由科目	選択																	0
合計		14		14		8		11		21		19		19		19		125

※既修得単位認定 47 単位

編入履修モデル4 ビジネスコミュニケーション（メジャー専攻：国際・情報、マイナー専攻：韓国専攻）

資料5

修学分野と想定される進路
業種：観光産業、ホテル、旅行業、運輸、通信
職種：営業、市場調査・開発、管理部門

※1・2年次記載科目は履修科目

区分	1年		2年		3年		4年		単位計	要件
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	韓国語と文化 I	韓国語と文化 II	ポルトガル語と文化 I	スポーツ II	NPO・NGO論	グローバル社会と宗教	現代社会と女性	生活と経済	25	26 単位
	コンピュータ I	コンピュータ II		ポルトガル語と文化 II	生き方の探求		国際関係論	2		
	基礎演習 I	基礎演習 II			環境の科学		情報社会論	2		
						統計学		2		
国際学基礎	Grammar for Communication I	Grammar for Communication II	日本語表現 III	日本語表現 IV		海外語学実習 I (韓国語)		16	24 単位	
	English Phonetics I	English Phonetics II	基礎ゼミナール I	基礎ゼミナール II						
	日本語表現 I	日本語表現 II								
	Speaking I	Speaking II	English Presentation I	English Presentation II	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II				
国際・情報専攻	Reading I	Reading II	Communicative English I	Communicative English II	日本のポピュラーカルチャー			24	メジャー 専攻 30 単位	
	Writing for Communication I	Writing for Communication II	時事ニュース (国内) I	時事ニュース (外国) II						
			アメリカ文学入門	イギリス文学入門						
			情報リテラシー I	情報リテラシー II	ITスキル応用 I	ITスキル応用 II	中国語リーディング&ライティング	Communicative English IV		1
韓国専攻			Advanced Writing I	Advanced Writing II	Business English	ビジネス基礎とマーケティング	Communicative English III	1	20	
			中国語検定対策			中国語リスニング&スピーキング	British Studies	2		
							American Studies	2		
							韓国語リーディング&ライティング	2		
韓国専攻	韓国事情	韓国サブカルチャー			韓国語リスニング&スピーキング	韓国語リーディング&ライティング	韓国語映像翻訳	韓国伝統文化と思想	2	20
		韓国語表現文法			日韓文化比較		韓国の歴史	2		
					韓国語コミュニケーション					
観光専攻									0	
ゼミ・卒論					専門ゼミナール I	専門ゼミナール II	専門ゼミナール III	専門ゼミナール IV	8	8 単位
								卒業研究	4	
自由科目									0	
合計	12	14	15	14	20	18	14	18	125	

※既修得単位認定 55 単位

編入履修モデル5 教育分野（メジャー専攻：日本語教育専攻、マイナー専攻：国際・情報専攻）

資料5

修学分野と想定される進路

業種：教育、通訳・翻訳、学校職員

※1・2年次記載科目は読替科目

職種：公的な学校制度における教職や私的な教育機関における教育職あるいは大学院への進学

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	必修	スペイン語と文化 I コンピュータ I 基礎演習 I	スペイン語と文化 II コンピュータ II 基礎演習 II		情報社会論 スポーツ健康論		地域協力演習 芸術の世界		異文化理解		女性とジェンダー 食と生命の科学		地域社会		22	26 単位		
	選択				日本国憲法							日本の文化		4				
	必修	Grammar for Communication I English Phonetics I 日本語表現 I	Grammar for Communication II English Phonetics II 日本語表現 II	日本語表現 III	日本語表現 IV						海外語学実習 I (中間語圏)				16		16 単位	
	選択	Speaking I Writing for Communication I Reading I 日本のポピュラーカル チャー	Speaking II Writing for Communication II Reading II	English Presentation I Communicative English I アメリカ文学入門	English Presentation II Communicative English II イギリス文学入門	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II							24				
選択			情報リテラシー I	情報リテラシー II	Communicative English III Theory of English Structure American Studies	Communicative English IV American Literature	データサイエンス基礎 British Literature						20	メジャー 専攻 30 単位 ・ マイナー 専攻 20 単位				
選択	多文化社会論	日本語概論			日本語教育概論 I 日英語比較 I 日本語教育ポランテア B	日本語教育概論 II 日英語比較 II	日本語教育演習 I 言語学 日本語教育法 I 国内日本語教育インター ンシップ	日本語教育演習 II 応用言語学 日本語教育法 II					30					
選択													0					
選択													0					
自由科目	必修	教育原理 学習心理学 教職入門				道徳教育の指導法 英語科教育法 I 特別支援基礎論	生徒・進路指導論 英語科教育法 II	教職実践演習 I 教育実習指導	教育課程論 教職実践演習 II					36	-			
	選択							教育実習 I 教育方法・技術論 教育相談 英語科教育法 III	特別活動・総合的な学習 の時間の指導法 英語科教育法 IV									
合計	14	18	10	16	28	21	27	26	160									

※既修得単位認め 58 単位

編入履修モデル6 教育分野（メジャー専攻：日本語教育専攻、マイナー専攻：韓国専攻）

資料5

修学分野と想定される進路

業種：教育、通訳・翻訳、学校職員

※1・2年次記載科目は読替科目

職種：公的な学校制度における教職や私的な教育機関における教育職あるいは大学院への進学

区分	1年				2年				3年				4年				単位計	要件
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	必修	フランス語と文化 I	フランス語と文化 II		社会調査法		NPO・NGO論		女性と家庭教育		人間と歴史				22	26 単位		
	必修	コンピュータ I	コンピュータ II		スポーツ健康論				文学の世界		異文化理解							
	必修	基礎演習 I	基礎演習 II						生き物の社会									
	選択				日本国憲法				国際関係論						4			
国際学基礎	必修	Grammar for Communication I	Grammar for Communication II	日本語表現 III	日本語表現 IV			海外語学実習 I (中国語)							16	16 単位		
	必修	English Phonetics I	English Phonetics II	基礎ゼミナール I	基礎ゼミナール II													
	必修	日本語表現 I	日本語表現 II															
	選択	Speaking I	Speaking II	English Presentation I	English Presentation II	キャリアデザイン I	キャリアデザイン II								26			
	選択	Writing for Communication I	Writing for Communication II	時事ニュース (国内) I	時事ニュース (外国) II													
	選択	Reading I	Reading II	Communicative English I	Communicative English II													
	選択	日本のポピュラーカルチャー		アメリカ文学入門	イギリス文学入門													
	選択	サステイナブルな社会																
	選択			学校文化と英語学習		Communicative English III	Communicative English IV	American Studies	American Literature		British Literature				10			
	選択																	
専門教育科目	選択	多文化社会論	日本語概論			日本語教育概論 I	日本語教育概論 II	日本語教育演習 I	日本語教育演習 II						30	30 単位		
	選択					日英語比較 I	日英語比較 II	日本語教育法 I	日本語教育法 II									
	選択					日本語教育ボランティア B		言語学	応用言語学									
	選択							社会と言語										
	選択																	
	選択																	
	選択																	
	選択																	
	選択																	
	選択																	
韓国専攻	選択	検定韓国語初級A	検定韓国語初級B			韓国語リスニング&スピーキング	韓国語リーディング&ライティング	韓国の歴史	韓国伝統文化と思想						20	20 単位		
	選択					韓国事情	韓国サブカルチャー											
	選択					日韓文化比較	韓国自由研究											
	選択					韓国語コミュニケーション												
観光専攻	選択														0	0 単位		
	選択																	
ゼミ・卒論	選択					専門ゼミナール I	専門ゼミナール II	専門ゼミナール III	専門ゼミナール IV						8	8 単位		
	選択								卒業研究									
自由科目	選択		教育原理			特別支援基礎論	生徒・進路指導論	教職実践演習 I	教育課程論						36	36 単位		
	選択		学習心理学			道徳教育の指導法	英語科教育法 II	教育実習指導	教職実践演習 II									
	選択		教職入門			英語科教育法 I		教育実習 I	教育行政・制度論									
	選択							英語科教育法 III	英語科教育法 IV									
	選択							教育方法・技術論	特別活動・総合的な学習の時間の指導法									
	選択							教育相談										
合計		17	19	10	14	29	26	29	28	172								

※既修得単位認め 60 単位

教育実習校一覧

公立学校	愛知県教育委員会				
受入可能 人数	5名程度	受入時期	令和9年 4月1日 から	受入対象学級数	中学校299校4,195学級、高等 学校150校2,825学級
私立学校	桜花学園高等学校（名古屋市昭和区緑町1-7）				
受入可能 人数	5名	受入時期	令和9年 4月1日 から	受入対象学級数	29学級

教育実習校一覧（実績）

資料6

学校名	所在地	受入人数
安城市立安城西中学校	愛知県安城市福釜町中根43番地	1
岡崎市立竜海中学校	愛知県岡崎市明大寺町栗林48番地1	1
東浦町立東浦中学校	愛知県知多郡東浦町大字石浜字障戸19番地	1
春日井市立西部中学校	愛知県春日井市未宮町字宮175番地	1
愛知県立幸田高等学校	愛知県額田郡幸田町大字高力字神山78	1
江南市立古知野中学校	愛知県江南市高屋町遠場148番地	1
武豊町立富貴中学校	愛知県知多郡武豊町大字東大高字熊野西8	1
清須市立清洲中学校	愛知県清須市一場695	1

桜花学園大学国際学部 教職免許取得に関わる教育実習等の履修に関する規則（案）

（目 的）

第1条 この要項は、桜花学園大学国際学部（以下「本学部」）の中学校・高等学校1種免許状（英語）取得に必要な実習科目等の履修について必要事項を定め、学生の教員免許状取得に対する学修意欲を高めるとともに、学生支援に資することを目的とする。

（対象科目）

第2条 この規則に定める対象授業科目を、つぎの授業科目とする。

- (1) 教育実習I
- (2) 教育実習II
- (3) 教育実習指導
- (4) 教職実践演習I（中・高）
- (5) 教職実践演習II（中・高）

（履修条件）

第3条 第2条に掲げる科目を履修しようとする者は、次の各号の条件を満たさなければならない。

- (1) 学則で定める教職に関する科目（中、高一種免）を履修済み、又は履修中であること
- (2) 教科に関する科目及び教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を履修済み、または履修中であること
- (3) 教育委員会等に教育実習を申請するまでに修得した総合教養科目及び専門科目の全履修科目通算GPA及び教職に関する科目の通算GPAのいずれもが2.8以上であること
- (4) 3年次2月末日迄にTOEICのスコアが600点以上あること、あるいは英検準1級を取得していること

（経過措置）

第4条 平成24年3月31日において現に在籍する者に対しては、平成21年度の履修条件を適用する。

附 則

この規則は平成24年4月1日より実施する。
この規則は、令和6年4月1日から施行する。

【日本語教育実習受入施設一覧】

資料8

	科目名	単位数	期間	施設名	所在地	実習人数	承諾書、 協定書等
専門 教育 科目	国内日本語教育インターン シップ	2	2週間	NPO法人プラスエデュケート	愛知県豊明市	10	—
				桜花学園大学国際交流支援セン ター	愛知県豊明市	5	
	海外日本語教育インターン シップA	2	2週間	ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	バリ	10	—
				順天郷大学/Soonchunhyang University	韓国	10	
	海外日本語教育インターン シップB	4	4週間	ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	バリ	10	有
				順天郷大学/Soonchunhyang University	韓国	10	有

※受入承諾書、協定書等は、資料9参照。

【学外実習施設一覧】

	科目名	単位数	施設名	所在地	実習人数	承諾書、 協定書等
共通 教育 科目	インターンシップ（国内）A	1	別資料【資料9-1】		57	—
	インターンシップ（国内）B	2				—
	インターンシップ（海外）A	1	ロイヤルクラウンホテル/Royal Crown Hotel, Siem Reap	カンボジア	5	—
	インターンシップ（海外）B	2	インドシナツーリスト/Indochina Tourist & Trade	ベトナム	5	—
	インターンシップ（海外）C	3	ロイヤルクラウンホテル/Royal Crown Hotel, Siem Reap	カンボジア	5	—
			インドシナツーリスト/Indochina Tourist & Trade	ベトナム	5	
	インターンシップ（海外）D	4	ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	インドネシア	10	有
			順天郷大学/Soonchunhyang University	韓国	10	有
			近鉄インターナショナルエクスプレス/Kintetsu International Express(Oceania) Pty Ltd	オーストラリア	1	有
			近鉄インターナショナルエクスプレスオークランド支店/Kintetsu International Express(Oceania) Pty Ltd Auckland Branch	ニュージーランド	1	有
	ボランティア（国内）	1	別資料【資料9-2】		297	—
	ボランティア（海外）	2	タイ王立小児病院/Queen Sirikit national institute of child health hospital	タイ	10	—
			バンコク メロディー幼稚園/Melodies International Kindergarten and nursery	タイ	10	
			スリランカ サルボダヤ 孤児院/Sarvodaya volunteering	スリランカ	10	
	海外英語資格実習	2	スプロットショーランゲージカレッジ /Sprott Shaw Language College, Vancouver	カナダ	20	—
	海外研修A	2	ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	バリ	10	—
中国台湾大葉大学/Da-Yeh University, taiwan			台湾	30		
中国北京大学/Peking University			中国	5		
又松大学/Woosong University			韓国	15		
梨花女子大学/Ewha Womans University			韓国	20		
清州大学/Cheongju University			韓国	30		
海外研修B	4	又松大学/Woosong University	韓国	5	有	
		梨花女子大学/Ewha Womans University	韓国	10	有	
		順天郷大学/Soonchunhyang University	韓国	10	有	
		清州大学/Cheongju University	韓国	30	有	
専門 教育 科目	海外語学実習Ⅰ（英語圏）	4	ダブリンシティ大学/Dublin City University	アイルランド	30	有
	海外語学実習Ⅰ（韓国語）	4	又松大学/Woosong University	韓国	20	有
			梨花女子大学/Ewha Womans University	韓国	30	有
			清州大学/Cheongju University	韓国	30	有
	海外語学実習Ⅰ（中国語圏）	4	中国台湾大葉大学/Da-Yeh University, taiwan	台湾	30	有
	海外語学実習Ⅱ（英語圏）	4	ノーサンプトン大学/University of Northampton	イギリス	10	有
	海外語学実習Ⅱ（韓国語圏）	4	又松大学/Woosong University	韓国	5	有
			梨花女子大学/Ewha Womans University	韓国	10	有
清州大学/Cheongju University			韓国	30	有	
海外語学実習Ⅱ（中国語圏）	4	中国台湾大葉大学/Da-Yeh University, taiwan	台湾	30	有	
学校教育インターンシップ	2	サンドレイク小学校/Sand Lake Elementary School	アメリカ	5	—	

日本語教育ボランティアA	2	豊門市国際交流協会TIRA	愛知県豊門市	5	—
		ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	インドネシア	10	
日本語教育ボランティアB	4	豊門市国際交流協会TIRA	愛知県豊門市	5	—
		ガネシャ大学/Undiksha - Ganesha University Of Education	インドネシア	10	
韓国インターンシップ	2	ハンナラ観光	韓国	2	—
		東亜電気部品株式会社	韓国	3	
		又松大学/Woosong University	韓国	5	
観光インターンシップ	2	別資料【資料9-3】		36	—

国内インターンシップ受入れ機関リスト

	機関名	可能人数	所在地
1	(一社) 愛知県観光協会	1	名古屋市
2	(公財) 名古屋観光コンベンションビューロー	4	名古屋市
3	近畿日本ツーリスト (株) 中日本支社	3	名古屋市
4	(株) ツーリストエクスパーツ	4	名古屋市
5	(株) 日本旅行 名古屋・名古屋教育旅行支店	3	名古屋市
6	(株) 留学ジャーナル 名古屋支店	2	名古屋市
7	インサイドジャパン・ツアーズ	1	名古屋市
8	ザ・ロイヤルパークキャンパス名古屋	2	名古屋市
9	名古屋ガーデンパレス	1	名古屋市
10	ホテルクラウンパレス知立	2	知立市
11	LEGOLAND Japan (株)	5	名古屋市
12	(株) 竹田嘉兵衛商店	3	名古屋市
13	(株) スズサン	2	名古屋市
14	(有) 久野染工場	2	名古屋市
15	名古屋トヨペット (株)	1	名古屋市
16	Sky Garden Pre-School	2	名古屋市
17	わかばコスモ極楽園	1	名古屋市
18	社会福祉法人「来夢」	2	豊橋市
19	障がい者支援施設 ホタルの郷	3	豊川市
20	アジア車いす交流センター	1	刈谷市
21	(株) ナガラ	2	名古屋市
22	尾西信用金庫	1	一宮市
23	(株) エイジェック 名古屋雇用開発センター	1	名古屋市
24	(株) 名大社	1	名古屋市
25	豊明市国際交流協会	5	豊明市
26	名古屋テレビ映像	1	名古屋市
27	名古屋セントラルクリニック	1	名古屋市
	合計	57	

ボランティア受入れ機関リスト

	活動名（主催者名）	人数	所在地
1	桶狭間古戦場まつり（桶狭間古戦場保存会）	10	名古屋市
2	中部ウォークアソンチャリティイベント（在日米商工会議所（ACCJ）中部支部、及び名古屋国際学園（NIS））	50	名古屋市
3	桶狭間古戦場まつり（とよあけ桶狭間古戦場保存会）	15	豊明市
4	有松絞まつり（有松絞りまつり実行委員会）	50	名古屋市
5	安城市七夕まつり（安城市 team LOVE TANABATA）	20	安城市
6	刈谷万燈まつり（刈谷市観光協会）	6	刈谷市
7	豊明夏まつり（豊明市役所）	10	豊明市
8	刈谷わんさかまつり（刈谷市観光協会）	6	刈谷市
9	絵本の世界を楽しむ会（豊明市国際交流協会）	10	豊明市
10	有松山車まつり（有松天満社）	20	名古屋市
11	天白区民まつり（天白区手をつなぐ会、天白区役所）	10	名古屋市
12	刈谷アニメcollection（刈谷市観光協）	10	刈谷市
13	晩秋の有松を楽しむ会（晩秋の有松を楽しむ会実行委員会）	10	名古屋市
14	豊明秋まつり（豊明市役所）	10	豊明市
15	サムライ・ニンジャフェスティバル豊明PRブース（豊明市観光協会）	20	豊明市
16	グランパス名古屋自治体PRイベント（豊明市観光協会）	4	豊明市
17	愛知ふるさと市豊明市PRブース（豊明市観光協）	4	豊明市
18	有松まちなみ美術館（NPO法人コンソーシアム有松）	10	名古屋市
19	いなりんピック豊明市PRブース（豊明市観光協会）	6	豊明市
20	にっぽん城まつり豊明市PRブース（豊明市観光協会）	6	豊明市
21	有松まちなみ案内（英語版、有松あないびとの会）	10	名古屋市
	合計	297	

観光インターンシップ受入れ機関リスト

	機関名	可能人数	所在地
1	(一社) 愛知県観光協会	2	名古屋市
2	(公財) 名古屋観光コンベンションビューロー	4	名古屋市
3	近畿日本ツーリスト (株) 中日本支社	3	名古屋市
4	(株) ツーリストエキスパート	4	名古屋市
5	(株) 日本旅行 名古屋・名古屋教育旅行支店	3	名古屋市
6	(株) 留学ジャーナル 名古屋支店	2	名古屋市
7	インサイドジャパン・ツアーズ	1	名古屋市
8	ザ・ロイヤルパークキャンパス名古屋	2	名古屋市
9	名古屋ガーデンパレス	1	名古屋市
10	ホテルクラウンパレス知立	2	知立市
11	LEGOLAND Japan (株)	5	名古屋市
12	(株) 竹田嘉兵衛商店	3	名古屋市
13	(株) スズサン	2	名古屋市
14	(有) 久野染工場	2	名古屋市
	合計	36	

桜花学園大学 科目等履修生規程

(準 拠)

第1条 この規程は、本学学則の定めに基づき、科目等履修生に関し必要な事項を定める。

(履修の許可)

第2条 本学が指定する授業科目のうち、履修を志願する者があるときは、当該学科の教育に支障がない限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

(資 格)

第3条 科目等履修生の入学資格については、本学学則の定めるところによる。

(入学期日)

第4条 科目等履修生の入学期日は、毎学期の始めとする。

(在学期間)

第5条 科目等履修生の在学期間は、履修科目の開講学期とする。

(手 続)

第6条 科目等履修生として入学しようとする者は、次の書類に検定料（本科入学検定料の半額）を添えて指定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 卒業証明書（最終学歴のもの）または在学関係にある大学の成績証明書等、入学資格を証明するものあるいはその写し。

(授業料)

第7条 科目等履修生として入学を許可された者は、授業料（1単位につき15,000円）を指定の期日までに納入しなければならない。

- 2 「教育実習」「保育実習」の履修者は、実習謝礼費を納入しなければならない。
- 3 既納の入学検定料、授業料等については、原則として返還しない。

(履修単位の授与)

第8条 科目等履修生は、履修した科目につき試験を受けることができる。

2 試験に合格した科目について、単位取得証明書を授与する。

(学則の準用)

第9条 科目等履修生については、この規程に定めるもののほか本学学則を準用する。

(委 任)

第10条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

この規程は、平成14年度入学生から適用する。

この規程は、平成15年10月1日から施行する。

桜花学園大学 研究生規程

(準 拠)

第1条 この規程は、桜花学園大学学則第46条第2項の規定に基づき研究生に関する事項について定める。

(定 義)

第2条 研究生とは、特定課題について指導教員のもとで、指導を受ける者をいう。

(資 格)

第3条 研究生として志願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 本学において、前号と同等以上の資格または学力があると認められる者
ただし、外国人留学生の場合は、「日本語能力検定」1級に合格、または「日本留学生試験」220点以上を取得し、かつ経済的条件が整えられていなければならない。

(出 願)

第4条 研究生として入学を志願する者は、研究テーマ・内容・研究計画を明確にした上で、研究を指導する本学専任教員の承諾書、日本語能力を証明する書類（外国人留学生の場合のみ）、その他所定の書類及び検定料（本科入学検定料の半額）を添えて、次の期日までに学長に願出しなければならない。

在籍希望期日	提出期日
1年又は前期	3月末日
後期	9月末日

(選 考)

第5条 出願のあった者の選考は、当該指導教員が所属する学科において、出願書類に基づき行う。

ただし、学外から出願した外国人留学生については、上記に加え、筆記試験（日本語）と面接を課す。

(許 可)

第6条 前条による審査で合格と判断された者については、教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

(入学期日)

第7条 研究生の入学期日は、学期のはじめとする。

(在学期間)

第8条 在学期間は、学期を単位とし1年以内とする。

ただし、引き続き研究の必要がある場合には、1年に限り、延長を認めることができる。

なお、年度末、半期の場合は学期末に、研究報告書を指導教員に提出しなければならない。

(授 業)

第9条 研究生は、指導教員のもとで指導を受け、指導教員の判断により、教育に支障のない範囲で授業を聴講することができる。

ただし、この場合の聴講授業科目の単位認定はできないものとする。

(授業料等)

第10条 研究生として入学を許可された者は、授業料（1学期60,000円、通年120,000円）を指定の期日までに納入しなければならない。

2 既納の入学検定料及び授業料は、原則として返還しない。

(委 任)

第11条 研究生については、本規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

この規程（学則の条項変更に伴う変更、資格の変更等）は、平成20年4月1日から施行する。

この規程（学則の条項変更に伴う変更）は、平成21年4月1日から施行する。

学校法人 桜花学園 定年規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、学校法人桜花学園（以下「学園」という。）に勤務する教 職員の定年について定める。

(定 年)

第 2 条 教職員の定年は、満 6 5 歳とする。
ただし、理事会が管理上必要と認めた者については、定年を延長することができる。

(再雇用)

第 3 条 前条本文の規定により退職した教職員のうち、理事会が業務遂行上特に必要と認めた者については、特別任用教職員として再雇用することができる。

(定年の時期)

第 4 条 定年による退職の時期は、定年に達した日の属する学年の末日とする。

(委 任)

第 5 条 この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和 4 8 年 4 月 1 日から施行する。

この改定規程は、昭和 5 8 年 4 月 1 日から施行する。

この改定規程は、平成 1 9 年 1 1 月 1 日から施行する

桜花学園大学 特別契約教員に関する規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、桜花学園大学の特別契約教員に関し、必要な事項を定める。

(定 義)

第2条 この規則で、特別契約教員とは、他の大学、試験所及び研究機関等（以下「大学等」という。）で相当の教職経験又は研究成果を有し、かつ年齢その他の事由により当該大学等を退職し、別に定める教員採用内規に基づき採用された者をいう。

(定 年)

第3条 特別契約教員の定年は、満70歳に達した日の属する学年の末日とする。ただし、開設年度から完成年度の前年度に採用された者については、満75歳に達した学年の末日とする。

(採 用)

第4条 特別契約教員の採用は、所属長の選考により理事長が決定する。

(就業に関する諸条件)

第5条 特別契約教員の就業に関する諸条件は、桜花学園大学の就業規則中、第7条（試用期間）、第31条（給与）を除き、同規則を準用する。

2 その他、諸規程等については、専任教員の規程等を準用する。

(給 与)

第6条 特別契約教員の給与については、別に定める。

(委 任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

この規則（採用の改正）は、平成18年4月1日から施行する。

Spring Semester 前期													
Day	1st Period	2nd Period	3rd Period	4th Period	5th Period								
Monday	1 日本語表現 I	521 鬼頭	コンピューター I	521 佐久間	ポルトガル語と文化 I	133 富松	ポルトガル語と文化 I	133 富松	ポルトガル語と文化 I	133 富松			
	2 English Presentation I	724 Kiyokawa	Communicative English I	515 Kiyokawa	スペイン語と文化 I	722 ロンセロス	スペイン語と文化 I	722 ロンセロス	スペイン語と文化 I	722 ロンセロス			
	3 国際語リーディング&ライティング教育相談	723 布和	現代社会と企業	721 塚本	ITスキル応用 I	53D 佐久間	データサイエンス基	53D 南 裕一郎	中国語と文化 III	515 布和	中国語と文化 III	515 布和	522 金三淑
	4		日本語教育演習 I	122 佐田									
Tuesday	1 桜花学人間を知る	821 森山	Writing for Communication I	530 Jackson	English Phonetics I	53D 柳田	Speaking I	53D Kiyokawa					
	2 日本語教育概論 I	323 佐田	桜花学自然を知る										
	3 British Studies	122 井川	American Studies	122 小林	キャリアデザイン I	112 根尾	言語学	112 小出					
	4												
Wednesday	1 サステナブルな社	514 韓丹	Reading I	516 Jackson	韓国事情	722 李賢珍							
	2 時事ニュース (国内) I	122 菅生	基礎ゼミナール I	133 石渡									
	3 Theory of English Structure	123 村木	日本語教育法 I	521 佐田	教育方法・技術論	723 首藤							
	4												
Thursday	1 観光英語A	53D 井川	桜花学 自分を知る										
	2 アメリカ文学入門	53C 小林	情報リテラシー I	112 高谷	韓国現代文学	514 金三淑	英語科教育法 I	332 石渡	観光ホスピタリティ	322 菅生	中国語検定対策	311 布和	
	3 Communicative English III	112 Clarke	専門ゼミナール I	53C 小林	交通産業論	515 柳原	英語科教育法 III	724 柳田	韓国語映像翻訳	514 李 正子			
	4 教育実習指導	723 石渡			専門ゼミナール III	53C 小林							
Friday	1 Grammar for Communication I	516 柳田	検定韓国語初級A	724 李正子	英語資格講座 I A	113 柳田	観光と地理	113 柳原	多文化社会論	514 韓丹			
	2 日韓文化比較	112 金三淑	検定韓国語中級A	516 金昭暎	英語資格講座 I B	112 小林							
	3 韓国の歴史	113 李孝心	検定韓国語上級A	516 Clarke	英語資格講座 I C	313 Jackson	韓国語リスニング & スピーキング	516 金三淑	学校文化と英語学習	724 石渡	Study Abroad Preparation A	723 石渡	
	4		Business English	123 佐田	日英比較 I	516 大西							

学外研修、集中講義等
 1年次 韓国留学一ない?OK?? インターンシップ (海外) A
 2年次 学校教育インターンシップ (石渡)、日本語教育ボランティアA (都)、日本語教育ボランティアB (都)、観光インターンシップ (根尾)、韓国インターンシップ (金三淑)、
 2年次 地域フィールドワーク (根尾)、インターンシップ (国内) A・B (菅生)、インターンシップ (海外) A・B・C・D (Clarke)、ボランティア (国内) (菅生)、
 2年次 ボランティア (海外) (Kiyokawa、嶋守、田端)、海外英語資格実習 (石渡)、海外研修A・B (井川、布和、金三淑)、
 2年次 海外語学実習Ⅱ (英語圏) (井川、小林)、海外語学実習Ⅱ (韓国語) (金三淑)、海外語学実習Ⅱ (中国語圏) (布和)
 3年次 特別支援基礎論 (長崎) ※集中
 4年次 教育実習Ⅰ (石渡)、教育実習Ⅱ (石渡)、国内日本語教育インターンシップ (都)、海外日本語教育インターンシップA (都)、海外日本語教育インターンシップB (都)、日本語教育実習Ⅰ (佐田)

Fall Semester 後期																
Day	1st Period			2nd Period			3rd Period			4th Period			5th Period			
Monday	1			コンピューターII	113	佐久間	ポルトガル語と文化 スペイン語と文化II フランス語と文化II	133 722 113	富松 ロンセロス 中島	ポルトガル語と文化 スペイン語と文化II フランス語と文化II	133 722 113	富松 ロンセロス 中島	桜花学 世界を知 国際関係論	212	高橋	
	2	English Presentation II	724 530	Kiyokawa Jackson	スポーツ I スポーツ II	611 501 722	鬼頭(美) 横井 伊藤 川西	社会調査法 統計学 情報社会論	121 311 222	南 高瀬 佐久間			中国語と文化 IV 韓国語と文化 IV	724 723	布和 金三淑	
	3			Speech & Presentation	122	Jackson	Communicative English IV	112	Clarke	ITスキル応用II	311	佐久間				
	4			日本語教育演習II	724	佐田	教職実践演習II	522	柳田							
Tuesday	1	桜花学 世界を知 異文化理解 グローバル社会と宗 日本の文化	111 131 722	加藤あ 笹生 布和	Writing for Communication II	112	Jackson	日本語表現 II	221	鬼頭	海外語学実習 I (英語圏) 海外語学実習 I (韓国語) 海外語学実習 I (中国語)	131 133 112	Clarke/Kiyokawa 都 布和	教育原理	723	首藤
	2	韓国語リーディング&ライテ ィング	112	金三淑	日本語表現IV	332	鬼頭	Communicative English II	123	Kiyokawa Jackson	Advanced Writing II	321	Jackson	韓国留学準備講座B 生徒・進路指導論 中国語リスニング& スピーキング	112 113 122	都 澤田 布和
	3	観光政策論	312	柳原	American Literature	113	小林	キャリアデザインII	112	根尾	British Literature	724	井川	特別活動・総合的な学 習の時間の指導法	123	澤田
	4			教育課程論	724	首藤										
Wednesday	1	English Phonetics II	724	柳田	Speaking II	122 133	Kiyokawa Clarke	韓国サブカルチャー	722	李正子	検定韓国語初級B 検定韓国語中級B 検定韓国語上級B	112 113 122	李正子 金昭健 金三淑			
	2	時事ニュース(外国)II	133	井川 布和 小越	基礎ゼミナールII	722 515	石渡 柳田									
	3	日本語教育法II	722	佐田	日中交流史	222	布和									
	4															
Thursday	1	Reading II	113 112	Clarke Jackson	桜花学 社会を知 生活と経済 地域社会 人間と歴史 情報リテラシーII	511 222 524 112	茶谷 嶋守 小久保 高谷	スポーツ健康論	222	寺田(恭)	基礎演習II	515 504 501	小林 井川			
	2	観光と文化 日本語教育概論I	530 53H	根尾 佐田	情報ゼミナールII	112	高谷	楽しい古典芸能	121	三苦	旅行産業論 日本国憲法	112 121	笹生 早野			
	3	地域ブランディング論	522	笹生	専門ゼミナールII	53C 113 53D 53G 53H 53I 53J 53K 122 123	小林 都 Clarke Kiyokawa 井川 笹生 根尾 柳田 石渡 布和	観光とソーシャルメディア	111	高谷	ビジネス韓国語 英語科教育法 IV	723 221	孫英愛 柳田			
	4							専門ゼミナールIV	53C 53E 53D 53G 53H 53I 53J 53K 134 135	小林 都 Clarke Kiyokawa 井川 笹生 根尾 柳田 石渡 布和						
Friday	1	Grammar for Communication II	122 123	柳田 小林	観光学概論 日本語概論 アニメーション論	133 53H 123	笹生 小出 西原	英語資格講座II A 英語資格講座II B 英語資格講座II C	113 323 322	柳田 小林 Jackson	韓国語表現文法 教職入門 観光英語B	323 113 522	金三淑 石渡 井川	学習心理学	723	木村
	2	観光と社会 日英語比較II	113 311	笹生 大西	日韓対照言語学	113	都	イギリス文学入門 ビジネス環境とマーケ ティング	530 121	井川 天池	韓国語プレゼンテー ション	322	都	英語科教育法 II Study Abroad PreparationB	724 722	石渡 Kiyokawa
	3	韓国伝統文化と思想	112	李孝心	応用言語学	122	村木	International Relations	133	Clarke	観光マーケティング 教育行政・制度論	111 121	笹生 小柳			
	4															

学外研修・集中講義等

- 1年次 海外語学実習I(英語圏)、海外語学実習I(韓国語)、海外語学実習I(中国語圏)、インターンシップ(海外)A・B・C・D(Clarke)、ポランティア(国内)(笹生)、ポランティア(海外)(Kiyokawa・嶋守・田端)
- 1年次 海外語学実習II(英語圏)(井川・小林)、海外語学実習II(韓国語)(金三淑)、海外語学実習II(中国語圏)(布和)、観光インターンシップ(根尾)、韓国自由研究(都)
- 2年次 韓国インターンシップ(金三淑)、海外研修A・B(井川・布和・金三淑)、日本語教育ポランティアA(都)、日本語教育ポランティアB(都)、学校教育インターンシップ(石渡)
- 2年次 インターンシップ(国内)A・B(笹生)、インターンシップ(海外)A・B・C・D(Clarke)、ボランティア(国内)(笹生)、ポランティア(海外)(Kiyokawa・嶋守・田端)、海外英語資格実習(石渡)
- 3年次 コンテンツ制作(高谷)※集中
- 4年次 日本語教育実習II(佐田)、教育実習I(石渡)、教育実習II(石渡)、国内日本語教育インターンシップ(都)、海外日本語教育インターンシップA(都)、海外日本語教育インターンシップB(都)、卒業研究

前期 桜花学園大学保育学部 授業時間割 保育学科ABCクラス・国際教養こども学科6クラス

Table with columns for Day (曜日), Year (学年), Class (クラス), and 5 periods (1限 to 5限). It details the schedule for various subjects like '保育内容総論', '発達心理学', '児童と健康', etc., across different semesters and classes.

【集中講義科目】 (保育学科) 4年「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」・「教育実習Ⅳ」・「教育実習Ⅴ」 3年「⑧医療保育Ⅱ」日程調整中 「病児の心理・生理・病理」初回対面4/11(火) 2限 522教室、2回～9回オンデマンド、10回～15回は集中講義：8/8(火) 1～3限、8/9(水) 1～3限 522教室 「保育実習Ⅰ(保育所)」 「肢体不自由児の心理・生理・病理」7/29(土)1～4限、8/12(土)1～4限 311教室 2年「子ども家庭福祉Ⅱ」8/24(木)1～4限 8/25(金)1～4限 524教室 1年「社会福祉Ⅱ」8/8(火)1～4限 8/10(木)1～4限 8/21(月)1～4限 8/22(火)1～4限 524教室 (国際教養こども学科) 1年「社会福祉Ⅱ」8/8(火)1～4限 8/10(木)1～4限 8/21(月)1～4限 8/22(火)1～4限 524教室

後期 桜花学園大学保育学部 授業時間割 保育学科ABCクラス・国際教養こども学科Gクラス

Main table containing course schedules with columns for semester, year, class, and course details. The table is organized into five sections (1限 to 5限) and includes various course titles, credits, and instructors.

集中講義科目 (保育学科)
1年「教育実習Ⅰ」
2年「医療保育Ⅰ」
3年「教育実習Ⅲ」
4年「卒業」

名古屋短期大学 前期 授業時間割

保 育 科

資料14

曜	クラス	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	
月	A						
	B	教育原理 小柳 5 2 4	ポルトガル語Ⅰ(Ⅱ) 英語 新谷 5 2 2 英語 野村 5 2 3 英語 コウラ 5 3 1 3	高松 5 1 1 中田 5 1 1 種 3 2 2			
	C						
	D						
	E	ポルトガル語Ⅰ(Ⅱ) 英語 新谷 5 2 2 英語 野村 5 2 3 英語 コウラ 5 3 1 3	高松 5 1 1 中田 5 1 1 種 3 2 2	教育原理 小柳 5 2 4	情報処理演習Ⅰ (全15回遠隔授業)	上原研究室	
	F						
火	A	保育の音楽Ⅰ		情報処理演習Ⅰ (全15回遠隔授業)	上原研究室		
	B		子ども家庭福祉 新沼 8 3 2				
	C	子ども造形表現Ⅰ 高野 6 3 1 浅野 1 4 1					
	D		子ども造形表現Ⅰ 高野 6 3 1 浅野 1 4 1		スポーツ		
	E	子ども家庭福祉 新沼 8 3 2					
	F		保育の音楽Ⅰ		スポーツ		
水	A		保育基礎演習Ⅰ ※合同のみ524				
	B	教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	山下 2 3 1 杉山 2 3 2	新沼 2 3 3 高野 2 3 4			
	C		高須 6 1 1 近藤 6 2 1	小川 2 3 5 鬼頭 2 3 6			
	D	鬼頭 高野 5 2 4	高野 6 3 1 上原 5 1 3	小柳 2 3 7 太田 2 3 8			
	E						
	F						
木	A			子ども造形表現Ⅰ 高田 6 3 1 浅野 1 4 1	子ども造形表現Ⅰ 高田 6 3 1 浅野 1 4 1		
	B	保育者論 青山 5 2 4	子どもの保健 亀山 2 2 2	保育原理 吉見 1 1 1			
	C			保育の音楽Ⅰ			
	D			保育の音楽Ⅰ			
	E	子どもの保健 亀山 2 2 2	保育者論 青山 5 2 4	保育原理 吉見 1 1 1			
	F			子ども造形表現Ⅰ 高田 6 3 1 浅野 1 4 1			
金	A	日本語表現 太田 8 2 1		⑧スポーツ健康 論 山下 8 2 1	⑧特別支援教育 論 山下 8 2 1	保育の心理学 小川 2 2 2	
	B	日本語表現 浅岡 7 2 2	社会的養護Ⅰ 川上 1 2 1				
	C	日本語表現 大竹 7 2 5					
	D		日本語表現 太田 8 2 1				
	E	社会的養護Ⅰ 川上 1 2 1	日本語表現 浅岡 7 2 2	保育の心理学 小川 2 2 2	⑧スポーツ健康 論 山下 8 2 1	⑧特別支援教育 論 山下 8 2 1	
	F		日本語表現 大竹 7 2 5				
土							
集中	教育実習Ⅰ(付幼)	★私たちの地球について考え(8~11月集中履修) 八幡 ★保育の今日的課題(特別支援教育の理論と方法)(8・9月集中履修) 山下直	★A B Cクラス【⑧特別支援教育論】 ※履修登録のみ	★D E Fクラス【⑧特別支援教育論】 ※履修登録のみ			

曜	クラス	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	
月	A			子どもと健康Ⅰ 横山 1 2 1 【⑧生活と表現】 高須・高野 6 1 1/6 3 1		⑧生活と表現 高須・高野 6 1 1/6 3 1	
	B	⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1	食育 八幡 7 2 1	社会福祉 新沼 8 3 2	⑧乳児保育Ⅱ 吉田 1 1 2	⑧生活と表現 高須・高野 6 1 1/6 3 1	
	C				⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1	⑧生活と表現 高須・高野 6 1 1/6 3 1	
	D		⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1			⑧乳児保育Ⅱ 吉田 1 1 2	
	E	社会福祉 新沼 8 3 2	⑧乳児保育Ⅱ 吉田 1 1 2	⑧生活と表現 高須・高野 6 1 1/6 3 1	食育 八幡 7 2 1	⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1	
	F					子どもと健康Ⅰ 横山 1 2 1 【⑧生活と表現】 高須・高野 6 1 1/6 3 1	
火	A	⑧子どもと音楽 吉見 8 2 3	⑧生活と音楽 吉見 8 2 3	⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1	⑧乳児保育Ⅱ 鬼頭 9 2 1	保育実践演習Ⅰ ※合同のみ524	
	B	⑧子どもと音楽 杉山 7 2 3	⑧生活と音楽 杉山 7 2 3	障害児保育 亀山 7 2 2	子ども家庭支援の心理学 小川 2 2 2	山下 2 3 1 杉山 2 3 2 高野 2 3 3 高須 2 3 4	
	C	障害児保育 山下直 1 1 1	⑧子どもと音楽 太田 7 2 4	⑧生活と音楽 太田 7 2 4		小川 2 2 2	高須 6 1 1 近藤 6 2 1 小川 2 3 5 鬼頭 2 3 6
	D	障害児保育 亀山 7 2 2			⑧乳児保育Ⅱ 鬼頭 3 2 1		高野 6 3 1 上原 5 1 3 小柳 2 3 7 太田 2 3 8
	E	⑧子どもと音楽 太田 7 2 4	⑧生活と音楽 太田 7 2 4	子ども家庭支援の心理学 小川 2 2 2	障害児保育 亀山 7 2 2		吉見 1 1 3 平野 5 1 4 吉田 5 1 5 八幡 5 1 6
	F	⑧子どもと表現 高須・高野 6 3 1	⑧乳児保育Ⅱ 鬼頭 3 2 1		⑧子どもと音楽 杉山 7 2 3	⑧生活と音楽 杉山 7 2 3	
水	A						
	B						
	C						
	D						
	E						
	F						
木	A	障害児保育 山下直 1 1 1			寛田 吉田 杉山 上原	教育実習ⅠB(事前・事後指導) 5 2 4 (ABC) 8 3 2 (DEF)	
	B	子どもと健康Ⅰ 渡部 3 2 1 【⑧生活と表現】 高須・高野 6 3 1		保育実習ⅠB(事前・事後指導) 5 2 4 (ABC) 8 3 2 (DEF)		吉田・高野他 5 2 4 (ABC) 8 3 2 (DEF)	
	C		子どもと音楽表現				
	D	⑧子どもと音楽 吉見 5 2 2	⑧生活と音楽 吉見 5 2 2	教育実習Ⅱ(事前・事後指導) 5 2 4 (ABC) 8 3 2 (DEF)	吉田・高野他	寛田 吉田 杉山 上原	
	E		子どもと健康Ⅰ 渡部 3 2 1 【⑧生活と表現】 高須・高野 6 3 1			保育実習ⅠB(事前・事後指導) 5 2 4 (ABC) 8 3 2 (DEF)	
	F	子どもと音楽表現	障害児保育 山下直 1 1 1				
金	A				子どもと音楽表現 ※3		
	B	幼児教育指導法 杉山 5 2 4				保育カリキュラム論 高野 5 2 4	
	C						
	D	子どもと健康Ⅰ 平野 3 2 1 【⑧生活と表現】 高須・高野 6 3 1				子どもと音楽表現 ※3	
	E		幼児教育指導法 杉山 5 2 4		保育カリキュラム論 高野 5 2 4		
	F						
土							
集中		★8領域履修の後半科目は集中で履修する(実履の授業は時間割通り) ★保育の今日的課題(特別支援教育の理論と方法)(8・9月集中履修) 山下直	★Aクラス【⑧生活と表現】【⑧生活と音楽】【⑧乳児保育Ⅱ】 ※履修登録のみ	★Bクラス【⑧生活と表現】【⑧生活と音楽】【⑧保育】 ※履修登録のみ	★Cクラス【⑧生活と表現】【⑧生活と音楽】【⑧保育】 ※履修登録のみ	★Dクラス【⑧生活と表現】【⑧生活と音楽】【⑧乳児保育Ⅱ】 ※履修登録のみ	

名古屋短期大学 後期 授業時間割

保 育 科

資料14

曜	クラス	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	
月	A	南 3 3 1	保育の英語 新谷 5 2 2 村木 5 2 3 コヱワ桂 3 2 3	ポルトガル語Ⅱ(概 釈) 富松 5 1 1 中国語Ⅱ 輪 1 2 1	教養数学 上原 7 2 1	子ども家庭 支援論 新沼 5 2 4	
	B	情報処理演習Ⅱ 上原 3 3 3					
	C						
	D		南 3 3 1				
	E	保育の英語 新谷 5 2 2 村木 5 2 3 コヱワ桂 3 2 3	情報処理演習Ⅱ 上原 3 3 3	子ども家庭 支援論 新沼 5 2 4	教養数学 上原 7 2 1		
	F						
火	A	保育の音楽Ⅱ	保育内容総論 吉田 2 1 1			スポーツ	
	B						
	C	子どもと造 形表現Ⅱ 高野 6 3 1 浅野 1 4 1	保育内容総論 高田 2 1 2	スポーツ			
	D	保育内容総論 高田 2 1 2	子どもと造 形表現Ⅱ 高野 6 3 1 浅野 1 4 1				
	E						
	F		保育の音楽Ⅱ				
水	A		保育基礎演習Ⅱ ※合同のみ524				
	B	保育実習ⅠA(事前・事後指導)	山下 2 3 1 新沼 2 3 8 杉山 2 3 2 上原 5 1 3				
	C		高須 6 1 1 小川繪 2 3 3 近藤 6 2 1 鬼頭 2 3 4				
	D	新沼 山下 八幡 5 2 4	高野 6 3 1 小柳 2 3 5 高田 2 3 7 太田 2 3 6				
	E						
	F						
木	A		⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1	⑨子どもの健康と安全 中島 7 1 2	子どもと造 形表現Ⅱ 高田 6 3 1 浅野 1 4 1		
	B	保育内容総論 吉田 2 2 1	⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1	⑩幼児理解の理論と 方法 小川繪 2 1 1			
	C	⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1	⑨子どもの健康と安全 中島 7 1 2 2 2 2	⑩幼児理解の理論と 方法 小川繪 2 1 1	保育の音楽Ⅱ		
	D	⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1			⑨子どもの健康と安全 中島 7 1 2	⑩幼児理解の理論と 方法 小川繪 2 1 1	
	E		保育内容総論 高田 2 2 1		⑨子どもの健康と安全 中島 7 1 2	⑩幼児理解の理論と 方法 小川繪 2 1 1	
	F			⑨子どもの健康と安全 中島 7 1 2	子どもと造 形表現Ⅱ 高田 6 3 1 浅野 1 4 1	保育内容総論 吉田 2 1 1	
金	A		⑩幼児理解の理論と 方法 高田 7 1 2				
	B	日本国憲法 綾部 2 2 2		乳児保育Ⅰ 高田 5 2 4	異文化研究 鬼頭 2 1 2		
	C						
	D						
	E	⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1	日本国憲法 綾部 2 2 2	異文化研究 鬼頭 2 1 2	乳児保育Ⅰ 高田 5 2 4		
	F	⑩幼児理解の理論と 方法 高田 7 1 2	⑧社会的養護Ⅱ 川上 1 3 1				
土							
集中		☆Cクラス【社会的養護Ⅱ】 履修登録のみ	☆Cクラス【幼児理解の理論 と方法】 履修登録のみ	☆Bクラス【子どもの健康と 安全】 履修登録のみ	☆Dクラス【幼児理解の理論 と方法】 履修登録のみ	↑履修士資格取得者は全員履修 ★保育実習Ⅰ(児童福祉指導)	
		☆Fクラス【社会的養護Ⅱ】 履修登録のみ	☆Dクラス【児童実習Ⅱ】 履修登録のみ	☆Fクラス【子どもの健康と 安全】 履修登録のみ			

曜	クラス	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	
月	A		⑨子どもと健康 Ⅱ 渡部 2 2 2		音楽劇 高須 6 1 1 高野 6 3 1	⑩子どもと環 境 補 3 2 1	
	B					⑩生活と環 境 補 3 2 1	
	C	海外の保育 と英語 内田 5 2 4				生活と健康 横山 体育館 保健学科 グラウンド	
	D			⑨子どもと健康 Ⅱ 渡部 2 2 2	生活と健康 横山 体育館 保健学科 グラウンド		
	E				⑩子どもと環 境 補 3 2 1	音楽劇 高須 6 1 1 高野 6 3 1	
	F						
火	A			保育・教職実践演習(幼稚園)	保育実践演習Ⅱ ※合同のみ524		
	B	児童文化 杉山 5 1 3 太田 2 2 2 緑川 2 2 1	教育関係法規 小柳 5 2 4	山下 2 3 1 吉見 1 1 3 上原 5 1 3 吉田 2 3 2	山下 2 3 1 吉見 1 1 3 吉田 2 3 2 上原 5 1 3		
	C			近藤 6 2 1 小川繪 2 3 3 高野 6 3 1 杉山 2 3 4	近藤 6 2 1 小川繪 2 3 3 高野 6 3 1 杉山 2 3 4		
	D			高須 6 1 1 小柳 2 3 5 新沼 5 1 4 太田 2 3 6	高須 6 1 1 小柳 2 3 5 新沼 5 1 4 太田 2 3 6		
	E	教育関係法規 小柳 5 2 4	児童文化 杉山 5 1 3 太田 2 2 2 緑川 2 2 1	八幡 5 1 5 高田 2 3 7 平野 5 1 6 鬼頭 2 3 8	八幡 5 1 5 高田 2 3 7 平野 5 1 6 鬼頭 2 3 8		
	F						
水	A						
	B	保育実習Ⅱ(事前・事後指導)					
	C						
	D		高田 吉田 杉山 上原 8 3 2				
	E						
	F						
木	A		⑩幼児教育相談 岡本 1 1 1	⑩子どもと環 境 上原 7 2 1	⑩生活と環 境 上原 7 2 1	子どもの食と栄養 八幡 7 1 1	
	B	生活と健康 平野 体育館 2 1 2 グラウンド		⑩幼児教育相談 岡本 1 1 1		子どもの食と栄養 八幡 7 1 1	
	C	子どもの食と栄養 八幡 7 1 1			⑩子どもと環 境 鬼頭 5 1 3	⑩生活と環 境 鬼頭 5 1 3	
	D		子どもの食と栄養 八幡 7 1 1		⑩幼児教育相談 山下 2 1 2	⑩子どもと環 境 鬼頭 5 1 3	
	E		生活と健康 平野 体育館 2 1 2 グラウンド	⑩幼児教育相談 山下 2 1 2			
	F	⑩子どもと環 境 上原 7 2 1	⑩生活と環 境 上原 7 2 1	⑩幼児教育相談 山下 2 1 1			
金	A		生活と健康 平野 体育館 2 1 2 グラウンド	⑩子どもと環 境 山下 2 1 2	⑩生活と人間 関係 高田 7 1 2	⑩生活と人間 関係 高田 7 1 2	
	B				⑩子どもと人間 関係 高田 5 1 1	⑩生活と人間 関係 高田 5 1 1	
	C	⑩子どもと人間 関係 高田 5 1 1	⑩生活と人間 関係 高田 5 1 1				
	D					⑩子どもと人間 関係 高田 5 1 1	
	E		⑩子どもと人間 関係 高田 5 1 1	⑩生活と人間 関係 高田 5 1 2	子どもの食と栄養 八幡 7 1 1		
	F	生活と健康 平野 体育館 5 2 2 グラウンド	⑩子どもと環 境 高田 5 1 1	⑩生活と人間 関係 高田 5 1 1		子どもの食と栄養 八幡 7 1 1	
土							
集中		保育実習Ⅱ(保育所)	教育実習Ⅱ	☆D/Fクラス【子どもと健康 Ⅱ】 履修登録のみ	☆Bクラス【生活と環 境】 履修登録のみ	☆Cクラス【生活と環 境】 履修登録のみ	
		☆Aクラス【生活と環 境】 【幼児教育相談】 【生活と人 間関係】	☆Dクラス【生活と環 境】 【生活と人 間関係】 履修登録 のみ	☆Cクラス【生活と環 境】 【幼児教育相談】 【生活と人 間関係】	☆Cクラス【生活と環 境】 履修登録のみ	☆Dクラス【生活と環 境】 【幼児教 育相談】	

名古屋短期大学 前期 授業時間割

曜日	1年				
	1限	2限	3限	4限	5限
月	中国語 I 梁紅 332 韓国語 I 金(三) 323	スポーツ I 区選 (テニス・卓球) 奥村 テニスコート 小体育館 (バレーボール・バドミントン) 三浦(真) 体育館	Intensive English I S. クラーク 332 サカキバラ 322 セルヴァンド 323	エアライン・ホスピタリティ I 近藤 725	
	スポーツ I 区選 (テニス・卓球) 奥村 テニスコート 小体育館 (バレーボール・バドミントン) 三浦(真) 体育館				
火	教育心理学 矢澤 312	Communication Skills I 若松 312 三輪 323 三浦(紀) 322	地域研究 I (アメリカ) 区選 塚本 311	English in Action I [A] S. クラーク 332 [B] 三輪 323 [E] 大塚、塚本 312	道徳教育の指導法 澤田 312
水	Intensive English II S. クラーク 332 シマ 322 ランズベリー 312 センガ 323	外国語教育論 大塚 822	教育方法論(ICT活用含む) 首藤 312		
木	日本国憲法 綾部 822	English in Action I [A] S. クラーク 332 [B] 三輪 323 [E] 大塚、塚本 312	パソコン演習 I 佐久間 521	教職・教育課程論 大塚 312	
金	Intensive English III サブリ 332 シマ 322 セルヴァンド 323	異文化研究 若松 823	秘書概論 本田(聡) 722	日本語表現 I 浅岡 332 藤森 322	
土			特別支援基礎論 区選 長崎 【集中講義】		

英語コミュニケーション学科

資料14

曜日	2年				
	1限	2限	3限	4限	5限
月	ツーリズム概論 辻 112	国際関係論 I 塚本 332	地域研究 III (ヨーロッパ) 区選 生井 111	Advanced English I S. クラーク 332 サカキバラ 322 セルヴァンド 323	
火	イギリス文学 井川 822	日英語比較 I 大西 822	Advanced English II 若松 312 三輪 323 福本 322 シマ 332	秘書実務 加藤 322	
水	コミュニケーション論 福島 722	Advanced English III S. クラーク 332 シマ 322 ランズベリー 312 センガ 323			
木	Communication Skills III 若松 312 山田 332 大塚 323 福本 322	女性と労働 区選 伊藤 721 地域研究 II (日本) 梅木 333	英語専門演習 大西 322 塚本 332 福本 323 若松 312	英語音声学 I 福本 323	教育実習(事前・事後指導) 大塚 312
金	英語学 II 福本 823 早期英語教育法 区選 ブロードビー 312	Advanced English IV サブリ 332 シマ 322 セルヴァンド 323 ブロードビー 312	Communication Skills IV 三輪 323 山田 332 三浦(紀) 322 サブリ 312	アメリカ文学 三輪 323	

名古屋短期大学 後期 授業時間割

曜日	1年				
	1限	2限	3限	4限	5限
月	中国語Ⅱ 梁紅 313 韓国語Ⅱ 金(三) 332	スポーツⅡ 伊藤 小体育館	Intensive English IV S. クラーク 323 サカキバラ 322 セルヴァンド 332	教育行政・制度論 小柳 311	
	スポーツⅡ 伊藤 小体育館	スペイン語Ⅱ ロンセロス 313			
火	観光と地理 根尾 313	Communication Skills II 若松 331 三輪 312 福本 322	事務管理 加藤 121	English in Action II [A] S. クラーク 322 [B] 三輪 313	英語科教育法 大塚 312
水	Intensive English V S. クラーク 322 シマ 332 ランズベリー 313	ライフデザイン 佐藤 212	国際社会と女性 金(相) 312		エアライン・ホスピタリティⅡ 近藤 722 【集中講義】※日程未定
木	教育相談 石井 514	English in Action II [A] S. クラーク 322 [B] 三輪 313	スポーツ・健康論 寺田 222	パソコン演習Ⅱ 佐久間 521	海外英語実習(事前指導) 大塚 313 塚本 312
金	Intensive English VI サブリ 323 シマ 313 セルヴァンド 332	教育原理 梅本 514	英語学Ⅰ 大西 332	日本語表現Ⅱ 藤森 112	

英語コミュニケーション学科

資料14

曜日	2年				
	1限	2限	3限	4限	5限
月	地域研究Ⅴ(韓国) 都 723	国際関係Ⅱ 塚本 311	生徒・進路指導論 柴田 312	Advanced English V S. クラーク 323 サカキバラ 322 セルヴァンド 332	教職実践演習(中学校) 大塚・矢澤 312 (1回目 月曜5限 2~7回目 火曜5限 8~15回目 月曜5限)
火	秘書実務 加藤 323	日英語比較Ⅱ 大西 323	Advanced English VI 若松 332 三輪 323 福本 322 シマ 313	特別活動・総合的な学習の 時間の指導法 澤田 312	
水	地域研究Ⅳ(イギリス) 井川 723	Advanced English VII S. クラーク 322 シマ 313 ランズベリー 332 センガ 312			
木	Communication Skills V 若松 323 福本 322 大塚 313	外国の文学 金(三) 332	英語専門演習 大西 312 塚本 332 福本 313 若松 322	卒業研究 大西 312 塚本 332 福本 313 若松 322	
金	早期英語教材研究 312	Advanced English VIII サブリ 323 シマ 313 セルヴァンド 332 ブロードビー 312	Communication Skills VI 三輪 313 山田 312 福本 516 サブリ 514	英語音声学Ⅱ 福本 312	国際経済論 茶谷 321

限 目	1 年 生					2 年 生					
	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目	
月	A	ポルトガル語とブラジル文化ⅠA 富松 511 韓国語と韓国文化ⅠA 金(昭) 823	中国語と中国文化ⅠA 韓丹 322 みんなのスポーツA バドミントン&バレーボール 三浦 体育館 テニス&卓球 奥村 テニスコート・小体育館	英会話ⅠA サブリ 122	コンピュータ演習A 南 331 岩佐 521		英会話ⅡA サブリ 722	フードデザイン 井寺 711	Kカルチャー論 李 724	ポルトガル語とブラジル文化ⅡA 竹内 724	
	B	中国語と中国文化ⅠA 韓丹 322 みんなのスポーツA バドミントン&バレーボール 三浦 体育館 テニス&卓球 奥村 テニスコート・小体育館	ポルトガル語とブラジル文化ⅠA 富松 511 韓国語と韓国文化ⅠA 金(昭) 823	Kカルチャー論 李 724				韓国語と韓国文化ⅡA 李 725			
火	A	コンピュータ・ネットワーク 木下 521	コミュニケーションの心理 矢澤 823	日本語表現A 小出 図書館多目的	秘書概論 吉田 522	海外研修 高谷	福祉スポーツ 寺田 311	秘書実務 吉田 723	事務管理 加藤 723	SNSとコミュニケーション 高谷 723	
	B			秘書概論 吉田 522	日本語表現A 小出 図書館多目的						
水	A	キャリアデザインⅠ 全教員 721	教養演習Ⅰ 小出 茶谷 511 綾部 山下 53D 高谷 122 辻 721	ダンス 本吉 小体育館			Excelプログラミング 木下 521	中国語と中国文化ⅡA 布和 514			
	B							心理学 矢澤 724			
木	A	ボランティア論 小木曾 722	ポピュラーカルチャー論 梶川 723	英語と英米文化ⅠA 樋田 724	簿記A 杉原 723	国内研修 茶谷	生活と医療 山下 721	女性と労働 伊藤 721	教養演習Ⅱ 小出 231 高谷 232 茶谷 233 辻(広) 234 矢澤 235 山下 236	卒業研究 小出 231 高谷 232 茶谷 233 辻(広) 234 矢澤 235 山下 236	
	B		環境の科学 辻(広) 822			NPOインターンシップA 綾部		英語と英米文化ⅡA 高橋(紗) 331			
金	A	身体と表現 鏡味 621	法学 綾部 図書館多目的	経済学 茶谷 321	医療実務A 塚本 511		国際社会と日本 榎井 723	ウェブデザイン 岩佐 521	プログラミング演習 高谷 521		
	B	野外活動論 山下 311	データサイエンス入門 茶谷 523						エコライフ実習 辻(広) 513		

【集中講義】※ 障がいの理解と支援（集中講義）1年科目（綾部）

※ Excel演習（集中講義）1年科目（岩佐、鈴木）

岩佐（333教室 8/21(月)1～3限、8/22(火)1～4限、8/23(水)1～3限、8/24(木)1～4限、8/25(金)予備日、8/26(土)MOS検定日）
鈴木（333教室 8/28(月)1～4限、8/29(火)1～3限、8/30(水)1～3限、8/31(木)1～4限、9/1(金)予備日、9/2(土)MOS検定日）
鈴木（333教室 9/4(月)1～4限、9/5(火)1～3限、9/6(水)1～3限、9/7(木)1～4限、9/8(金)予備日、9/9(土)MOS検定日）

※ CAD演習（集中講義）1年科目（町田）

8/28(月)1～4限、8/29(火)1～4限、8/31(木)2～4限、9/1(金)1～4限 521教室

※ インターンシップS/L（企業・ホテル・病院）（集中講義）

※ 韓国研修S

※ キャリア支援は別表記

限 定 日	1 年 生					2 年 生					
	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目	1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目	
月	A	ポルトガル語とブラジル文化 I B 富松 511 韓国語と韓国文化 I B 金(昭) 図書館多目的	中国語と中国文化 I B 韓 丹 516 みんなのスポーツB 伊藤 小体育館	英会話 I B サブリ 122	コンピュータ演習B 岩佐 521 鈴木 331	海外研修 高谷	韓国社会論 都 723	英会話 II B サブリ 723	韓国語と韓国文化 II B 李 725	ポルトガル語とブラジル文化 II B 竹内 724	
	B	中国語と中国文化 I B 韓 丹 516 みんなのスポーツB 伊藤 小体育館	ポルトガル語とブラジル文化 I B 富松 511 韓国語と韓国文化 I B 金(昭) 図書館多目的								
火	A	ITサポート入門 木下 521	心理検査法 矢澤 133	ビジネスマナー 吉田 722	日本語表現B 小出 522		社会福祉概論 横井 724	秘書実務 吉田 122	人間関係と恋愛の心理 矢澤 321	日本の文学 鶴田 121	
	B		食生活と健康づくり 辻(広) 522	日本語表現B 小出 522	ビジネスマナー 吉田 722					中国語と中国文化 II B 布 和 123	
水	A	キャリアデザイン I 全教員 721	教養演習 I 721 小出・茶谷 53F 横部 山下 53D 高谷 516 辻 721				応用Excelプログラミング 木下 521	キャリアデザイン II 全教員 511			
	B										
木	A	マーケティング 清水 523	現代の経営 清水 514	英語と英米文化 I B 樋田 514	簿記B 杉原 523	国内研修 茶谷	ソートリズムと地理 根尾 722	企業と会計 久世 323	教養演習 II 小出 231 高谷 232 茶谷 233 辻(広) 234 矢澤 235 山下 236	卒業研究 小出 231 高谷 232 茶谷 233 辻(広) 234 矢澤 235 山下 236	
	B		カウンセリング入門 矢澤 312		映像メディアの世界 溝淵 511	NPOインターンシップB 横部		英語と英米文化 II B 高橋(妙) 331			
金	A	人間と健康 山下 723	現代の文化 梶川 724	国際経済入門 茶谷 321	医療実務B 塚本 722	プロジェクト研修 横部	デジタルデザイン 町田 331	いのちの科学 山下 723	芸術の世界 大竹 722		
	B		データベース演習 伊藤(宏) 333								

【集中講義】 ※ 動画コンテンツ制作（集中講義）1年科目（高谷）

※ ビジネスExcel実践（集中講義）1年科目（木下）

※ キャリア支援は別表記

専攻科保育専攻

資料14

前期		1 年				
		1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
月	国内 留学	乳児保育特論 鬼頭 8 2 1		☆保育研究法Ⅰ 小柳 8 2 2	情報処理特演 上原 3 3 3	
火	国内 留学	障害児福祉特論 川上 5 2 3	専攻科基礎演習Ⅰ 小柳、八幡 7 2 1	保育の理論と実践Ⅰ 吉田 8 2 1		※論文指導の時間
水	国内 留学	☆保育特別実習 小川・高田	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	
		☆専攻科基礎演習Ⅰ 平野・新沼・(小林) 5 1 5	☆保育特別実習指導 平野・新沼・(小林) 5 1 5		☆海外英語研修 平野・新沼 5 1 5	
木	国内 留学	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	
金	国内 留学	☆保育特別実習指導 小川・高田 5 2 3	子育て支援特演 吉見 7 2 1			
				保育研究法Ⅰ 吉見 5 2 3		
集中	国内 留学	学修総まとめの基礎Ⅰ	☆保育特別実習 平野・新沼	☆海外保育研修 平野・新沼		

前期		2 年				
		1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
月	国内 留学	乳児保育特論 鬼頭 8 2 1	専攻科基礎演習Ⅱ 平野・(小林) 3 1 1	English for Children I Jackson 5 1 4	情報処理特演 上原 3 3 3	
火	国内 留学	障害児福祉特論 川上 5 2 3		保育の理論と実践Ⅰ 吉田 8 2 1		
水	国内 留学	⑧幼児体育A(特演Ⅰ)【桜園1年】(木村)体育館	⑧幼児音楽A(特演Ⅰ)【桜園1年】石山 6 1 2他 2年 001~016	⑧幼児音楽A(特演Ⅱ)【桜園1年】石山 6 1 2他 2年 017~030、12120011	保育特別実習指導 平野・新沼・(小林) 8 2 2	
木	国内 留学			女性とジェンダー 中村 7 2 2	⑧幼児と環境(特論)【桜園1年】 ダーリンブル 7 2 2	【桜花学同時開講】 文学の世界 太田 5 1 1
金	国内 留学	⑧幼児造形A(特演Ⅰ)【桜園1年】(田嶋)1 4 1	発達心理学(特論)【桜園1年】 小川 1 3 1	保育内容総論(特演)【桜園1年】 吉田 7 2 5	⑧幼児と音楽(特論)【桜園1年】 杉山 8 2 2	
集中	国内 留学	学修総まとめ	☆保育特別実習 平野・新沼			

後期		1 年				
		1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
月	国内 留学	☆保育特別実習指導 小川・高田 3 2 1		保育の理論と実践Ⅱ 近藤 8 3 1		
火	国内 留学	専攻科基礎演習Ⅱ 八幡・吉見 5 3 D				※論文指導の時間
		☆保育特別実習指導 平野・新沼(小林) 5 1 6				
水	国内 留学	☆保育特別実習 小川・高田	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	
		☆保育特別実習 平野・新沼	☆専攻科基礎演習Ⅱ 平野・新沼・(小林) 3 3 5			
木	国内 留学	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	保育特別実習	
		☆保育研究法Ⅱ 吉見 1 3 5			☆海外保育研修 平野・新沼・(小林)	
金	国内 留学	保育研究法Ⅱ 杉山 2 2 1		環境の科学 辻 2 2 1		
集中	国内 留学	学修総まとめの基礎Ⅱ				

後期		2 年				
		1 限	2 限	3 限	4 限	5 限
月	国内 留学		保育者特論【桜園1年】 ダーリンブル 3 2 1		English for Children II Jackson 2 2 2	
火	国内 留学		⑧幼児体育B(特演Ⅱ)【桜園1年】木村(滝)体育館		保育の理論と実践Ⅱ 近藤 8 3 1	
水	国内 留学		⑧幼児音楽B(特演Ⅱ)【桜園1年】石山 6 1 2他 2年 026~031、1年 003~024 希望学タイプ			
木	国内 留学		教育原理(特論)【桜園1年】 金子 5 1 6		保育内容指導法(環境)特演 【桜園1年】 ダーリンブル 5 2 3	
金	国内 留学	⑧幼児造形B(特演Ⅱ)【桜園1年】(田嶋)1 4 1	保育内容指導法(音楽)特演 【桜園1年】(太田) 2 2 1		環境の科学 辻 2 2 1	
集中	国内 留学	学修総まとめ				

前期 授業時間割【専攻科英語専攻】

資料14

1年				
	1限	2限	3限	4限
月		Writing & Presentation I サカキバラ 514	国際ボランティア論 古藪 53L	
火	Advanced English Practicum I 辻 53L	地域研究特論Ⅱ(アメリカ) 三輪 53L	英語特別研究Ⅰ 大西 53L	
水	日本史特論 小久保 53H	英語学特論 大西 53H		
木		応用言語学 大塚 53L	地域研究特論Ⅰ(日本) 梅木 53L	英語研究法 専任教員全員 53L
金	初等英語教育特論 <small>名英</small> フロードビー 332	Advanced Reading I ジュネジャ 515	日英対照言語学 大西 53L	

2年				
	1限	2限	3限	4限
月	Writing & Presentation II サカキバラ 828	地域研究特論Ⅳ (ヨーロッパ) 生井 828	国際関係特論 塚本 828	地域研究特論Ⅲ(イギリス) <small>桜英</small> 井川 522
火		地域研究特論Ⅴ(アジア) 小久保 828		
水				
木			Advanced English PracticumⅢ 大塚 828	
金		Advanced Reading II ジュネジャ 515	英語特別研究Ⅱ 大西 828	

後期 授業時間割【専攻科英語専攻】

1年				
	1限	2限	3限	4限
月		Writing & Presentation I サカキバラ 514	NGO・NPO論 古藪 514	
火	イギリス文学特論 <small>桜英</small> 井川 511	英語音声学特論 本田 53L	語用論と外国語学習 大西 53L	
水	英語特別研究Ⅰ 大西 53L	英語研究法 専任教員全員 53L		
木	ジェンダー研究特論 三輪 53L	日本文学特論 太田 53L		
金	アメリカ文学特論 三輪 53L	Advanced Reading I ジュネジャ 515	日英対照言語学 大西 53L	Advanced English PracticumⅡ スギウラ 53L

2年				
	1限	2限	3限	4限
月		Writing & Presentation II サカキバラ 515	国際関係特論 塚本 515	
火				
水				
木			Advanced English PracticumⅣ 三輪 53L	
金	初等英語教材研究特論 <small>名英</small> フロードビー 53K	Advanced Reading II ジュネジャ 53K		英語特別研究Ⅱ 大西 53K

前期 教室使用一覧

資料15

桜院:◆ 桜保:◎ 桜国:☆ 国際:◇ 名保:● 名英:■ 名現:▲ 専保:○ 専英:□

教室	人数	月					火					水					木					金					
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
0演1 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎						●	●	●	●					◎			0演1
0演2 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎						●	●	●	●					●	●		0演2
111 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	247			☆■			●		◎						●	●	●	☆●		◎	◎					111	
112 LCD,IWB(PJ),DVD,VHS	63	■	●	●	●				◇	◇			◇		◇	◇				◇	◎	◇				112	
113 LCD,IWB(PJ),DVD,VHS	56	◎	◎								●			◎	◎			◎☆	◎		◇	◎	◇			113	
121 PJ,OHC,BR,DVD	247	◎	◎☆	●	●		◎☆◇	◎☆◇	◎	◎☆					◎☆					◎	◎		●	●	◎	121	
122 LCD,IWB(PJ),BR,DVD,VHS	61		◇	▲			◇	◇					◇	▲				◎☆	◎		◇	◇	◇			122	
123 IWB(PJ),BR,DVD,VHS	61												◇	◇				◎☆	◎		◇	◇				123	
131 PJ,BR,DVD	216															◎☆◇					○		◎			131	
133 PJ,BR,DVD	63			◎☆◇	◎☆◇							◇	◇								◇					133	
134 LCD,DVD,VHS	20																									134	
135 LCD,DVD,VHS	24																									135	
141 図画工作室 PJ,OHC,DVD,VHS	54						●	●							☆		●	●		☆○						141	
211 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	120																									211	
212 PJ,OHC,DVD,VHS	221																									212	
221 PJ,LCD,IWB(PJ),OHC,DVD,VHS	79																									221	
222 PJ,TV,BR,DVD	272		◎☆◇					●	●						●	●							●	●		222	
230 LCD,DVD	12																									230	
231 IWB,BR,DVD	20													●			◇	▲	▲							231	
232 IWB,BR,DVD	20	◇												●			◇	▲	▲							232	
233 IWB,BR,DVD	20													●			◇	▲	▲				☆			233	
234 IWB,BR,DVD	20													●			◇	▲	▲				☆			234	
235 IWB,BR,DVD	20										◇			●			◇	▲	▲							235	
236 IWB,BR,DVD	20													●				▲	▲							236	
237 IWB,BR,DVD	20													●												237	
238 IWB,BR,DVD	20													●						☆						238	
311 PJ,IWB(PJ),BR,DVD	80	◎	○	☆			▲	◎	☆■	◎	◇	☆			◎	◎	☆	◇		▲	◎	☆	☆			311	
312 PJ,OHC,DVD	56	◎	◎	◇			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		312
313 PJ,LCD,IWB(PJ),OHC,DVD,VHS	49	●	●		◎☆						◇	◎	◎										◇			313	
321 PJ,LCD,OHC,DVD	180	◎					●	●	●						●	●				●	●	▲				321	
322 PJ,OHC,DVD	56	●▲	●▲	■	■		◇	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	◇		■	■	■	■	■	322	
323 PJ,BR,DVD	56	■	■	■	■		◇	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	323	
331 パソコン教室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50				▲				◎	◎							▲									331	
332 PJ,BR,DVD	56	■	■	■	■				■	■		■	■		■	■	■	◇		■	■	■	■	■	■	332	
333 パソコン教室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50				○		◎		◎	◎							■									333	
334 LCD,BR,DVD,VHS	17																									334	
335 LCD,OHC,DVD,VHS	20																									335	
511 PJ,OHC,BR,DVD	180	●▲	●▲		☆		☆	◎☆	◎	◇		◇	▲			◎◇	◎☆◇	◎	◎	◎☆◇	◎	◎☆	◎	▲		511	
512 栄養学実習室	50																									512	
513 環境科学実験室 PJ,BR,DVD	48																◎	◇					▲			513	
514 LCD,DVD,VHS	25		□	○	◇												◇	◇	◇		◇	◇	◇			514	
515 LCD,BR,DVD,VHS	24		◇	◎		◇							○	○				◇	◇		◇	□	☆	☆		515	
516 LCD,BR,DVD	34		◇	◎☆◇	◎☆◇											◎		◇	◇		◇	◇	◇	◇		516	
521 パソコン教室 OHC,BR,DVD,VHS	50	◇	◇		▲		▲		◎	☆	◇	▲	◇				■				▲	▲				521	
522 PJ,OHC,BR,DVD	84	●	●	◎	◇	◇	○	◎	▲	▲		◎	◎		◎	●	◎			☆	☆	◇	◇			522	
523 PJ,OHC,BR,DVD	96	●	●	◎☆◇	◎☆◇		○	☆	☆	◇		◎	◎		◎	◎				●	▲	○				523	
524 PJ,IWB(PJ),OHC,BR,DVD,VHS	326	●	●				◎☆◇	◎		●		●	●		●	●	●	●		●	●	●	●			524	
53C LCD,DVD,VHS	19							◇							◇	◇	◇									53C	
53D IWB	31	◇		◇	◇			◇	◇	◇			▲			◇	◇	◇								53D	
53E LCD,BR,DVD	17												◎				◇	◇								53E	
53F LCD,BR,DVD	16												◎				◇	◇								53F	
53G LCD,BR,DVD	17												◎				◇	◇								53G	
53H LCD,BR,DVD	16												□	□			◇	◇								53H	
53I LCD,BR,DVD	16												◎				◇	◇								53I	
53J LCD,BR,DVD	15												◎				◇	◇								53J	
53K LCD,BR,DVD	15												◎				◇	◇								53K	
53L LCD,BR,DVD	17			□			□	□	□			◎	◎				□	□	□	□			□			53L	
53M 院生研究室	15																									53M	
611 リズム室 PJ,BR,DVD,VHS	30		●	●	●		●	●		●		☆	●	◎	◎		●	●	●	●		◎	●	●		611	
612 ML教室	50						●	●				☆	○			●	●	●	●				●	●		612	
621 音楽室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50						●	●		●			●	◎	◎		●	●	●	●		▲		●	●	621	
622 音楽(講師控室)	10																					◎				622	
623 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		623	
624 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		624	
625 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		625	
626 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		626	
627 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		627	
628 音楽レッスン室	10						●	●				☆				●	●	●	●			◎	●	●		628	
631 図画工作室 PJ,IWB(PJ),DVD,VHS	50		●	●	●		●	●		●			●	◎	◎		●	●				◎	◎			631	
711 家庭科室 PJ,DVD,VHS	50		▲				◎☆◇	◎	◎☆			◎	◎				◎									711	
712 小児保健室 PJ,BR,DVD	50						◎☆◇	◎	◎☆																	712	
714 音楽レッスン室	10						●	●		◎							●	●					◎			714	
715 音楽レッスン室	10						●	●		◎						☆	●	●				◎	●	●		715	
716 音楽レッスン室	10						●	●		◎							●	●					◎	●	●	716	
717 音楽レッスン室	10						●	●		◎							●	●					◎	●	●	717	
718 音楽レッスン室	10						●	●		◎							●	●					◎	●	●	718	
721 PJ,LCD,BR,DVD	180	●	◎☆◇	●			◎	○	●		◎	▲	▲			▲	■▲	◎	◎		☆	○	◎	◎		721	
722 PJ,BR,DVD	90	▲	◎◇	◎☆◇	◎☆◇	◇	●	●	●	◎	◎	■	☆	◇		▲	◎	○	○	◎	●	●	■			722	
723 PJ,BR,DVD	90	◇	◎☆	○	◎◇	◇	●	▲	▲	▲		◎	◎	◇	◇	◇	▲	◎	▲		▲	☆	☆	◇		723	
724 PJ,OHC,BR,DVD	90	◇	☆	▲	▲		◎	◎	◎			☆	▲			◎	◎	▲	◇		◎	◇	☆	☆	◇	724	
725 PJ,LCD,OHC,BR,DVD	150		▲	☆	■	■	◎	◎☆◇	○		☆	◎	◎														

後期 教室使用一覧

桜院:◆ 桜保:◎ 桜国:☆ 国際:◇ 名保:● 名英:■ 名現:▲ 専保:○ 専英:□

資料15

教室	人数	月					火					水					木					金						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
0演1 音楽レッスン室	10						●	●										●	●					◎	◎			0演1
0演2 音楽レッスン室	10						●	●										●	●					◎	◎			0演2
111 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	247	◎	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎					●	●	◇	◇			◎	◎	◇	◇	111	
112 LCD,IWB(PJ),DVD,VHS	63	◇	◎	◇	◎		◇	◇	◇	◇	◎	◎					◇	◇	◎	◎			◇	◇	■	■	112	
113 LCD,IWB(PJ),DVD,VHS	56	◇	◇	◎	◎		◇	◇	●	●	◇	◇					◇	◇	◎	◎	◎	◎	◇	◇	◇	◇	113	
121 PJ,OHC,BR,DVD	247	●	●	◎	◎		◎	◎	■	▲		●	▲				●	●	◇	◇			◎	◎	◇	◇	121	
122 LCD,IWB(PJ),BR,DVD,VHS	61	☆	◇	▲				▲	◇	◇	◇	◇					◎	◇	◎	◎	◎	◎	◇	◇		■	122	
123 IWB(PJ),BR,DVD,VHS	61	◎	◎	▲				▲	◇	▲	◇	◎	◎				◎	◇	◎	◎	◎	◎	◇	◇	☆	◎	123	
131 PJ,BR,DVD	216			●	●		◎	◎	☆	☆	◇		●	☆			●	●	◎	◎	◎	◎	●	●	◎	◎	131	
133 PJ,BR,DVD	63	◎	◎	◎	◎			▲	◎	◇		◇	◇				◎		◎	◎	◎	◎	◇	◇	◇		133	
134 LCD,DVD,VHS	20											◎	◎						◇								134	
135 LCD,DVD,VHS	24											◎	◎						◇								135	
141 図画工作室 PJ,OHC,DVD,VHS	54						●	●				◎	◎				☆		●	●			☆	◎	◎	◎	141	
211 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	120	●	●	●	●		●	●	◇	◎		◇	◇				◎	●	●	●	●		◎	◎	◇	◎	211	
212 PJ,OHC,DVD,VHS	221	●	●	◎	◎	◎	●	●					■				●	●	●	●			☆	●	●	●	212	
221 PJ,LCD,IWB(PJ),OHC,DVD,VHS	79	●	●	●	●		●	●	◇			◎	◎				●	●	◎	◇			○	○	○	▲	221	
222 PJ,TV,BR,DVD	272		●	◎	◎		●	●			◎		●	◇				◎	◎	◎	◎		●	●			222	
230 LCD,DVD	12																		◇								230	
231 IWB,BR,DVD	20								●	●			●					◇	▲	▲							231	
232 IWB,BR,DVD	20								●	●			●	◇	◇			◇	▲	▲							232	
233 IWB,BR,DVD	20								●	●			●					◇	▲	▲							233	
234 IWB,BR,DVD	20				○				●	●			●					◇	▲	▲							234	
235 IWB,BR,DVD	20		◇						●	●			●				◎	◇	▲	▲							235	
236 IWB,BR,DVD	20			◇					●	●			◇	●				◇	▲	▲					☆		236	
237 IWB,BR,DVD	20								●	●			●					◇	▲	▲					☆		237	
238 IWB,BR,DVD	20			☆					●	●			☆	●				☆	◇	▲	▲				☆		238	
311 PJ,IWB(PJ),BR,DVD	80	◇	■	◇	◇	■	☆	■	◎	◎	◎	☆	☆				☆	◎	◎	◎		◇	☆	☆	☆		311	
312 PJ,OHC,DVD	56	●	●	◇	◇	■	◇	■	■	◇	■	■	■	■	■		■	▲	■	■	■	■	■	■	■	■		312
313 PJ,LCD,IWB(PJ),OHC,DVD,VHS	49	■	■	■	◎		■	○	■	■		■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	◎		313
321 PJ,LCD,OHC,DVD	180	○	○	●	●		◎	◎	▲	◇		◎	☆				◎	◎	◎	◎		●	●	■	▲		321	
322 PJ,OHC,DVD	56	●	●	■	■		◇	■	■	■		■	■				■	■	■	■		■	■	■	◇		322	
323 PJ,BR,DVD	56	●	●	■	■		■	■	■			■	■				■	▲	■	■		■	■	◇	◇		323	
331 パソコン教室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50	●	●	▲				■	◎	◎								▲				▲					331	
332 PJ,BR,DVD	56	■		■	■		■	◇	■			■	■				■	■	■	■		■	■	■			332	
333 パソコン教室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50	●	●						◎	◎													▲				333	
334 LCD,BR,DVD,VHS	17			■	■							■	■						■	■							334	
335 LCD,OHC,DVD,VHS	20												○														335	
511 PJ,OHC,BR,DVD	180	●	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	511
512 栄養学実習室	50						◇	□	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		512
513 環境科学実習室 PJ,BR,DVD	48						●	●	●	●		●					●	●	●	●							513	
514 LCD,DVD,VHS	25		□	□					●	●			●				■	▲	▲	◎			■	■			514	
515 LCD,BR,DVD,VHS	24		□	□			○		●	●			◇				◎		◇				□	☆	☆		515	
516 LCD,BR,DVD	34	▲	▲				○		●	●			▲				◎	○	▲	▲			■				516	
521 パソコン教室 OHC,BR,DVD,VHS	50		◇		▲		▲		☆	◎		▲								■							521	
522 PJ,OHC,BR,DVD	84	●	●	◇	◎	◎	○	▲	▲	▲		◎	◎				◇	○	◎	◎		●	●	●	◇		522	
523 PJ,OHC,BR,DVD	96	●	●	◎			◎	◎	▲	▲		◎	◎				▲	◎	◎	▲		◎	◎	○	☆		523	
524 PJ,IWB(PJ),OHC,BR,DVD,VHS	326	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●				◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		524
53C LCD,DVD,VHS	19											◎	◎					◇	◇	◎							53C	
53D IWB	31	◇					○	◇					▲				◇	◇	◇	◎			◇				53D	
53E LCD,BR,DVD	17											◎	◎					◎	◇	◎							53E	
53F LCD,BR,DVD	16											☆	▲						◇								53F	
53G LCD,BR,DVD	17			◎								◎	◎					◇	◇								53G	
53H LCD,BR,DVD	16											◎	◎				◇	◇	◇	◇			◇				53H	
53I LCD,BR,DVD	16											◎	◎					◇	◇								53I	
53J LCD,BR,DVD	15											◎	◎					◇	◇								53J	
53K LCD,BR,DVD	15											◎	◎					◇	◇			◎	□	□	□	□	53K	
53L LCD,BR,DVD	17			◎				□	□			□	□				□	□	□				□	□	□	□	53L	
53M 院生研究室	15																										53M	
611 リズム室 PJ,BR,DVD,VHS	30	◎	◎	◎	◎		●	●	●	●		☆	☆	●				●	●			◎		☆			611	
612 ML教室	50						●	●	◎	◎		☆	☆	○				●	●			◎					612	
621 音楽室 PJ,OHC,BR,DVD,VHS	50						●	●	●	●			●					●	●			◎	◎				621	
622 音楽(講師控室)	10								◎	◎												◎						622
623 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎		☆	☆					●	●			◎					623	
624 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎		☆	☆					●	●			◎					624	
625 音楽レッスン室	10								◎	◎		☆	☆					●	●			◎					625	
626 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎		☆	☆					●	●			◎					626	
627 音楽レッスン室	10								◎	◎		☆	☆									◎					627	
628 音楽レッスン室	10						●	●	◎	◎		☆	☆					●	●			◎					628	
631 図画工作室 PJ,IWB(PJ),DVD,VHS	50			●	●	○	●	●	●	●		●	☆	☆			◎	◎	●	●		◎	◎	◎	◎		631	
711 家庭科室 PJ,DVD,VHS	50								◎	◎		◎	◎				●	●	●	●			●	●	●	●		711
712 小児保健室 PJ,BR,DVD	50	◎	◎						◎	◎		◎	◎				●	●	●	●		●	●	●	●		712	
714 音楽レッスン室	10						●	●										●	●	●			◎	◎			714	
715 音楽レッスン室	10						●	●										●	●	☆			◎	◎			715	
716 音楽レッスン室	10						●	●										●	●				◎	◎			716	
717 音楽レッスン室	10						●	●										●	●				◎	◎			717	
718 音楽レッスン室	10						●	●										●	●				◎	◎			718	
721																												

国際学部国際学科に関わる継続購入中の学術雑誌一覧

和雑誌種 43 種

国際・情報分野関係 11 種

アジア経済
アジア遊学
アメリカ研究
アメリカ文学
エコノミスト
経済科学通信
研究中国
都市問題
日経グローバル
日経ソフトウェア
日経パソコン

日本語教育分野関係 7 種

英語教育
新英語教育
日本語学
日本語教育
日本語の研究
表現研究
Hir@gana times

韓国分野関係 5 種

韓流ぴあ
東方學
東洋史研究
NHK ラジオまいにちハングル講座
Hana=ハナ：韓国語学習ジャーナル

観光分野関係 6種

観光とまちづくり

世界

地方自治

トラベル・ジャーナル

月刊ホテル旅館

AIR STAGE

総合教養関係 14種

家族社会学研究

現代思想

国際女性

ジェンダー史学

史学雑誌

女性学

女性情報

女性展望

西洋美術研究

総合女性史研究

ユリイカ

理想

歴史学研究

歴史評論

洋雑誌 17種

国際・情報分野関係 6種

American Literature

Journal of Pragmatics

Nichigo Press

Review of English Studies

Signs: Journal of Women in Culture and Society

System

日本語教育分野関係 9種

Applied Linguistics

Journal of English Linguistics

Journal of Linguistics

Language

Linguistic Inquiry

Linguistics

Natural Language & Linguistic Theory

PMLA : Publications of the Modern Language Association of America

Studies in Language

総合教養関係 2種

Harvard Law Review

Human Rights Quarterly

学校法人 桜花学園 事務組織及び事務分掌規程

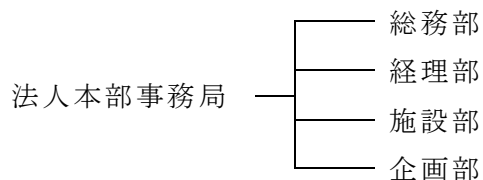
(趣 旨)

第1条 この規程は、学校法人桜花学園（以下「学園」という。）の事務組織及び事務分掌について必要な事項を定めるものとする。

第 1 章 事務組織

(法人本部)

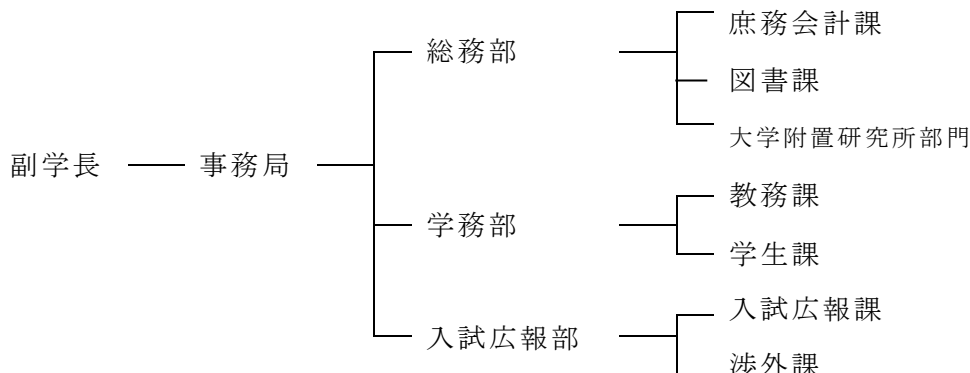
第2条 法人本部の事務組織は次のとおりとする。



- 2 副学園長を置き、副学園長は理事長の補佐をする。
- 3 法人本部事務局に事務局長を置き、事務局長は理事長及び副学園長の命を受け部を統轄する。
- 4 事務局には、必要に応じ次長を置くことができる。次長は、事務局長の補佐をする。
- 5 部に部長を置き、部長は事務局長の命を受け、部を統轄する。
- 6 部には、必要に応じ課長、係長及び主任を置くことができる。
- 7 その他、必要に応じ臨時に部又は室を置くことができる。

(桜花学園大学)

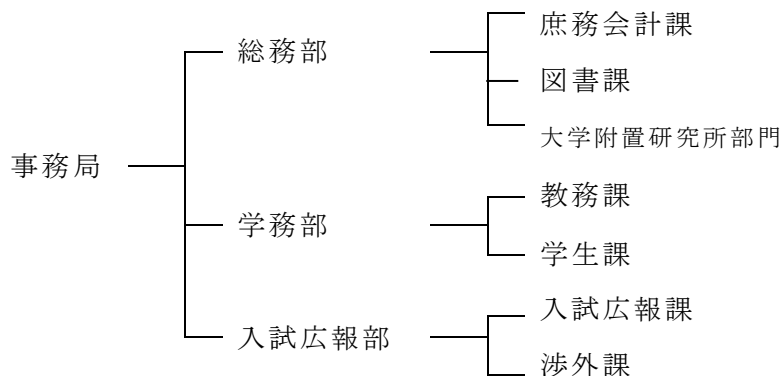
第3条 桜花学園大学の事務組織は次のとおりとする。



- 2 副学長を置き、副学長は学長の補佐をする。
- 3 事務局に事務局長を置き、事務局長は副学長の命を受け、部を統轄する。
- 4 事務局には、必要に応じ次長を置くことができる。次長は、事務局長の補佐をする。
- 5 部に部長を置き、部長は事務局長の命を受け、部を統轄する。
- 6 部には、必要に応じ次長を置くことができる。次長は、部長の補佐をする。
- 7 課に課長を置き、課長は部長の命を受け、課を統轄する。
- 8 課には、必要に応じ係長、主任を置くことができる。
- 9 その他、必要に応じ臨時に部等を置くことができる。

(名古屋短期大学)

第4条 名古屋短期大学の事務組織は次のとおりとする。



- 2 事務局に事務局長を置き、事務局長は部を統轄する。
- 3 事務局には、必要に応じ次長を置くことができる。次長は、事務局長の補佐をする。
- 4 部に部長を置き、部長は事務局長の命を受け、部を統轄する。
- 5 部には、必要に応じ次長をおくことができる。次長は、部長の補佐をする。

- 6 課に課長を置き、課長は部長の命を受け、課を統轄する。
- 7 課には、必要に応じ係長、主任を置くことができる。
- 8 その他、必要に応じ臨時に部等を置くことができる。

(桜花学園高等学校)

第5条 桜花学園高等学校の事務組織は次のとおりとする。

校 長 ─┬─ 事務室
 └─ 学監

- 2 学監を置き、学監は校長の補佐をする。
- 3 事務室に事務長を置き、事務長は校長の命を受け事務室を統轄する。
- 4 事務室には、必要に応じ、課長、係長、主任を置くことができるものとする。

(名古屋短期大学付属幼稚園)

第6条 名古屋短期大学付属幼稚園の事務組織は次のとおりとする。

園 長 ─── 事務室

- 2 事務室に課長を置き、課長は園長の命を受け事務室を統轄する。
- 3 事務室には、必要に応じ係長、主任を置くことができるものとする。

第2章 事務分掌

(法人本部)

第7条 法人本部事務局の事務分掌は次のとおりとする。

総務部の事務分掌

1. 文書、公印に関する事。
2. 教職員等の人事、給与、福利厚生に関する事。
3. 理事会、評議員会に関する事。
4. 補助金に関する事。
5. 日本私立学校振興・共済事業団に関する事。
6. 退職基金財団等に関する事。
7. 諸規程の制定、改廃に関する事。
8. 教職員組合に関する事。
9. 各部門との連絡調整に関する事。
10. 諸調査、統計、届出に関する事。
11. その他総務に関する事。

経理部の事務分掌

1. 予算、決算に関する事。
2. 資金の計画、調達、運営に関する事。
3. 有価証券の保管、管理に関する事。
4. 現金、預金の出納、保管、管理に関する事。
5. 関係帳簿の記帳整理、証憑書類の整理保管に関する事。
6. 借入金等に関する事。
7. 学費等の収納に関する事。
8. 諸調査、統計、届出に関する事。
9. その他経理に関する事。

施設部の事務分掌

1. 不動産及び重要財産の取得、処分、変更、維持等に関する事。
2. 土地、建物の登記、届出に関する事。
3. 施設、設備等の管理、賃貸に関する事。
4. 施設、設備等の新增築、改修、営繕に関する事。
5. 備品の購入及び維持、管理に関する事。
6. 固定資産台帳の整備、管理に関する事。
7. 諸調査、統計、届出に関する事。
8. その他施設に関する事。

企画部の事務分掌

1. 長期発展計画の調査企画に関すること。
2. 経営の現状分析と合理化に関すること。
3. 広報の編集と発行に関すること。
4. 行事、式典に関すること。
5. 学校の新設等に関すること。
6. その他企画に関すること。

(桜花学園大学)

第8条 桜花学園大学の事務分掌は次のとおりとする。

総務部庶務会計課の事務分掌

1. 学長印等の保管、管理に関すること。
2. 会議、行事、式典に関すること。
3. 教職員の勤務、出張、福利厚生等に関すること。
4. 文書の授受、配布、発送に関すること。
5. 諸規程の整理、保存に関すること。
6. 調査、統計に関すること。
7. 消耗品等の購入に関すること。
8. 施設、設備、備品等の管理に関すること。
9. 予算に関すること。
10. 現金の出納、保管に関すること。
11. 学費等の収納に関すること。
12. 関係帳簿の作成、保管に関すること。
13. その他庶務会計に関すること。

総務部図書課の事務分掌

1. 図書館資料の収集に関すること。
2. 図書館資料の目録、分類及び整備に関すること。
3. 図書資料の製本に関すること。
4. 図書資料の閲覧及び貸出しに関すること。
5. 図書館資料の保存、管理に関すること。
6. その他図書に関すること。

総務部大学附置研究所部門の事務分掌

1. 教育保育研究所に関する事。
2. 観光総合研究所に関する事。
3. E S Cに関する事。
4. その他研究所および地域交流の促進に関する事。

学務部教務課の事務分掌

1. 教育課程に関する事。
2. 時間割編成及び授業運営に関する事。
3. 試験及び履修単位に関する事。
4. 学籍簿及び成績簿に関する事。
5. 入学、退学、休学、復学及び卒業に関する事。
6. 聴講生に関する事。
7. 証明書類に関する事。
8. その他教務に関する事。

学務部学生課の事務分掌

1. 学生の厚生補導に関する事。
2. 学生の自治活動、課外活動に関する事。
3. 学生の相談、助言及び指導に関する事。
4. 学生の奨学金に関する事。
5. 学生の就職、アルバイトに関する事。
6. 就職関係資料の作成、管理及び保存に関する事。
7. その他学生に関する事。

入試広報部入試広報課の事務分掌

1. 学生募集に関する事。
2. 入学試験に関する事。
3. 広報資料の作成、管理及び保存に関する事。
4. その他広報に関する事。

入試広報部渉外課の事務分掌

1. 高校訪問に関する事。
2. その他渉外に関する事。

(名古屋短期大学)

第9条 名古屋短期大学の事務分掌は次のとおりとする。

総務部庶務会計課の事務分掌

1. 学長印等の保管、管理に関する事。
2. 会議、行事、式典に関する事。
3. 教職員の勤務、出張、福利厚生等に関する事。
4. 文書の授受、配布、発送に関する事。
5. 諸規程の整理、保存に関する事。
6. 調査、統計に関する事。
7. 消耗品等の購入に関する事。
8. 施設、設備、備品等の管理に関する事。
9. 予算に関する事。
10. 現金の出納、保管に関する事。
11. 学費等の収納に関する事。
12. 関係帳簿の作成、保管に関する事。
13. その他庶務会計に関する事。

総務部図書課の事務分掌

1. 図書館資料の収集に関する事。
2. 図書館資料の目録、分類及び整備に関する事。
3. 図書資料の製本に関する事。
4. 図書資料の閲覧及び貸出しに関する事。
5. 図書館資料の保存、管理に関する事。
6. その他図書に関する事。

総務部大学附置研究所部門の事務分掌

1. 保育子育て研究所に関する事。
2. その他研究所および地域交流の促進に関する事。

学務部教務課の事務分掌

1. 教育課程に関する事。
2. 時間割編成及び授業運営に関する事。
3. 試験及び履修単位に関する事。
4. 学籍簿及び成績簿に関する事。
5. 入学、退学、休学、復学及び卒業に関する事。
6. 聴講生に関する事。
7. 証明書類に関する事。
8. その他教務に関する事。

学務部学生課の事務分掌

1. 学生の厚生補導に関すること。
2. 学生の自治活動、課外活動に関すること。
3. 学生寮に関すること。
4. 学生の奨学金に関すること。
5. 学生の就職、アルバイトに関すること。
6. 就職関係資料の作成、管理及び保存に関すること。
7. その他学生に関すること。

入試広報部入試広報課の事務分掌

1. 学生募集、入学試験に関すること。
2. ガイドブック、入学案内等に関すること。
3. 広報資料の作成、管理及び保存に関すること。
4. その他広報に関すること。

入試広報部渉外課の事務分掌

1. 高校訪問に関すること。
2. その他渉外に関すること。

(桜花学園高等学校及び名古屋短期大学附属幼稚園)

第10条 桜花学園高等学校及び名古屋短期大学附属幼稚園の事務分掌は次のとおりとする。

事務室の事務分掌

1. 文書、校長印等の保管、管理に関すること。
2. 教職員の勤務、出張、福利厚生に関すること。
3. 行事、式典に関すること。
4. 教職員の給与に関すること。
5. 予算に関すること。
6. 私立学校教職員共済組合に関すること。
7. 学費等の収納に関すること。
8. 補助金に関すること。
9. 調査、統計に関すること。
10. 消耗品等の購入に関すること。
11. 施設、設備、備品等の管理に関すること。
12. 入学試験に関すること。
13. 現金の出納、保管に関すること。
14. 諸規程の整理、保存に関すること。
15. 関係帳簿の作成保管に関すること。

16. 各部門との連絡調整に関すること。
17. その他庶務、会計に関すること。

第 3 章 雑 則

(細 則)

第11条 この規程の運用に関し、必要ある場合は、別に細則を定めることができるものとする。

附 則

1. この規程は昭和48年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、昭和51年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、昭和59年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、昭和63年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成2年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成10年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成11年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成12年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成14年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成16年9月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成17年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成19年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成21年4月1日から施行する。
1. この規程（一部改正）は、平成24年4月1日から施行する。
1. この規程（「副学長」への名称変更）は、
平成26年4月1日から施行する。
1. この規程（組織の追加）は、令和2年4月1日から施行する。

桜花学園大学内部質保証方針

桜花学園大学は、内部質保証を推進するため、以下の通り方針を定める。

1. 基本的な考え方

(1) 自主性・自律性を重視する大学の本質に照らし、桜花学園大学は桜花学園大学の責任において質保証を行います。

(2) 桜花学園大学ではこの内部質保証を本学の重点活動と位置付け、定期的、継続的に自己点検・評価活動を行い、結果を学内で共有し、社会へ公表します。

(3) また、内部質保証を効果的に実施していくため、恒常的な組織である大学・大学院とその付置機関及び各種委員会を内部質保証の主体と位置付け、かつ責任体制を明確にします。

(4) 本学の内部質保証は、学部・学科や研究科による三つの方針を起点とする教育の質保証と、中長期的な計画を踏まえた大学全体の質保証の双方にわたって実施します。

(5) 加えて、認証評価などの外部質保証の結果を踏まえ、大学全体の改善につなげる仕組みとして内部質保証を機能させていきます。

2. 組織体制

本学の内部質保証の推進に責任を負う組織は、学長を委員長とする大学評価委員会とします。大学評価委員会は全学の自己点検・評価の結果を学長に報告します。学長は受けた報告の中から改善が必要と思われる事項について、当該組織の長に改善を求めます。当該組織の長は当該事項に関する改善計画を大学評価委員会に提出します。さらに、改善を求められた事項に関する改善結果を大学評価委員会に提出します。大学評価委員会はこの過程を通して本学の全組織に改善を促し、もって桜花学園大学の内部質保証の推進に責任を負います。

社会人基礎カシートとは何か 解説と記入方法

II. 「社会人基礎カシート」と自己分析

1. 「基礎演習」と大学生生活

- 大学生生活では、各学科やコースに基づいた自分の学びを設計するとともに、卒業後、社会に出る際に求められる人間としての基本的な能力を養います。基礎演習では、大学生生活に馴染むための準備をしながら、学科・学部・大学での学び、大学内の行事、地域や社会とつながる行事を経験し、それについて経験後に「リフレクション」つまり「振り返り」を行います。また、英語学科の学生として、学期の最後、学年の最後、そして卒業前にさらに広い目線での「振り返り」を行います。
- その目的は、①客観的に自分が何を経験し、②どのように一つ一つに関わり、③何を得たかを考えること、そして、④それを他の人と共有することで、同じ行事でも様々な見方や経験があることを知り、視野を広げることを大切にしています。
- ひとりひとりの学修成果とともに、「社会にでる際に求められる人間としての基本的な能力」、すなわち「社会人基礎力」について意識し、それを身につけるため、大学生生活をどのように過ごすかを考えてみましょう。

2. 「社会人基礎力」とは

さまざまな人々と一緒に仕事をする上で必要とされる、社会人としての基礎的な能力のこと。

経済産業省が、2006年2月、「社会人基礎力に関する研究会」で発表した定義。

A. 前に踏み出す力: A1 主体性・A2 働きかけ力・A3 実行力

B. 考え抜く力: B1 課題発見力・B2 計画力・B3 創造力

C. チームで働く力: C1 発信力・C2 傾聴力・C3 柔軟性・C4 状況把握力・C5 規律性・C6 ストレスコントロール力

『デジタル大辞泉』(一部抜粋・要約)

それぞれの言葉が理解できるか、グループになって確認しよう。

III. 「社会人基礎カシート」記入と提出

できるだけ授業時間内に提出。最後の10~15分ほどを記入時間とする。

(締切は当日の23:59まで。)

今後、継続的に提出する。

毎回、分析する期間は少しずつ異なるので注意。

5月13日提出分:入学してからこれまでの自分を振り返る

入学後からの様々な行事、授業での取り組みなどを確認し、まとめて一つの表に記入。

項目の意味を考えながら、1点か0点かで採点。

<重要>

記入上の注意

教員のチェックポイント<5点満点>

- 1) ファイル名には、自分の番号と氏名をアルファベットで記入。シート下には日付を加えること。<1点>
- 2) 各項目の評価を0か1の半角数字で記すこと。小計・合計を加えること。<1点>
- 3) 表の下の自己分析理由には、該当期間の学修や活動内容を記した上で、なぜそのように評価したか、理由を必ず記入すること。<2点>
- 4) 文体は、常体(～である、だった、と思う、などの終わり方)で書くこと。<1点>

1 インターンシップの目的

- ① 国内インターンシップとは、原則として夏季・春季休業期間を利用して一般企業、各種団体、学校などの職場体験活動を通じて、企業の仕組みや仕事の流れ、情報システムの活用や職場における人間関係などを理解する。
- ② 卒業後、実社会を目指す学生は職業の適合性を見極める。
- ③ 大学で学んだ知識を社会でどのように役立てるかを考える。

2 インターンシップの実習機関

実習機関は、本学が独自に開拓した受入れ機関です。学生自身が開拓した機関でのインターンシップも、一定の条件（インターンシップの目的を満たす）を満たせば認められることがある。

*別紙、「国内インターンシップ受入れ機関名」を参照

3 インターンシップの応募条件と単位取得条件

- ① マナー講習に参加する。
- ② インターンシップ計画書の提出
- ③ インターンシップ実習ノートの提出
- ④ 1週間または2週間以上の研修を原則とする。（受入れ機関の事情により対応）

4 学内事前・事後の研修と報告会

インターンシップ実習前とインターンシップ実習後の研修を実施
キャンパス内において、実習体験の報告会を開催。

5 単位の認定

共通教育基礎科目「インターンシップ（国内）A・B」の科目名で1単位または2単位を認定。
A 5日間（30時間）で1単位、B 10日間（60時間）で2単位。

6 インターンシップ申込み手続き

- ① 説明会終了後、ただちに「インターンシップ受講申し込み」受け付けの開始。
- ② 申込締切：12/14（水） 16：30
- ③ インターンシップ手続き窓口：学生課（担当 山田・濱田）

7 面接日

面接日： 12/20（火） 16：30～

場 所： 研究管理棟3F 小会議室

選考結果：12/21（水） 研究管理棟1階 就職資料室掲示板

8 相談窓口

国内インターンシップ担当：根尾（学芸学部教員）・山田・濱田（学生課）

2023年度就職支援日程

		学芸学部		
		キャリアデザインI・II (正課・通年)	学生課	
4月	4/13(木)	授業オリエンテーション、企業研究の必要性、自己分析		
	4/20(木)	女子学生の就活状況と就職活動の流れ		
	4/27(木)	社会人基礎力とガクチカの重要性		
5月	5/4(木)			性格診断、適職診断(学生大会後)
	5/11(木)	夏季インターンシップのES基本		
	5/18(木)	夏季インターンシップのES対策	5/17(水)昼休み	就職ナビ登録会(30分)
	5/25(木)	業界研究(業界のビジネスモデルを知る) 各自のESの提出	5/24(水)昼休み	就職ナビ登録会(30分)
6月	6/1(木)	業界・企業研究の情報収集法 (気になる企業の情報を知る)		夏季インターンシップ説明会
	6/8(木)	先輩の就職活動体験発表		
	6/15(木)	インターンシップ参加の心構え		インターンシップ選考会
	6/22(木)	企業研究の事例紹介 (同業他社との比較、企業の戦略など)		
	6/29(木)	企業の求める人材像		
7月	7/6(木)	企業人事担当者の話		
	7/13(木)	社会人のマナー講座(リクルートスーツ着用)		
	7/20(木)	対面面接、Web面接対策		
	7/27(木)	筆記試験対策・SPI対策		夏季インターンシップ(8-9月)
8月				
9月	9/28(木)	授業オリエンテーション 夏休み課題、インターンシップ プレレポート提出		
10月	10/5(木)	模擬テスト(一般常識)		
	10/12(木)	模擬テスト(SPI)		
	10/19(木)	夏季インターンシップ体験発表(一人5分)		性格診断、適職診断(学生大会後)
	10/26(木)	ES作成の基本		
11月	11/2(木)	ES作成の実践(志望動機、ガクチカ、自己PR、)		
	11/9(木)	SPI受講	11/8(水)	筆記試験対策講座(一般常識)①
	11/16(木)	(メイク講座(リクルートスーツ着用))	11/15(水)	筆記試験対策講座(一般常識)②
			※大祭後、進路グループ面談開始	
	11/23(木)	進路グループ面接	11/22(水)	筆記試験対策講座(SPI)①
12月	11/30(木)	面接対策①(リクルートスーツ着用)	11/29(水)	筆記試験対策講座(SPI)②
	12/7(木)	面接対策②(リクルートスーツ着用)	12/6(水)	筆記試験対策講座(SPI)③
	12/14(木)	4年生内定者のお話 CPR作成		春季インターンシップ説明会
	12/21(木)	雇用されて働くことの責任と義務 (社会保険労務士)		インターンシップ選考会
1月	1/11(木)	マナー講座(リクルートスーツ着用)		
	1/18(木)	まとめ(就活の流れの再確認、大学による就職情報の提供) CPR作成		
2月				就職ガイダンス
				学内合同企業説明会
				春季インターンシップ(2-3月)
3月				求人票開示

就職ガイダンス

- ① 就職状況について
 ・2023年3月卒対象学生 進路状況 (2022年12月31日現在)

	英語コミ学科	現代教養学科	学芸学部
卒業予定者数	57名	64名	43名
就職希望者数	44名	55名	33名
就職希望率	77.2%	85.9%	76.7%
就職内定者数	35名	45名	29名
就職内定率	79.5%	81.8%	87.9%
就職以外の進路	13名	9名	10名
未決定者	9名	10名	4名

就職以外の進路内訳

編入学	6	5	0
留学（希望含む）	2	1	2
専攻科	0	0	0
専門学校	2	1	1
臨時職員	0	0	0
非正規社員	0	0	3
その他	3	2	4

情報収集の仕方

- ・求人票ファイル（求人票目次、企業求人票） 別紙参照
 - ・ナビサイト（マイナビ、リクナビ、学情、あさがくナビ、キャリアス就活 等）
 - ・地元にて特化したナビサイト
 岡崎商工会議所主催 OK Navi、東三河学生就職 NAVI リク rooting、豊田市雇用
 対策協会チャレンジワーク Work とよた、知多地域学生就職情報サイトるびあん、
 名古屋商工会議所名商就活ナビ、愛知県中小企業団体中央会あい web、愛知県中小
 企業家同友会 Jobway
 三重就職 NAVI、おしごと三重
 岐阜県情報就職サイトマイプランネット、岐阜県人材チャレンジセンター(ジンチャ
 レ！岐阜)
 株式会社就職情報センター静岡新聞社(新卒のかんづめ)
 - ・ハローワーク
 （愛知県：新卒応援ハローワーク、ハローワーク刈谷、ハローワーク豊橋）
 （岐阜県：岐阜新卒応援ハローワーク）
 （三重県：みえ新卒応援ハローワーク）
- ② スケジュール管理
- ・会社説明会、選考の日にち・時間等が重なる場合、必ず会社に連絡をする。無断欠席は絶対にしない。
 - ・日程の変更を行ってもらえる場合もあるので、自分のスケジュールをきちんと把握すること。
- ③ 会社説明会
- ・合同企業説明会、会社説明会、セミナー等に出席しないと応募できない場合も。
 - ・説明会で第一印象が決まる。(明るく、元気よく、品よく)
 - ・説明会を辞退する場合は、必ず連絡をする。
- ④ 履歴書・エントリーシート 別紙参照
- ・履歴書は学校指定
 証紙(150円)を購入し、学生課で履歴書(用紙10枚・封筒4枚入り)と引換え。

- ・エントリーシートは、各企業の指定。ホームページや会社説明会などで入手。
 - ・履歴書、エントリーシートは人が読むもの。必ずゼミ教員・学生課に見てもらう。
 - ・字は丁寧に記入。印鑑は鮮明に押す。(欠けたり、二重になったものは使用しない。)
 - ・内容は必ずコピーを取ること。
- ⑤ 各種証明書 別紙参照
- ・証明書発行は、事務局印刷室前にある「各種証明書発行願」に必要な事項を記入し、証紙を貼って窓口で申し込む。
 - 成績証明書：300 円、卒業（見込）証明書：200 円、健康診断書：300 円
 - 推薦書：無料（推薦書申込書を記入し、学生課に提出。即日発行できない場合もあるので、早めに提出のこと。)
- ⑥ 採用試験
- ・書類選考→応募書類（履歴書・エントリーシート・Webエントリー等）で選考。
 - ・筆記試験→一般常識、SPI、適性テスト、小論文、作文等で選考。
 - ・面接試験→個人面接、集団面接、集団討論、グループディスカッション等で選考。
 - 「内定が出ている会社はありますか？」と質問された場合→内定をいただいている場合は正直に答えること。(会社名までは言う必要はありません。)
 - 「入社してくれるならば、最終面接まで残します。」と言われた場合→その場で答えることはほとんどないので、迷うようならゼミ教員、学生課等に相談。(オワハラ)優先順位をつけ、志望順位が高くない場合はきちんと辞退の連絡をすること。
- ⑦ 大学推薦 別紙参照
- ・大学推薦がきた場合は求人票ファイル、就職掲示板にて告知。
 - ・締切日までに大学推薦申込書を学生課へ提出。
 - ・学内で面接を行い応募者を選考。
- 『大学推薦のルール』
- ・大学推薦でも必ず合格するわけではない。
 - ・内定が出たら辞退することができない。
- ⑧ 面接練習
- ・面接練習は学生課でも行っています。練習は必ず事前に学生課に予約すること。
 - ・集団面接の場合はできるだけ友達を含めて行うなど、実際の環境に近い条件で。
 - ・事前に履歴書・エントリーシートを提出している場合は、コピーを持ってくること。
 - ・CaCoRo(研究管理棟 2F)での面接練習、進路・就職相談。(予約制)
- ⑨ 送付状、メールの送り方、封筒の書き方 別紙参照
- ・履歴書・エントリーシート・証明書等を郵送するときは、送付状を添付する。
 - ・文章は手書き
 - ・宛名は個人名の場合は「〇〇様」、会社名、部署名の場合は「■■御中」。
 - ・メールで説明会予約やエントリー、問い合わせを行う場合（メールの書き方）は、内容を分かりやすく、簡潔に。
 - ・封筒は持参する場合は、裏面（住所と名前）のみ記入。送付するときは住所、会社名、部署名を正確に記入。
- ⑩ 試験内容報告書・内定報告書 別紙参照
- ・先輩が過去に受けた企業でどのような試験が行われたのかを掲載した報告書。
 - ・合否に係わらず、選考を受けたら必ず記入し、学生課に提出。
 - ・企業から内定をもらった場合、決定・保留を別として学生課に提出。
- ⑪ 進学・留学について
- ・進学・留学を希望している場合は、必ずゼミの先生に伝えること。
 - ・進学については、5月頃に教務課でガイダンスを行います。
 - ・編入希望・専攻科の場合は、昨年いつごろにどのような内容の入試があったかを調べる。→各大学のホームページを確認すること。
 - ・指定編入推薦大学及び一般編入大学資料一覧は教務課へ確認。
 - ・進路変更を行った場合は必ず学生課まで。
- ⑫ SNSについて
- 就職活動中に見聞きした情報や自分が書いた情報などは絶対にTwitterやFacebook、

LINE などに書き込まない。エントリーシートや履歴書の内容を撮影して載せない。
面接の内容などを書き込まない。
採用担当者が SNS を検索して見ることもあります。自覚を持った行動をしましょう。

- ⑬ スマートホン・携帯電話について
エントリーしている企業や応募先の企業から、説明会や選考に関わる電話がかかってきます。留守番機能を設定し、メッセージを確認のうえ、折り返し電話を入れましょう。留守番電話にメッセージが入っていない場合でも、企業からの電話であることが確認できたら、折り返し電話を入れましょう。
(企業へ電話をするときの注意点)
- できるだけ早く折り返しの電話をかけること。
 - 時間帯は企業の都合を考慮すること(始業時間直後、昼休みや終業時間以降は避ける)。
 - 先方の担当者が不在、留守番電話、等直接担当者と話すことが出来ない場合は必ず伝言やメッセージを残すこと。
 - 大学名、学科名、氏名(フルネーム)をきちんと名乗り、「お忙しいところ恐れ入ります」など相手を気遣う言葉を添えたうえで要件をしっかりと伝えること。

- ⑭ 学生課について
- 学生課企業系就職担当職員：山田・濱田
 - 分からないこと、困ったこと、不安に思ったことがあれば学生課まで。
 - 就活メールアドレス shukatsu@nagoyacollege.ac.jp

就活メールのルール

- 件名に学籍番号、氏名を入れる。
 - 学生課がメールを確認するのは 1 日に 1 回。急を要する場合は必ず電話で確認。
 - メールの利用は原則、面接練習や添削予約、相談ごとのみ。
 - メールでの履歴書・エントリーシートの添削は行わない。
 - 土、日、祝日は返信を行わないため利用は平日のみ。授業期間中は原則窓口へ。
- 上記のルールが守れない場合は、メールの利用はできません。
必ずルールを守ってください。

学内合同企業説明会

(学内) 2月21日(火)、22日(水)、24日(金) 3号館・5号館

参加企業 Moodle 参照 就職希望者全員参加

参加票に必要事項を入力してプリントアウトし、持参 各企業に1枚ずつ提出

2023 筆記試験対策講座

月日	時間	科目名	科目概要	講師
2023 年 11 月 8 日 (水)	13:10~14:10	一般常識 (数学)	数と式・方程式	
	14:20~15:20		数学に関する文章題	
	15:30~16:30	一般常識 (国語)	漢字の読み取り・書き取り 四字熟語・ことわざ・慣用句	
15 日 (水)	13:10~14:10	一般常識 (英語)	同意語・反意語 短文空欄補充会話文 長文読解問題	
	14:20~15:20	一般常識 (時事問題)	国際機関・国際貿易 国内時事・国際時事	
	15:30~16:30	一般常識 (政治・経済)	国内政治・国際政治 国内経済・国際経済	
22 日 (水)	13:10~14:10	SPI 非言語	比と割合、濃度算、鶴亀算	
	14:20~15:20	SPI 言語	二語の関係(同義語、反意語) 二語の関係(行為・包含関係)	
	15:30~16:30		同音異義語、文法、敬語 語句からの意味へ 意味からの語句へ	
11 月 29 日 (水)	13:10~14:10	SPI 非言語	約数と倍数、虫食い算、演算	
	14:20~15:20		集合、命題、推理	
	15:30~16:30		n 進法、順列・組合せ、確率	
12 月 6 日 (水)	13:10~14:10	SPI 非言語	損益算、仕事算、通過算	
	14:20~15:20		距離と速さ、旅人算、流水算	
	15:30~16:30		総復習	

※講師の都合により時間割を変更する場合があります。